

令和元年度

F D 活 動 報 告 書

駒澤大学 F D 推 進 委 員 会

目 次

1. 委員会	1
(1) FD推進委員会	
(2) FD推進委員会小委員会	
2. 研修会	5
3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞	6
(1) 令和元年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞	
(2) 学生FDスタッフ	
4. 公開授業	13
5. 学生による授業アンケート	22
(1) 「学生による授業アンケート」の概要	
(2) 授業アンケート質問項目	
(3) 項目別平均値	
(4) 受講生の講義への取り組み	
(5) 授業についての評価	
6. 総評	75
7. FD NEWSLETTERの発行	77
○FD NEWSLETTER 第59号	令和元年 6月30日発行
○FD NEWSLETTER 第60号	令和元年 9月30日発行
○FD NEWSLETTER 第61号	令和元年 12月15日発行
○FD NEWSLETTER 第62号	令和2年 3月15日発行

【付録資料】

- 駒澤大学FD推進委員会規程
- 駒澤大学FD憲章
- 令和元年度 駒澤大学FD推進委員会委員名簿
- 令和元年度 駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿
- 令和元年度 駒澤大学FD推進部会委員名簿

1. 委員会

(1) FD推進委員会

○第1回

日 程 平成31年4月26日(金)

議 題 1. 報告事項

- (1) 平成31年度新規採用教員オリエンテーションについて
- (2) 2019年度「学生による授業アンケート」について
- (3) その他

2. 審議事項

- (1) FD推進委員会小委員会委員長及び副委員長の選出について
- (2) 平成31(令和元)年度FD推進委員会活動年間日程について
- (3) 平成31(令和元)年度FD活動計画について
- (4) その他

3. その他

- (1) その他

○第2回

日 程 令和元年11月5日(火)

議 題 1. 報告事項

- (1) 令和元年度駒澤大学FD推進部会について
- (2) 令和2年度各種入学試験合格者への入学前教育について
- (3) 2019年度「学生による授業アンケート」について
- (4) 令和元年度「公開授業」の実施について
- (5) 令和元年度FD研修会について
- (6) 令和元年度学生FDスタッフおよび「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
- (7) 令和元年度FD活動計画(重点検討課題)に係る進捗状況について
- (8) その他

2. 審議事項

- (1) その他

3. その他

- (1) その他

○第3回

日 程 令和元年12月5日(木)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (2) その他

2. 審議事項

- (1) 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
- (2) その他

3. その他

- (1) その他

○第4回

日 程 令和2年3月12日(木)

議 題 1. 報告事項

- (1) 令和元年度FD推進委員会小委員会の活動について
- (2) 令和元年度『FD活動報告書』の発行について
- (3) 令和2年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (4) 令和2年度学生FDスタッフについて
- (5) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFDの再定義について
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について
- (3) 令和2年度以降のFD研修会について
- (4) その他

3. その他

- (1) その他

(2) FD推進委員会小委員会

○第1回

日 程 平成31年4月26日(金)

議 題 1. 報告事項

2. 審議事項

- (1) 平成31(令和元)年度活動計画について
- (2) FD推進委員会小委員会のワーキング・グループ設置について
- (3) 令和元年度『FD NEWSLETTER』の編集委員について

3. その他

○第2回

日 程 令和元年6月3日(月)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(前期)」について
- (2) 令和元年度『FD NEWSLETTER』第59号について
- (3) その他

2. 審議事項

- (1) 今年度の重点検討課題について
- (2) FD研修会について
- (3) 公開授業について
- (4) 学生FDスタッフについて
- (5) その他

3. その他

○第3回

日 程 令和元年7月24日(水)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(前期)」について
- (2) 第1回FD研修会(7月29日開催)について
- (3) 第2回FD研修会(9月20日開催)について
- (4) 学生FDスタッフについて
- (5) 令和元年度『FD NEWSLETTER』第60号について
- (6) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFD活動の再定義について
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について
- (3) 昨年度活動結果を踏まえた検討課題について
- (4) 2019年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (5) 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
- (6) その他

3. その他

○第4回

日 程 令和元年10月17日(木)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (2) 第1回FD研修会(7月29日開催)について
- (3) 第2回FD研修会(9月20日開催)について
- (4) 学生FDスタッフについて
- (5) 令和2年度各種入学試験合格者への入学前教育の実施について
- (6) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFD活動の再定義について(継続)
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について(継続)

- (3) 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について(継続)
- (4) 公開授業の実施方法等について
- (5) その他

3. その他

○第5回

日 程 令和元年12月4日(水)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (2) 令和元年度『FD NEWSLETTER』第61号の発行について
- (3) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFD活動の再定義について(継続)
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について(継続)
- (3) 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について(継続)
- (4) その他

3. その他

○第6回

日 程 令和2年1月24日(金)

議 題 1. 報告事項

- (1) 2019年度「学生による授業アンケート(後期)」について
- (2) 令和元年度「公開授業」について
- (3) 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
- (4) 第3回FD研修会について(2月10日開催)
- (5) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFD活動の再定義について(継続)
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について(継続)
- (3) 令和2年度以降のFD研修会について
- (4) その他

3. その他

○第7回

日 程 令和2年2月21日(金)

議 題 1. 報告事項

- (1) 第3回FD研修会(2月10日開催)について

- (2) 令和元年度「公開授業」について
- (3) 令和元年度『FD NEWSLETTER』第62号の発行について
- (4) 令和2年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (5) その他

2. 審議事項

- (1) 本学におけるFD活動の再定義について（継続）
- (2) 授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討について（継続）
- (3) 令和2年度以降のFD研修会について（継続）
- (4) 令和2年度学生FDスタッフについて
- (5) その他

3. その他

2. 研修会

(1) FD研修会

全教職員を対象としたFD研修会を開催した。

○第1回

- 日 時：令和元年7月29日（月）16:00～17:30
場 所：1-201教場
テ ー マ：本学における授業支援システム(C-Learning・YeStudy)の活用方法・事例紹介
参 加 者：教員：38名 職員：15名
協 力：倉持 勝 氏 総合情報センター
津野 未来子 氏 総合情報センター・e-コンシェル
佐藤 敦美 氏 株式会社ネットマン

○第2回

- 日 時：令和元年9月20日（金）16:20～17:50
場 所：1-304教場
テ ー マ：FD活動の意義と現状について
講 師：筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授 山本 眞一 氏
参 加 者：教員：20名 職員：19名 学外(世田谷プラットフォーム)：5名
共 催：駒澤大学大学院FD推進委員会
後 援：世田谷プラットフォーム

○第3回

- 日 時：令和2年2月10日（月）16:00～18:00

場 所 : 中央講堂
 テー マ : 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者による実践事例紹介
 講 師 : 小野 洋平 先生 (文学部心理学科)
 中村 公一 先生 (経営学部)
 畠山 寛 先生 (総合教育研究部第二外国語部門)
 参 加 者 : 教員 : 33名 職員 : 5名 学生FDスタッフ : 4名
 後 援 : 世田谷プラットフォーム

(2) 平成31年度新規採用教員オリエンテーション

新規採用専任教員・非常勤教員を対象にしたオリエンテーションを開催した。

日 時 : 平成31年4月1日(月) 13:00~15:40
 出席者数 : 69名(対象者 130名)
 次 第 : 学長挨拶 両副学長挨拶 教務部長挨拶
 大学案内(教務部・総合情報センター・図書館)

3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞

(1) 令和元年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞

平成28年度より、「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」を制定した。投票は、令和元年11月4日(月)~11月23日(土)に、C-Learningでの投票が行われ、厳選なる選考の結果、以下のとおり、上位8名の先生が選出され、令和元年12月16日(月)に授賞式が行われた。

受賞科目	「心理学」	小野 洋平	(文学部非常勤講師)
	「文学」	畠山 寛	(総合教育研究部准教授)
	「日本の文化と社会」	加藤 之晴	(総合教育研究部非常勤講師)
	「刑法総論」	富樫 景子	(法学部講師)
	「経営戦略論」	中村 公一	(経営学部教授)
	「民法総則」	熊谷 芝青	(法学部教授)
もっと学びたい de 賞部門受賞科目			
	「ドイツ語 I A b」	吉中 俊貴	(総合教育研究部准教授)
	「マーケティング論」	兼村 栄哲	(経営学部教授)

(2) 学生FDスタッフ

「学生FDスタッフ」は、学生による学生目線の教育改善を目指して、各学部生や教職員とともに、学生が選ぶベスト・ティーチング賞(BTA)などのFDに関するイベントの企画、広報、運営を行う学生組織である。令和元年度は以下の活動を行った。

○継続メンバーによるサークルフェスティバル参加

日 時 平成31年4月5日(金)・6日(土) 10:00~16:00
場 所 1-204

○学生FDスタッフ募集説明会

日 時 平成31年4月24日(水)・29日(金) 12:20~12:50
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2

○学生FDスタッフ選考面接

日 時 令和元年5月20日(月)
12:20~12:50, 16:30~17:00, 17:10~17:30
令和元年5月24日(金) 12:20~12:50
場 所 教務部第2会議室
備 考 各日程で1~4名ずつ、グループ面接を行った。

○第1回 活動ミーティング(継続スタッフ)

日 時 令和元年5月22日(水)
場 所 3-908教場
内 容 学生による授業アンケート(前期) 広報方法の検討

○第2回 活動ミーティング(継続スタッフ)

日 時 令和元年5月29日(水)
場 所 3-908教場
内 容 学生による授業アンケート(前期) 広報準備(動画撮影)

○第3回 活動ミーティング(継続スタッフ)

日 時 令和元年5月30日(木)
場 所 3-908教場
内 容 学生による授業アンケート(前期) (卓上ポップ作成)

○第4回 活動ミーティング(第4期生)

日 時 令和元年5月30日(木)
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室2
内 容 自己紹介(顔合わせ)

○学生FDスタッフ委嘱式

日 時 令和元年6月17日(月) 12:20~12:50
場 所 本部棟5階 第2会議室

○第1回 打ち合わせ

日 時 令和元年7月10日(水)・11日(木) 12:20~12:50
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 昨年度の活動内容の確認・今年度の活動・活動ルールについて

○第2回 打ち合わせ

日 時 令和元年7月18日(木) 12:20~12:50
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 役割分担・活動方針・連絡方法について

○学生FDスタッフ追加面接

日 時 令和元年7月19日(金) 16:30~16:50
場 所 教務部第1会議室

○第3回 打ち合わせ

日 時 令和元年8月8日(木) 9:00~12:00
場 所 3-201教場
内 容 BTAについて

○第4回 打ち合わせ

日 時 令和元年9月27日(金) 12:30~14:30
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 BTA(部門分け)について

○学生FDスタッフ追加面接

日 時 令和元年9月27日(金) 16:30~16:50
場 所 教務部第1会議室

○第5回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月4日(金) 12:20~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 BTA(部門分けとスケジュール)について

○第6回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月7日(月) 12:20~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室2
内 容 BTA(部門分けと広報方法)について

○第7回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月11日(金) 12:20~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 BTA(広報方法)について

○第8回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月17日(木) 12:20~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 BTA(部門分け)について

○第9回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月18日(金) 12:20~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2
内 容 BTA(部門名称と広報方法)について

○第10回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月23日(水) 12:20~14:00
場 所 本部棟5階 第2会議室
内 容 BTA(広報方法と授賞式)について

○第11回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月24日(木) 12:20~14:00
場 所 本部棟5階 第2会議室
内 容 BTA(広報方法)について

○第12回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月25日(金) 12:20~14:00
場 所 本部棟5階 第2会議室
内 容 BTA(広報方法)について

○BTA広報動画撮影

日 時 令和元年10月25日(金) 18:00~19:30
場 所 3-502教場
協 力 放送研究会

○第13回 打ち合わせ

日 時 令和元年10月28日(月) 12:00~14:00
場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2

内 容 B T A (広報活動日程調整) について

○第14回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月6日(水) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2

内 容 B T A (広報活動日程調整・SNS取り扱い) について

○告知活動

日 時 令和元年11月6日(水)~11月23日(土)

内 容 ポスター掲示(学内掲示板、大学会館246、学部事務室、教務部ロビー等)、チラシ配布、映像(学食、大学会館246、ウイステリア)

動 画 <https://sites.google.com/view/komafdstaff/bta> (30秒×2編)

○第15回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月7日(木) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1・2

内 容 B T A (広報活動) について

○第16回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月8日(金) 12:00~14:00

場 所 本部棟5階 第2会議室

内 容 B T A (広報活動) について

○第17回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月11日(月) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1

内 容 B T A (広報活動状況共有) について

○第18回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月14日(木) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1

内 容 B T A (授賞式) について

○第19回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月15日(金) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1

内 容 B T A (Webコンテンツと授賞式) について

○第20回 打ち合わせ

日 時 令和元年11月21日(木) 12:00~14:00

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室1

内 容 BTA(Webコンテンツと授賞式)について

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞科目選考会

日 時 令和元年11月28日(木) 12:20~12:50

場 所 本部棟6階 小会議室

○第21回 打ち合わせ

日 時 令和元年12月6日(金) 12:00~12:50

場 所 種月館(3号館) Kitchen 駒膳個室2

内 容 BTA(授賞式のタイムスケジュールと役割分担)について

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞式

日 時 令和元年12月16日(月) 12:15~12:55

場 所 中央講堂

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」記念品デザイン

作 成 令和元年12月

内 容 オリジナルトロフィーを作成し、受賞者8名へ贈った。

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者インタビュー

日 時 令和元年12月16日(月) 13:00~14:00

場 所 3-802教場

対象者 小野 洋平 先生 (文学部心理学科 非常勤講師)

加藤 之晴 先生 (総合教育研究部文化化学部門 非常勤講師)

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー

日 時 令和2年1月7日(月) 9:30~10:00

場 所 1研-1608

対象者 畠山 寛 先生 (総合教育研究部外国語第二部門 准教授)

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー

日 時 令和2年1月8日(水) 10:40~11:10

場 所 1研-1617

対象者 吉中 俊貴 先生 (総合教育研究部外国語第二部門 准教授)

- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー
日 時 令和2年1月8日(水) 13:30~14:00
場 所 2研-2732
対象者 富樫 景子 先生 (法学部 講師)

- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー
日 時 令和2年1月9日(木) 9:40~10:10
場 所 学生部 部長室
対象者 兼村 栄哲 先生 (経営学部 教授)

- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー
日 時 令和2年1月9日(木) 10:40~11:10
場 所 246会館 入学センター所長室
対象者 熊谷 芝青 先生 (法学部 教授)

- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞者インタビュー
日 時 令和2年1月10日(金) 16:30~17:00
場 所 2研-2311
対象者 中村 公一 先生 (経営学部 教授)

- 「学長との意見交換会」事前打ち合わせ
日 時 令和2年1月27日(木) 10:00~12:00
場 所 本部棟5階 第二会議室

- 「学長との意見交換会」
日 時 令和2年1月27日(月) 13:00~14:00
場 所 本部棟5階 第二会議室

- 第22回 打ち合わせ
日 時 令和2年2月28日(金) 14:00~16:00
場 所 本部棟6階 小会議室
内 容 BTA(結果報告方法)について

- 「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」パンフレット作成
発 行 令和元年3月
内 容 得票があった多くの科目をパンフレットに掲載し、1票でも投票のあった教員へは、その内容を文書にて通知した。

4. 公開授業

公開授業の目的は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

本年度の公開授業は、各学部等のFD推進部会の協力により、「令和元年度公開授業一覧」(表1)のとおり実施した。参観希望の授業科目の時間に直接教場に行き、後方に着席し、当日、学部によっては意見交換会が開催された。また、「令和元年度公開授業実施結果の報告」(表2)のとおり実施結果について報告がなされた。

(表1) 令和元年度公開授業一覧

学部	担当教員	実施日	時 限	教場	科目名称
仏教学部	角田 泰隆 岩永 正晴	12/17 (火)	1	禅研-坐禅堂	坐禅 I
	吉村 誠	12/6 (金)	2	3-504	仏典講読 I
文学部	土田 久美子	11/25 (月)	4	3-502	国際社会論
経済学部	山中 達也	11/25 (月)	1	8-152	新興国経済論 b
	中西 大輔	11/28 (木)	4	8-151	マクロ・マーケティング b
	吉田 健太郎	11/23 (土)	2	3-310	事業創造論
法学部	岡田 好弘	11/29 (金)	1	2研-209	民事執行・保全法
	山崎 望	12/11 (水)	1	8-150	政治学 (国際社会と日本)
経営学部	西村 和夫	11/7 (木)	1	2研-209	経営科学概論 B
医療健康科学部	渡邊 雄一	11/14 (木)	2	7-202	診療画像技術学 II
GMS 学部	石川 憲洋	11/11 (月)	2	1-402	コンピュータワークショップ I
総合教育研究部	清水 善和	11/20 (水)	3	8-361	生物学 II
	竹田 幸夫	11/15 (金)	1	玉川- 多目的グラウンド	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)

(表2) 令和元年度「公開授業実施結果」報告

学部	仏教学部	実施教員	角田 泰隆・岩永 正晴
1. 実施日・曜日・時限	12月17日(火)・1時限	教場	禅研-坐禅堂
2. 実施科目名	(専門教育科目) 坐禅 I	報告責任者	徳野 崇行
3. 学生履修者数	104人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>坐禅 I の授業内容は、まず学生が授業前に服装を整え、荷物をロッカーに入れて坐禅堂に入るところから始まる。授業の前半は壁に向かって坐る面壁の形で坐禅を行う。遅刻者への対応、出欠状況の確認、坐禅の姿勢への指導などについては副担当の岩永先生が行っていた。授業後半では教科書となっている『坐禅 講本』を用いて、主担当の角田先生が道元禅師の「普勧坐禅儀」を提唱する。学生たちは坐禅しながら『坐禅 講本』を手に持ってこれを聞く形となっていた。</p> <p>「坐禅 I」は仏教学部の2年次の必修科目で禅の教義、思想について体験的、実践的に学ぶものであるが、同じく2年次の必修科目の「宗典」では『正法眼蔵』などの典籍を通じて禅の教義や思想を講義形式で学ぶため、これら二つの科目を履修することで、禅についての総合的な理解を獲得するカリキュラムになっている。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>坐禅の授業については長い歴史があり、これまでの試行錯誤を経て現状の授業形式となっているため、授業の改善ポイントを見出し難い。ただし受講生が104人と多い体験型の授業であるものの、担当教員が2名となっている点から、大学院生をTAに採用するなどして、より指導を手厚くするようなやり方を検討してみてはどうか、という指摘がなされた。</p>			

学部	仏教学部	実施教員	吉村 誠
1. 実施日・曜日・時限	12月6日(金)・2時限	教場	3-504
2. 実施科目名	仏典講読 I	報告責任者	大澤 邦由
3. 学生履修者数	89人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況			
<p>授業内容は『勝鬘経』の講読を通して仏教漢文の読解力を養うことです。詳細に作られたプリント(課題付き)と書画カメラと板書を併用し授業を進めていました。時間配分が絶妙であり、講義と作業を交互に行ったり、合間にプリント配布を行ったりすることで集中力を持続させる様々な工夫が見られました。視覚的に見やすい板書とわかりやすい話し方も非常に参考になりました。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>難しい内容を何とか理解させようという努力が素晴らしいという指摘があったものの、最も難しい内容を授業の終わり近くに行っていたため、集中力が切れている学生が若干名見受けられた。</p>			

学部	文学部	実施教員	土田 久美子
1. 実施日・曜日・時限	11月25日(月)・4時限	教場	3-502
2. 実施科目名	国際社会論	報告責任者	片岡 栄美
3. 学生履修者数	51人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況			
<p>スライドに基づいた授業進行で、同時に印刷資料として学生に配布し、キーワードを空欄にして穴埋め式とすることで学生がノートテキングをする負担を軽減していた。その分学生は授業に集中でき、効率的な授業展開であった。授業の最初の15分で前回の授業をまとめ、振り返り、最後の15分で課題を出して学生にレスポンスシートに記入させている点は評価できる。</p> <p>よく授業内容が整理され、無駄のない話の仕方、学生にとっては多文化主義についてのわかりやすい講義であった。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>授業の進め方がやや早いと感じられた。出来れば具体例をもう少し、丁寧に学生に伝えることで学生の理解が深まるのではないか。教室が横長なので、土田先生の視線が左側半分には届きにくい点、教場の問題ではあるが、やや気になった。</p>			

学部	経済学部	実施教員	山中 達也
1. 実施日・曜日・時限	11月25日(月)・1時限	教場	8-152
2. 実施科目名	新興国経済論b	報告責任者	福島 浩治
3. 学生履修者数	65人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況			
<p>第10回目となる公開授業日は、「フェアトレードは生産者を救うか?」をテーマとされ、第9回講義の続編として位置づけられていた。前回講義では、フェアトレード向けにコーヒー豆を生産する小自作農家の生活がなぜ改善しないかという問題意識から、東アフリカのタンザニアにおける「小さな村の大きな転換」を学習したことが授業冒頭に振り返られた。公開授業では、国際貿易とフェアトレードをめぐる学術的な論争に授業内容が発展し、コリーン・バート、ジャン＝ピエール・ボリス、渡辺龍也らの学術的な論争上のポイントが解説された。さらに生産者協同組合、企業の社会的責任、倫理的なサプライ・チェーン・マネジメントと認証ビジネスなどの観点から、欧米企業の先進的な取り組みが紹介された。フェアトレードの実践事例を特定の地域経済を舞台にしながら詳細な検証をおこなうことで、そもそもフェアトレードが要請される国際貿易の不平等の構図が逆に示唆される授業構成であった。</p> <p>授業方法としては、パワーポイントを中心に進められポイントをおさえたレジュメ、関連資料が配布された。海外の事例紹介や抽象度の高い内容の場面では、映像・画像、統計データを効果的に用いるなど、学生がイメージしやすいように配慮されていた。とくに難しい言葉をあえて使わず終始やさしい日本語で説明されていたことは留学生にとっても授業理解の助けになると感じた。また学生への問いかけを大事にしており、教えるポイントと考えさせるポイントを明確に分けていたことが印象的。前回講義</p>			

で回収したりアクションペーパーの一部が紹介され学生の感想や考え方を全体で情報共有し、教員からのコメントの時間も設けるなど、教員と学生との双方向型の授業運営が意識的になされていた。学生の立場にたった工夫が凝らされており、結果、学生の集中力が途切れることなく、配布プリントにメモを取る学生の姿が多く見られた。

最後に、現在の新興国経済を、グローバルで歴史的な視点に立脚しながらも、多角的に把握しようと努めているため、他の講義科目とのつながりも見えてくる私自身たいへん参考になる授業内容であった。

6. 授業改善ポイント指摘事項

特に指摘すべき改善ポイントはありませんでした。

学部	経済学部	実施教員	中西 大輔
1. 実施日・曜日・時限	11月28日(木)・4時限	教場	8-151
2. 実施科目名	マクロ・マーケティングb	報告責任者	姉齒 暁
3. 学生履修者数	約120人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>時間通り授業は開始され、パワーポイントを用いて非常に論理的な道筋が立てられた、よく練られた授業が展開された。最後の1～2分でまとめとこれからの課題、再度趣旨(課題や追求すべき目標)が確認された。</p> <p>大変興味深い知見が得られる内容であると共に、何よりも若者の関心事に見事にコミットしつつ、深い消費者心理に与える外ね条件とその反応プロセスを語る授業であった。</p> <p>自己承認欲求にとらわれ他者との衝突を回避し、長い時間をかけ切磋琢磨しながら成長することより、時間性を拒否、あるいは諦めた末の消費の変容といった非常に高度なマーケティングの基本軸理解をこのように学生が自らの体験と重ね合わせて理解できる舞台を作り上げる先生の精巧な授業構成と材料集めのご苦労に感動し、とても勉強になった。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>次年度の講義では受講生に、より講義に積極的に参加してもらおうよう、自主性という点にも考慮し、ミニテストの導入等を考えるつもりであるとのこと。理解度を細かくチェックするためにも有効と考えるとの意見で一致した。</p>			

学部	経済学部	実施教員	吉田 健太郎
1. 実施日・曜日・時限	11月23日(土)・2時限	教場	3-310
2. 実施科目名	事業創造論	報告責任者	吉田 敬一
3. 学生履修者数	9人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況			
<p>パワーポイントを使用した授業である。学生に一定のモデルを提示し、そのための方法・ノウハウを考えさせる場合に、きめ細かく最初から方向づけや注意点を指示しておくのではなく、本授業では教員の</p>			

<p>指導は学生の試行錯誤を前提にして、問題点が発生した場合の原因の探究と解決策を自主的に考えさせるという信頼関係の構築に注力していた点が優れていた。</p>
<p>6. 授業改善ポイント指摘事項</p> <p>最初に各回の授業のキーワードについての学問的定義を説明し、次にその具体例を海外・国内から紹介し、グローバルな観点から日本の課題を学生に考えさせる方法は興味深い。具体的事例については、吉田健太郎教授がかかわった事例を手掛かりに、学生でも事業創造に関われることを体験させる方法は説得力がある。</p> <p>今年度は土曜日開講の新規開講科目のため受講生が少なかったため、上記の特徴が活かされたが、来年度以降、受講生が増えた場合への対応方法が求められる。</p>

学部	法学部	実施教員	岡田 好弘
1. 実施日・曜日・時限	11月29日(金)・1時限	教場	2研-209
2. 実施科目名	民事執行・保全法	報告責任者	清滝 仁志
3. 学生履修者数	100人		
4. 公開授業参加者数	3人		
<p>5. 授業実施状況</p> <p>1つのテーマ(配当手続)についての授業。①前回のポイントを確認、②教科書に沿った基礎的事項の説明、③判例百選の重要判例を解説。パワーポイントで作成したプリントを配布し、書画カメラでプリント、教科書、条文、実務文書(配当表)を交互に示す方式。配当表の実例を示すなど実際の手続きをも説明。</p> <p>関連する二判例を解説しながら、今回のテーマである配当意義の問題を理解させるように工夫。判例の説明においては板書。字は大きく、読みやすい。ポイントは分かりやすい。</p>			
<p>6. 授業改善ポイント指摘事項</p> <p>スクリーンを用いた説明は分かりやすいが、投影状況も確認する必要がある。民事執行法それ自体が難解な学問であり、しかも民法や裁判手続についての前提知識が求められることから、他の科目にまして学生の理解度を把握して授業を進める必要がある。そのため学生がどれくらいわかっているか確認する質問などをおこなうのも良いのではないか。授業後、学生が個別に質問に来ていたが、授業中に質問の機会もあれば良いのではなかろうか。特に判例で取り上げた事例は複雑な話であり(いったん話を聞き逃すと分からない事例かと)、事実関係がわかっているか学生に確認して進めてもよいと思われる。さらにまたYeStudyを活用して、プリントの事前配布、教科書・判例の事前予習のアナウンス、理解度の確認なども進めてみてよい。</p>			

学部	法学部	実施教員	山崎 望
1. 実施日・曜日・時限	12月11日(水)・1時限	教場	8-150
2. 実施科目名	政治学(国際社会と日本)	報告責任者	清滝 仁志
3. 学生履修者数	126人		
4. 公開授業参加者数	4人		
5. 授業実施状況			
<p>①授業冒頭で、教員が印刷したレジюме資料(B4 2枚4頁)とレスポンスカードを配布。レジюмеに沿った講義、視聴教材、学生のレスポンスカード記入の3部構成。</p> <p>②前回のレスポンスカードに応じて開始。レジюмеのみならず板書で概念図を示したり、効果的な視聴覚資料の使用。</p> <p>③理論を説明した後、歴史上の具体例を示し、関連するビデオを見せることで理解の促進。最後に「考えさせる」ためにレスポンスカードへの記入・提出の工夫。</p> <p>*多様な考え方や意見があり得る項目なので、教員やビデオでの意見に学生が引きずられないように配慮。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>レジюмеと板書を用いた説明は分かりやすい。</p> <p>①1時限ということもあり遅刻してくる学生が多く、配布資料を置く位置に工夫の余地あり。(教卓横であると前に行かねばならず、他の学生の集中力を削ぐかも)</p> <p>②レジюмеは、どの部分を説明しているのか、分かりにくい部分もあり。時間の制約で若干早口ということもあり、レジюмеのどの項目を話されているか、言及するとわかりやすい。</p> <p>③YeStudyなどを活用すると、レスポンスカードの学生相互の確認、レジюмеの配布、ビデオのリンクなどの工夫が可能。</p>			

学部	経営学部	実施教員	西村 和夫
1. 実施日・曜日・時限	11月7日(木)・1時限	教場	2研-209
2. 実施科目名	経営科学概論B	報告責任者	小野瀬 拓
3. 学生履修者数	55人		
4. 公開授業参加者数	10人		
5. 授業実施状況			
<p>【授業実施上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YeStudyおよび講義用サイトをベースにWikipediaやYouTubeも活用し授業進行。いたるところにリンクがある。 ・学生の集中度が高い。 ・補足的に板書している。 ・問題を提示し学生に考えさせてから教えたい内容を説明する形式がとられている。 <p>【授業で採り入れたい点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YeStudyの活用(Q&Aなど)。 ・Webページからの情報の組み入れ。 			

<ul style="list-style-type: none"> ・気分転換。 ・授業で紹介された事例を使わせていただきたい。 ・学生に考えさせてから説明するスタイル。 <p>【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たにテキストをつくらなくても既存の Web サイト情報を活用することで高い教育効果がある。 ・具体的な活動の意思決定ケースを扱うので数字を楽しく学べる。 ・前回の課題の解説から入るので学生のモチベーションになっている。
<p>6. 授業改善ポイント指摘事項</p> <p>リンク先の資料の内容が複雑かもしれない。</p>

学部	医療健康科学部	実施教員	渡邊 雄一
1. 実施日・曜日・時限	11月14日(木)・2時限	教場	7-202
2. 実施科目名	診療画像技術学Ⅱ	報告責任者	吉川 宏起
3. 学生履修者数	58人		
4. 公開授業参加者数	4人		
<p>5. 授業実施状況</p> <p>診療放射線技術学について解剖、生理学に基づいて撮影技術の基礎から実際の臨床現場に即した注意事項、安全管理についての授業が行われていた。スライドを撮影しながらわかりやすく説明がなされ、合間に質問を投げかけるなど、授業が一方通行にならないように工夫がなされていた。</p>			
<p>6. 授業改善ポイント指摘事項</p> <p>特に意見なし</p>			

学部	グローバル・メディア・スタディーズ学部	実施教員	石川 憲洋
1. 実施日・曜日・時限	11月11日(月)・2時限	教場	1-402
2. 実施科目名	コンピュータワークショップⅠ	報告責任者	アッシュウェル ティム
3. 学生履修者数	130人		
4. 公開授業参加者数	2人		
<p>5. 授業実施状況</p> <p>このコースの8回目の講義で、学生が30名程出席していた。広い教室の後ろのほうに学生は友達グループでまとまって、あるいは一人一人がバラバラに座っていた。</p> <p>最初の15分間は、先生はプログラミング、IT教育、グローバル市場、IT企業の国際競争、テクノロジーの変化、ITの5大企業の優勢などについて話した。</p> <p>次の25分間は、今日の課題を説明した。Powerpointなどを通して、プログラミングタスクのいくつかのステップを説明した。</p> <p>最初の50分間は、学生が自分のコンピュータを使い、各々のペースでタスクを仕上げた。友達同士で自由に助け合ったり、先生やティーチングアシスタントに尋ねたりしていた。課題を完成しオンラインで提出した後は、自由に退席できた。</p>			

6. 授業改善ポイント指摘事項

よかった点：

- i) .課題の資料、先生の用いた Powerpoint などが既にコースの Moodle ページに掲載され、学生が自由にアクセスできるようになっていた。毎回の課題は前回の課題とつながり、少しずつ段階的に積み重ねられていた。
- ii) .今回の課題に取り組む時間は十分に与えられ、必要であれば先生やティーチングアシスタントに相談できる環境だった。

改善ポイント：

- i) .復習するための Q&A がなく、今回の授業内容は今後の授業とどうつながっているのか、コースを修了すると何ができるようになるのか、触れられていなかった。学生から答えを引き出していなかった。さらに学生とのコミュニケーションをとるようにすることで学生のモチベーションが上がり、コース内容の理解を深めることができるのではないかと思える。

学部	総合教育研究部	実施教員	清水 善和
1. 実施日・曜日・時限	11月20日(水)・3時限	教場	8-361
2. 実施科目名	生物学Ⅱ	報告責任者	山縣 毅
3. 学生履修者数	約200人		
4. 公開授業参加者数	4人		
5. 授業実施状況			
<p>上記日時に8号館361教場において、総合教育研究部自然科学部門 清水善和教授の公開授業を開催した。参観者は4名であった。授業は、受講者約200人の通常の対面授業で、授業内容は「ネオ・ダーウィニズム」、特に「進化論の歴史」、「ネオ・ダーウィニズムのポイント」、「ネオ・ダーウィニズムへの誤解」についてであった。参観教員は、聴講をしながら、「公開授業の振り返りシート」への記入を行った。</p> <p>公開授業後、第1研究館5階自然科学部門事務室において、実施教員の清水教授と公開授業参観教員で、公開授業の振り返りを約30分間行った。振り返りシートを基に、公開授業について参観教員の授業での体験を交えながら意見交換を行い、授業改善について有意義な議論が行えた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>授業改善ポイントについての参観者からの指摘事項は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の公開授業では、デジタル教科書を作成しYeStudyに公開しており、学生の学習環境が良く整えられている。 ・デジタル教科書の学生への公開についての課題について、意見が述べられた。 ・C-Learningによる出欠確認の方法について、今回の公開授業の様に暗証番号を設けたり、授業についての設問を解答させることで、確実に出席者を確認できる。 ・板書の改善についての意見が出された。 			

学部	総合教育研究部	実施教員	竹田 幸夫
1. 実施日・曜日・時限	11月15日(金)・1時限	教場	玉川-多目的グラウンド
2. 実施科目名	健康・スポーツ実習(ゴルフ)	報告責任者	山口 良博
3. 学生履修者数	14人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>体育実技におけるゴルフの授業で、当日のテーマは「スイングの基礎技術を習得するためのドリル練習」ということであった。準備運動の後、前回までの復習もかねて学生に質問する形でスイングチェックする際の3つのポイントが確認され、当日の授業内容の説明があった。3つの練習方法を用いて習得を目指す内容だったが、各練習方法毎に集合してやり方とその練習で意識すべきポイントが提示され、その後各自が反復練習する形で進められた。その間、適宜それぞれに対してのアドバイスがあり、きめ細やかな授業が行われていた。</p> <p>また、ICT機器を用いてその場で自分のフォームチェックが出来る様に準備しており、授業の最初と最後に各自が自身のスイング動画を確認する時間が設けられていた。そのために事前学習として動画を視聴するように課題が提示されていたようで、その映像と自分の動きを比較してより確かな自己評価が行われていた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>この授業はICT機器を用いて行われていたが、自分の動作についてイメージと実際は異なっていることが多いのでこのような授業展開は大変効果的であると思います。実際に学生の反応を見ても学習効果や意欲が高まっていたと感じました。特に改善点はありませんが、各練習方法毎にポイントが提示されていたが、内容が多く消化不良で終わる学生も出たのではということは懸念される。</p>			

5. 学生による授業アンケート

(1) 「学生による授業アンケート」の概要

各教員の授業の改善を目的に、2019年度「学生による授業アンケート」を下記の要領で実施した。C-Learning システムを利用し、Web 上で学生は回答をし、教員は結果を確認する方式をとっている。本報告書では、集約したデータの学部学科専攻部門・質問項目ごとの平均値を示した。

◇実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間内に実施した。

前期（前期終了科目対象）：2019年 6月3日～22日

後期（後期・通年科目対象）：2019年11月4日～23日

◇対象科目および対象学生数

全科目を対象に実施した。ただし、演習科目、集中講義科目ならびに履修者数が10名未満の科目は対象外とした。

前期 1,381科目 78,471人（延べ人数）

後期 1,934科目 128,450人（延べ人数）

◇実施科目数および回答者数

前期 1,381科目

対象者：78,471人

回答者：40,312人（51.4%）

後期 1,934科目

対象者：128,450人

回答者：49,662人（38.7%）

(2) 授業アンケート質問項目

Q 1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル(コース制等)を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- 1: その他

Q 2. この授業の予習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

Q 3. この授業の復習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

(Q 2・3 選択肢)

- 5: 3時間以上～
- 4: 2時間以上～3時間未満
- 3: 1時間以上～2時間未満
- 2: 1時間未満
- 1: 全くしていない

Q 4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q 4の選択肢はQ 9の後に記載)

Q 5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0回
- 4: 1～2回(半期科目)、1～4回(通年科目)
- 3: 3～4回(半期科目)、5～9回(通年科目)
- 2: 5～6回(半期科目)、10～13回(通年科目)
- 1: 7回以上(半期科目)、14回以上(通年科目)

Q 6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q 7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy等による課題授業含む)

Q 8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q 9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q 4・6～9 選択肢)

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない

- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない

Q10. 教科書・配付資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

- 5：そう思う
- 4：ややそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：教科書・配付資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12選択肢)

- 5：そう思う
- 4：ややそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

- 5：そう思う
- 4：ややそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：板書・スクリーンへの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14の選択肢はQ18の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

- 5：そう思う
- 4：ややそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q14・16～18選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

Q19. 教員自由設定質問 (選択)

Q20. 教員自由設定設問 (記述)

Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

Q23. 所属学部学科等

20: 仏教

19: 国文

18: 英米文

17: 地理

16: 日本史学

15: 外国史学

14: 考古学

13: 社会学

12: 社会福祉学

11: 心理

10: 経済

9: 商

8: 現代応用経済

7: 法律A

6: 法律B

5: 政治

4: 経営

3: 市場戦略

2: 診療放射線技術科

1: グローバル・メディア

Q24. 学年

5: 4年

4: 3年

3: 2年

2: 1年

1: その他

Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試

10: 大学入試センター試験利用入試

9: 一般推薦入試・自己推薦入試

8: スポーツ推薦入試

7: 指定校推薦

6: 付属校推薦入試

5: 留学生特別入試

4: 帰国生特別入試

3: 編入学試験

2: その他の試験

1: 回答しない

(3) 項目別平均値

「項目別平均値」に関しては、前期・後期で実施されたアンケートについて、質問項目Q2～18の学部・学科・専攻・部門別平均値を表に示したものである。学科・専攻・部門は、担当教員の所属による集計となっている。

これらの表を解釈する際、Q2～5までが学生の授業への取り組みについての結果であるのに対して、Q6～18までが該当授業の内容についての結果であることを念頭においておく必要がある。

なお、学生による自由記述項目（Q21・22）に関してはここでは報告していない。

I. 学部・学科別平均値

表1 学科等別平均値（前期実施科目）※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	-	-	-	1.9	-	1.9
Q3 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	-	-	-	1.8	-	1.8
Q4 平均値	3.9	3.9	-	4.1	4.1	-	-	-	-	4.0	-	4.0
Q5 平均値	4.3	4.3	-	4.2	4.2	-	-	-	-	4.4	-	4.4
Q6 平均値	4.5	4.5	-	4.8	4.8	-	-	-	-	4.8	-	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	-	-	-	4.9	-	4.9
Q8 平均値	4.8	4.8	-	4.6	4.6	-	-	-	-	4.8	-	4.8
Q9 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	-	-	-	4.4	-	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	-	4.5	4.5	-	-	-	-	4.6	-	4.6
Q11 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	-	-	-	4.9	-	4.9
Q12 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	-	-	-	4.8	-	4.8
Q13 平均値	4.6	4.6	-	4.6	4.6	-	-	-	-	4.7	-	4.7
Q14 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	-	-	-	4.7	-	4.7
Q15 平均値	4.7	4.7	-	4.4	4.4	-	-	-	-	4.9	-	4.9
Q16 平均値	4.6	4.6	-	4.4	4.4	-	-	-	-	4.4	-	4.4
Q17 平均値	4.2	4.2	-	4.2	4.2	-	-	-	-	4.3	-	4.3
Q18 平均値	4.4	4.4	-	4.3	4.3	-	-	-	-	4.1	-	4.1
有効回答	79			66			-			50		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非									
Q2 平均値	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.6	1.1	1.9	1.4	1.3	1.4
Q3 平均値	1.7	1.8	1.6	1.6	1.8	1.5	1.7	1.2	2.0	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	4.2	3.7	4.2	3.9	4.4	4.0	3.9	4.1
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.6
Q6 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7	4.3	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.9	4.8	4.9	4.7	4.5	4.8
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.2	4.6
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.7	4.6	4.7	4.5	4.1	4.5
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.4	4.8
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	4.8	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.6	4.7	4.5	4.3	4.4	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7
Q16 平均値	4.0	3.9	4.2	4.0	4.1	4.0	4.5	4.4	4.5	4.2	3.9	4.3
Q17 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.5	4.4	4.1	4.6
Q18 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	4.0	4.3	4.1	4.4	4.2	3.9	4.3
有効回答	647			640			158			273		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉			(文) 心理		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.4	-	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値	1.7	-	1.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値	4.3	-	4.3	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.7	-	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q6 平均値	4.9	-	4.9	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	5.0	-	5.0	4.8	4.9	4.8	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.8	-	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.8	-	4.8	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.3	4.2
Q10 平均値	4.7	-	4.7	4.4	4.0	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値	4.7	-	4.7	4.4	4.0	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.6	4.4
Q12 平均値	4.9	-	4.9	4.4	4.0	4.4	4.5	4.7	4.4	4.3	4.4	4.2
Q13 平均値	4.9	-	4.9	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値	4.9	-	4.9	4.3	4.1	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.8	-	4.8	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5
Q16 平均値	4.5	-	4.5	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
Q17 平均値	4.5	-	4.5	4.1	3.8	4.2	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
Q18 平均値	4.2	-	4.2	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	3.9	3.8
有効回答	62			373			812			1,372		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5	1.7	-	1.7
Q3 平均値	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	-	1.6
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	-	3.8
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	-	4.4
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	-	4.5
Q7 平均値	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	-	4.4
Q8 平均値	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	4.4	-	4.4
Q9 平均値	4.3	4.4	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.4	4.1	-	4.1
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.0	-	4.0
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4	-	4.4
Q12 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.6	4.3	4.0	-	4.0
Q13 平均値	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	3.9	4.2	4.3	3.8	3.7	-	3.7
Q14 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4	4.3	-	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	-	4.3
Q16 平均値	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	3.9	-	3.9
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	-	3.9
Q18 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	-	3.8
有効回答	4, 129			2, 903			1, 611			340		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療健康科)		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.4	1.5	1.3
Q3 平均値	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8
Q5 平均値	4.5	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.8	4.8	4.7
Q6 平均値	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値	4.7	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7
Q8 平均値	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.7	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値	4.6	4.6	4.7	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6
Q12 平均値	4.6	4.6	4.5	4.2	4.1	4.4	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.5
Q13 平均値	4.3	4.3	4.2	4.0	3.9	4.2	4.0	4.0	4.2	4.3	4.2	4.4
Q14 平均値	4.5	4.5	4.5	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	4.1	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	4.0
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.9	4.1	4.1	4.0
Q18 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
有効回答	555			1, 536			1, 570			1, 021		

(学部)学科等	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化			
	専任・非常	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.6	1.9	1.4	1.3	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5
Q3 平均値	1.8	1.7	1.9	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.1	3.8	3.7	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	4.4
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値	4.7	4.7	4.6	4.4	4.2	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q9 平均値	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.6	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.7	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.5	4.6	4.2	4.7	4.7	4.7	4.7
Q13 平均値	4.3	4.4	4.2	4.1	4.3	3.7	4.3	4.4	4.0	4.5	4.4	4.4	4.6
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.2	4.5	4.5	4.5	4.6
Q16 平均値	3.9	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.2	4.2	4.4
Q17 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.4
Q18 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.1	4.4
有効回答	2,241			386			3,236			1,000			

(学部)学科等	(総合)外国語第一			(総合)外国語第二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程			
	専任・非常	全体	専	非	全	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.9	1.9	2.0	1.8	1.6	2.0	1.6	1.6	-	1.4	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	1.9	1.7	2.1	1.5	1.5	-	1.5	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	3.9	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	-	4.0	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	-	4.6	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-	4.8	4.8	4.8	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	-	4.8	4.9	4.9	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	-	4.7	4.8	4.8	4.7
Q9 平均値	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	-	4.5	4.6	4.6	4.4
Q10 平均値	4.4	4.2	4.4	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	-	4.5	4.6	4.6	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	-	4.6	4.7	4.7	4.6
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	-	4.6	4.5	4.5	4.6
Q13 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	-	4.3	4.4	4.4	4.3
Q14 平均値	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	-	4.5	4.6	4.6	4.5
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	-	4.6	4.7	4.7	3.0
Q16 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.5	4.5	-	4.2	4.3	4.3	4.2
Q17 平均値	4.0	3.8	4.0	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3	-	4.2	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	-	4.2	4.2	4.2	4.1
有効回答	4,873			1,705			263			631			

表2 学科等別平均値（後期実施科目）

(学部)学科等	(仏教) 禪			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
Q2 平均値	1.6	1.6	2.0	1.5	1.5	1.6	1.8	2.1	1.7	1.9	1.9	1.9
Q3 平均値	1.6	1.6	1.9	1.6	1.6	1.7	1.9	2.2	1.8	1.7	1.7	1.7
Q4 平均値	3.7	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q6 平均値	4.4	4.3	4.8	4.5	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.7
Q7 平均値	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7
Q9 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.7	4.6	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6
Q12 平均値	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7
Q13 平均値	4.2	4.1	4.6	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4
Q14 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答	1,276			2,068			1,248			1,257		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
Q2 平均値	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.7
Q3 平均値	1.7	1.9	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値	4.1	4.2	4.0	4.0	4.1	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.2	4.8	4.6	4.4	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	4.5	4.8	4.8	4.6	4.9
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.4	4.7	4.7	4.5	4.7
Q9 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.2	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5
Q11 平均値	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7
Q12 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.2	4.6	4.5	4.3	4.7
Q13 平均値	4.5	4.3	4.6	4.4	4.5	4.2	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3
Q14 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6
Q16 平均値	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1
Q17 平均値	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8	4.1
有効回答	671			798			1,254			779		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉			(文) 心理		
	専任・非常	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専
Q2 平均値	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.5	1.6	1.4
Q3 平均値	1.6	1.6	1.7	1.6	1.7	1.5	1.4	1.3	1.4	1.6	1.8	1.6
Q4 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	3.9	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	4.5	4.3	4.8	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.4	4.3	4.5	4.0	4.5	3.9	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.5	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.4	4.6	4.8	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.3	4.0	4.7	4.0	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q13 平均値	4.4	4.3	4.5	3.9	4.2	3.9	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
Q14 平均値	4.5	4.4	4.6	4.1	4.2	4.1	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.6	4.6	4.6	4.1	4.2	4.1	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q16 平均値	4.1	4.0	4.1	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1
Q17 平均値	4.3	4.2	4.4	3.9	4.1	3.8	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答	338			564			807			2,151		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	専任・非常	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.4	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.6	1.8	1.9	1.6	1.8	1.8	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	3.7	3.8	3.7
Q5 平均値	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2
Q6 平均値	4.6	4.5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6
Q7 平均値	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.1	4.0	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.3
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4	4.3	4.5
Q13 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.1	4.0	3.9	4.1
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4	4.4	4.3	4.4
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.4
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	3.8	3.7	4.0
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0
Q18 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	3.8	3.8	3.9
有効回答	2,852			1,723			1,087			4,267		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療健康科)		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
専任・非常												
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.2
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.8	1.4
Q4 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	3.8
Q5 平均値	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.8	4.8	4.8
Q6 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.9
Q7 平均値	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.3	4.5
Q10 平均値	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q12 平均値	4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4
Q14 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7
Q16 平均値	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.3	4.1
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答	1, 813			2, 060			1, 457			775		

(学部)学科等	(GMS)			(総合) 文化学			(総合) 自然科学			(総合) 日本文化		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
専任・非常												
Q2 平均値	1.8	1.6	2.0	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.8	1.7	2.0	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.2
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.2	4.6	4.6	4.6
Q10 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6	4.5	4.7
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.3	4.7	4.7	4.6
Q13 平均値	4.4	4.3	4.6	4.1	4.3	4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5
Q14 平均値	4.5	4.4	4.6	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.7
Q15 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	4.1	4.0	4.3	3.9	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.4
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.5
Q18 平均値	4.1	4.0	4.2	3.9	3.9	3.9	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答	1, 473			3, 291			2, 171			964		

(学部)学科等	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.9	1.7	2.0	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	2.0	1.9	2.1	1.4	1.4	1.3	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.5	4.5	4.4	4.1	4.2	4.1
Q5 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4	4.8	4.8	4.8
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	4.9	4.9	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7
Q12 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7
Q13 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.4	4.4	4.5	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5	4.7	4.8	4.6
Q16 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.7	4.7	4.5	4.3	4.3	4.4
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	4.6	4.7	4.5	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.6	4.6	4.4	4.3	4.3	4.2
有効回答	5,686			1,960			1,287			1,073		

表3 学科等別平均値（全体）

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
Q2 平均値	1.6	1.5	2.0	1.5	1.5	1.6	1.8	2.1	1.7	1.9	1.9	1.9
Q3 平均値	1.6	1.6	1.9	1.6	1.6	1.7	1.9	2.2	1.8	1.7	1.7	1.7
Q4 平均値	3.7	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q6 平均値	4.4	4.3	4.8	4.5	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.7
Q7 平均値	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.7	4.6	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7
Q13 平均値	4.2	4.2	4.6	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5
Q14 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	4.0	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答	1,355			2,134			1,248			1,307		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
Q2 平均値	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5	1.6
Q3 平均値	1.7	1.8	1.6	1.6	1.8	1.5	1.7	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6
Q4 平均値	4.0	4.1	4.0	3.9	4.1	3.7	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.2	4.8	4.6	4.4	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.6	4.9
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.5	4.8
Q9 平均値	4.4	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.2	4.5
Q10 平均値	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.5	4.4	4.2	4.5
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.5	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.3	4.6	4.5	4.3	4.6
Q13 平均値	4.4	4.3	4.5	4.3	4.4	4.2	4.2	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3
Q14 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.7	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6
Q16 平均値	4.1	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.1	4.4
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	3.8	4.1
有効回答	1,318			1,438			1,412			1,052		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉			(文) 心理		
	専任・非常	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専
Q2 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値	1.6	1.6	1.7	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.5	1.6	1.8	1.6
Q4 平均値	4.1	4.0	4.2	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.3	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.7	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.7	4.6	4.7	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.5	4.3	4.6	4.2	4.4	4.1	4.4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3
Q10 平均値	4.5	4.4	4.6	4.3	4.1	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.3
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.4	4.2	4.4	4.6	4.7	4.4	4.6	4.6	4.5
Q12 平均値	4.4	4.0	4.8	4.1	4.1	4.1	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q13 平均値	4.5	4.3	4.6	4.0	4.2	4.0	4.1	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.6	4.2	4.1	4.2	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値	4.6	4.6	4.7	4.2	4.3	4.2	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.5
Q16 平均値	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0
Q17 平均値	4.3	4.2	4.4	4.0	3.9	4.0	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	3.9	4.1	3.9	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0
有効回答	400			937			1,619			3,523		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	専任・非常	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	3.8	3.7
Q5 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6
Q7 平均値	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3	4.1	4.3	4.3	4.4	4.1	4.0	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.2	4.5	4.6	4.4	4.3	4.3	4.3
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.0	4.0	3.9	4.0
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.4
Q16 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	3.8	3.7	3.9
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0
Q18 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	3.8	3.8	3.9
有効回答	6,981			4,626			2,698			4,607		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療健康科)		
	全	専	非	全	専	非	全	専	非	全	専	非
専任・非常												
Q2 平均値	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.3
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.5
Q4 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.8
Q5 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.8	4.8	4.8
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
Q9 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.4
Q10 平均値	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値	4.5	4.6	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6
Q12 平均値	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.5	4.5	4.6
Q13 平均値	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.4
Q14 平均値	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1
有効回答	2,368			3,596			3,027			1,796		

(学部)学科等	(GMS)			(総合) 文化学			(総合) 自然科学			(総合) 日本文化		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常												
Q2 平均値	1.7	1.6	1.9	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
Q3 平均値	1.8	1.7	1.9	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.3
Q5 平均値	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4	4.6	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
Q9 平均値	4.2	4.3	4.1	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.6
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.6
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.2	4.7	4.7	4.6
Q13 平均値	4.3	4.4	4.3	4.1	4.3	4.0	4.3	4.4	4.1	4.4	4.4	4.5
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.3	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.6	4.5	4.6
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3	4.2	4.4
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.5
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3
有効回答	3,714			3,677			5,407			1,964		

(学部)学科等	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	全体	専	非	全	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常												
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.9	1.7	2.0	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	2.1	1.4	1.4	1.3	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.5	4.5	4.4	4.1	4.1	4.1
Q5 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4	4.8	4.8	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8	4.9	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
Q9 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6
Q13 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.4	4.4	4.5	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.5	4.6	4.7	3.9
Q16 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.6	4.6	4.5	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.3	4.6	4.6	4.5	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.5	4.5	4.4	4.2	4.3	4.2
有効回答	10,559			3,665			1,550			1,704		

II. 学年別平均値

表4・5は、アンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。

表4 学年別平均値（前期実施科目）

学年	1年	2年	3年	4年	その他
Q2	1.6	1.6	1.6	1.7	2.6
Q3	1.7	1.7	1.7	1.8	2.5
Q4	3.9	4.0	3.9	3.9	4.6
Q5	4.6	4.5	4.5	4.1	3.5
Q6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.9
Q7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
Q8	4.5	4.6	4.6	4.6	4.9
Q9	4.2	4.3	4.3	4.4	4.9
Q10	4.3	4.4	4.3	4.4	4.9
Q11	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q12	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q13	4.2	4.3	4.2	4.3	5.0
Q14	4.3	4.5	4.4	4.5	5.0
Q15	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q16	4.0	4.1	4.0	4.1	4.9
Q17	4.0	4.1	4.1	4.2	4.9
Q18	3.9	4.0	4.0	4.1	4.9
有効 回答数	15,283	9,853	5,629	1,937	12

表5 学年別平均値（後期実施科目）

学年	1年	2年	3年	4年	その他
Q2	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5
Q3	1.6	1.7	1.7	1.9	1.3
Q4	4.0	4.0	3.9	3.9	4.5
Q5	4.4	4.4	4.2	3.9	4.7
Q6	4.6	4.7	4.6	4.7	5.0
Q7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8
Q9	4.3	4.4	4.3	4.4	4.8
Q10	4.4	4.4	4.3	4.5	4.7
Q11	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8
Q12	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q13	4.2	4.3	4.2	4.4	4.8
Q14	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q15	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q16	4.1	4.1	4.0	4.2	4.7
Q17	4.1	4.1	4.2	4.3	4.5
Q18	4.0	4.1	4.0	4.1	4.7
有効 回答数	20,447	15,588	8,725	2,585	6

Ⅲ. 入試形態別平均値

表6・7は、アンケート質問項目の入試形態別平均値を示したものである。

表6 入試形態別平均値（前期実施科目）

入試形態	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	自己推薦入試・ 一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5	2.2	1.9	1.6	1.5	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	2.3	2.0	1.8	1.6	1.8
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.1	4.1	4.0
Q5 平均値	4.5	4.4	4.5	4.3	4.6	4.6	4.6	3.9	4.5	4.6	4.6
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.9	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.8	4.5	4.6	4.7	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	4.4	4.3	4.1
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.2	4.4	4.4	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.5	4.6	4.6	4.4
Q12 平均値	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.5	4.4	4.3
Q13 平均値	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.7	4.4	4.2	4.4	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.4	4.5	4.6	4.3
Q16 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.9
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.5	4.1	4.2	4.1	3.9
Q18 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.5	4.0	4.1	4.0	3.9
有効回答数	17,042	2,255	2,589	1,124	4,248	3,094	746	100	529	250	737

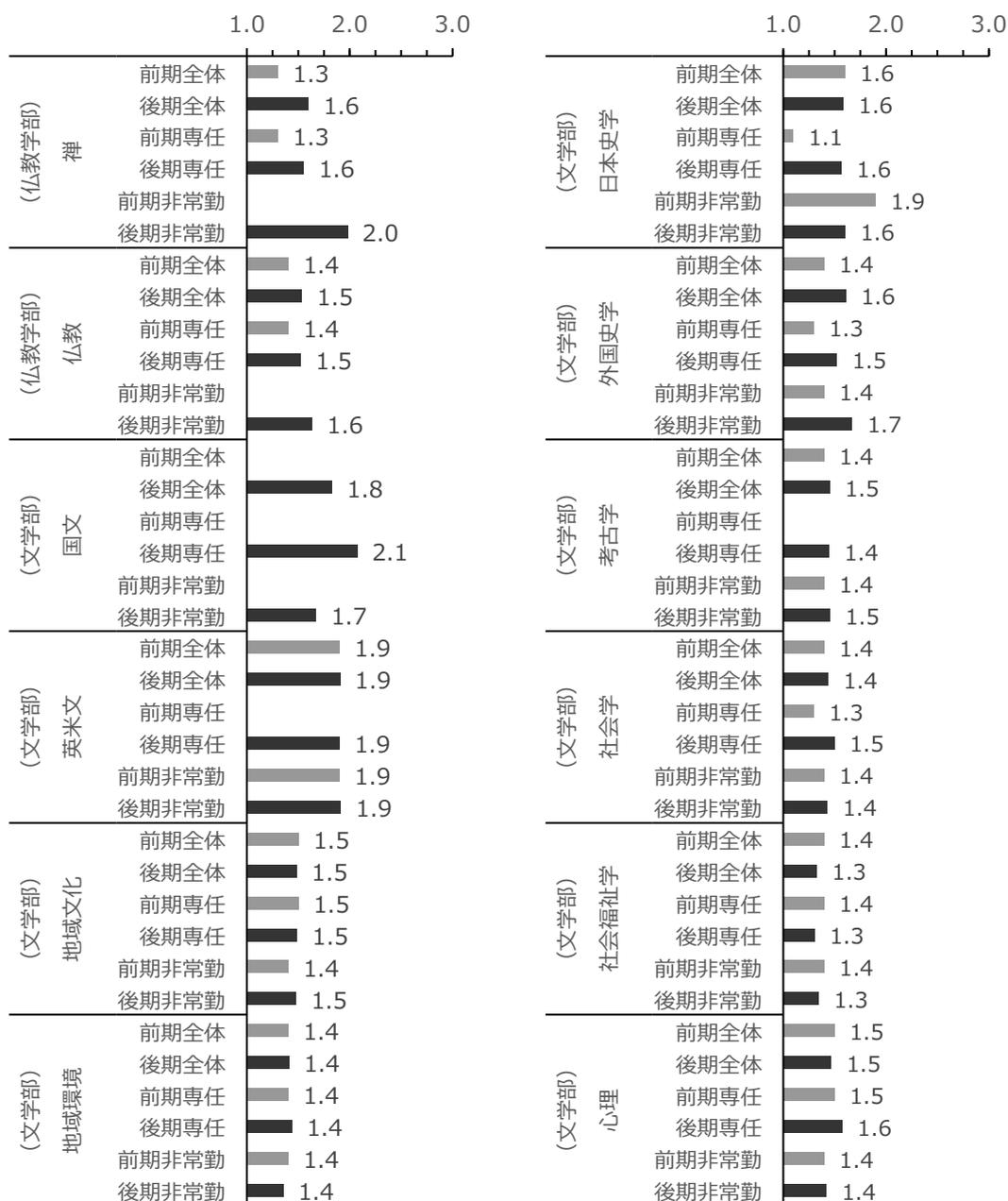
表7 入試形態別平均値（後期実施科目）

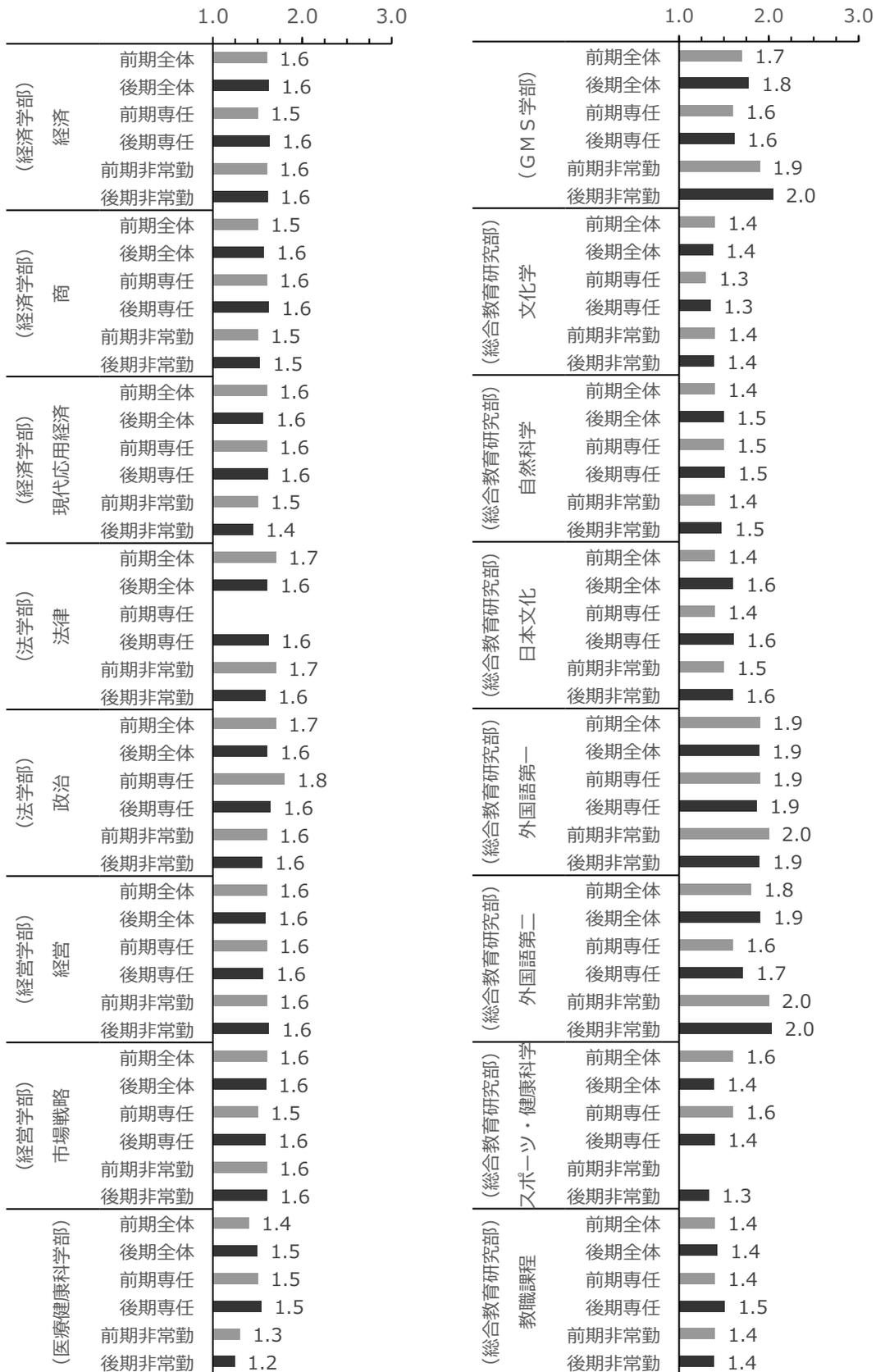
入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.5	2.3	2.1	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	2.4	2.1	1.8	1.7	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.1	4.1	3.8
Q5 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.6	4.4	4.0	4.2	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.8	4.5
Q8 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	4.7	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.4	4.5	4.4	4.0
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.6	4.4	4.0
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.3
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.5	4.6	4.6	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.7	4.5	4.5	4.4	4.0
Q14 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.7	4.5	4.5	4.5	4.1
Q15 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.3	4.8	4.7	4.6	4.6	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.5	4.2	4.2	4.1	3.7
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.0	4.0	4.5	4.2	4.3	4.1	3.7
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	3.9	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.7
有効回答数	25,013	3,525	4,323	1,315	6,204	3,531	869	90	752	332	1,397

(4) 受講生の講義への取り組み

「受講生の講義への取り組み」に関しては、(3)項目別平均値における(学)部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値を示している。なお、各グラフには前期実施科目と後期実施科目の平均値である。各アンケート項目は5段階評価で、ポイントが大きいほど良い評価となっている。

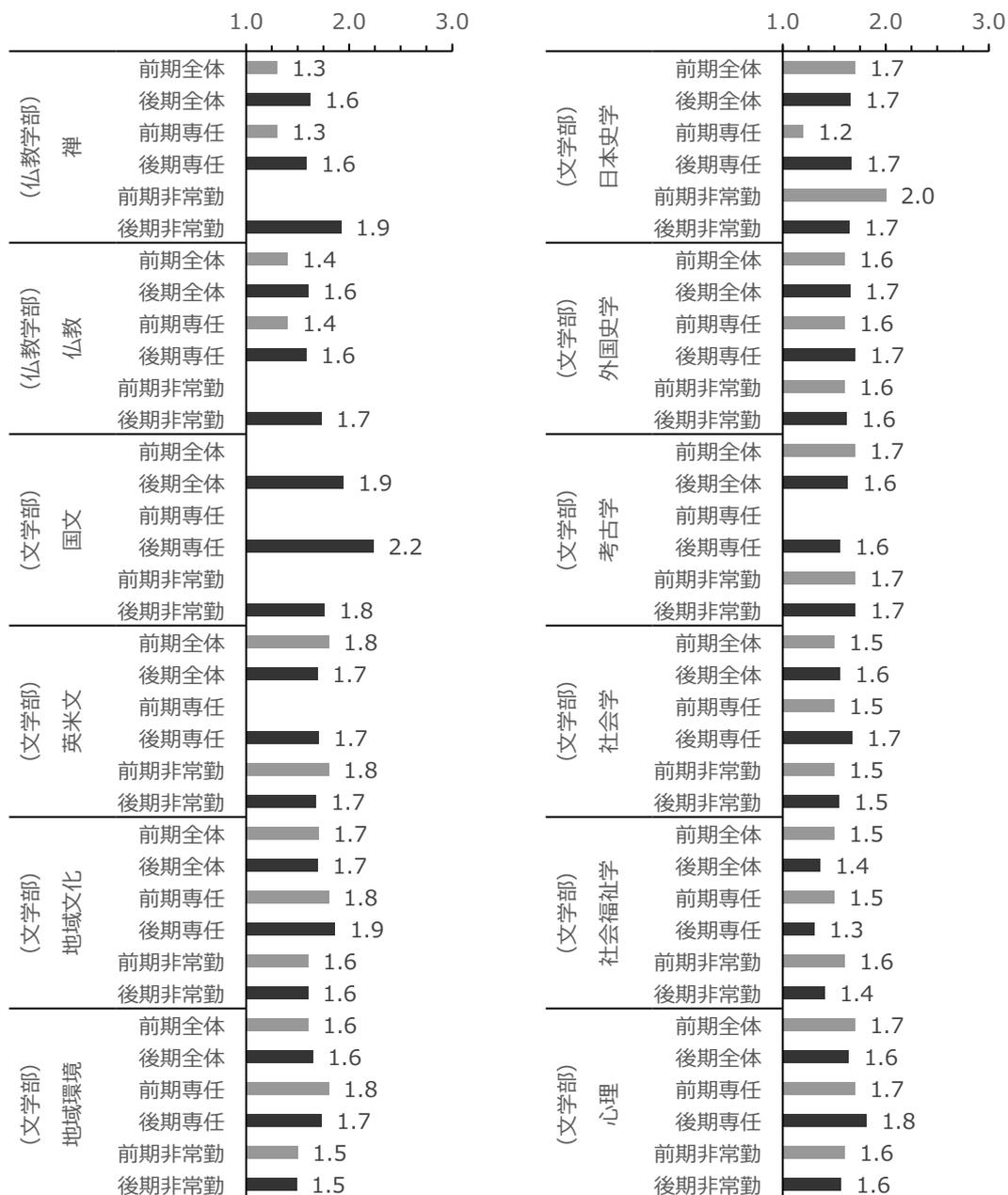
Q2. この授業の予習にあてている時間は、1週間に何時間くらいですか。		
5: 3時間以上	4: 2時間以上~3時間未満	3: 1時間以上~2時間未満
2: 1時間未満	1: 全くしていない	

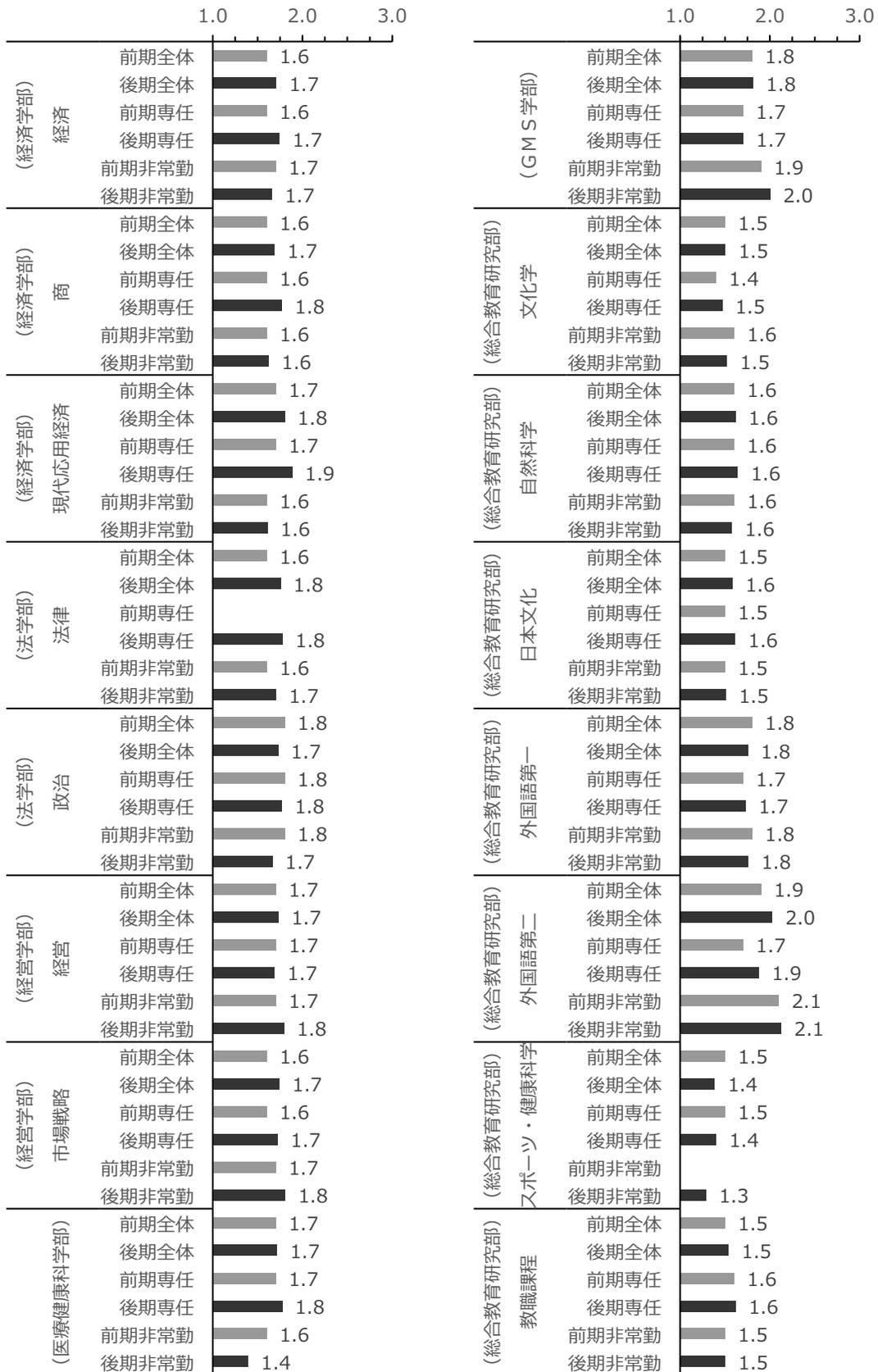




Q3. この授業の予習にあてている時間は、1週間に何時間くらいですか。

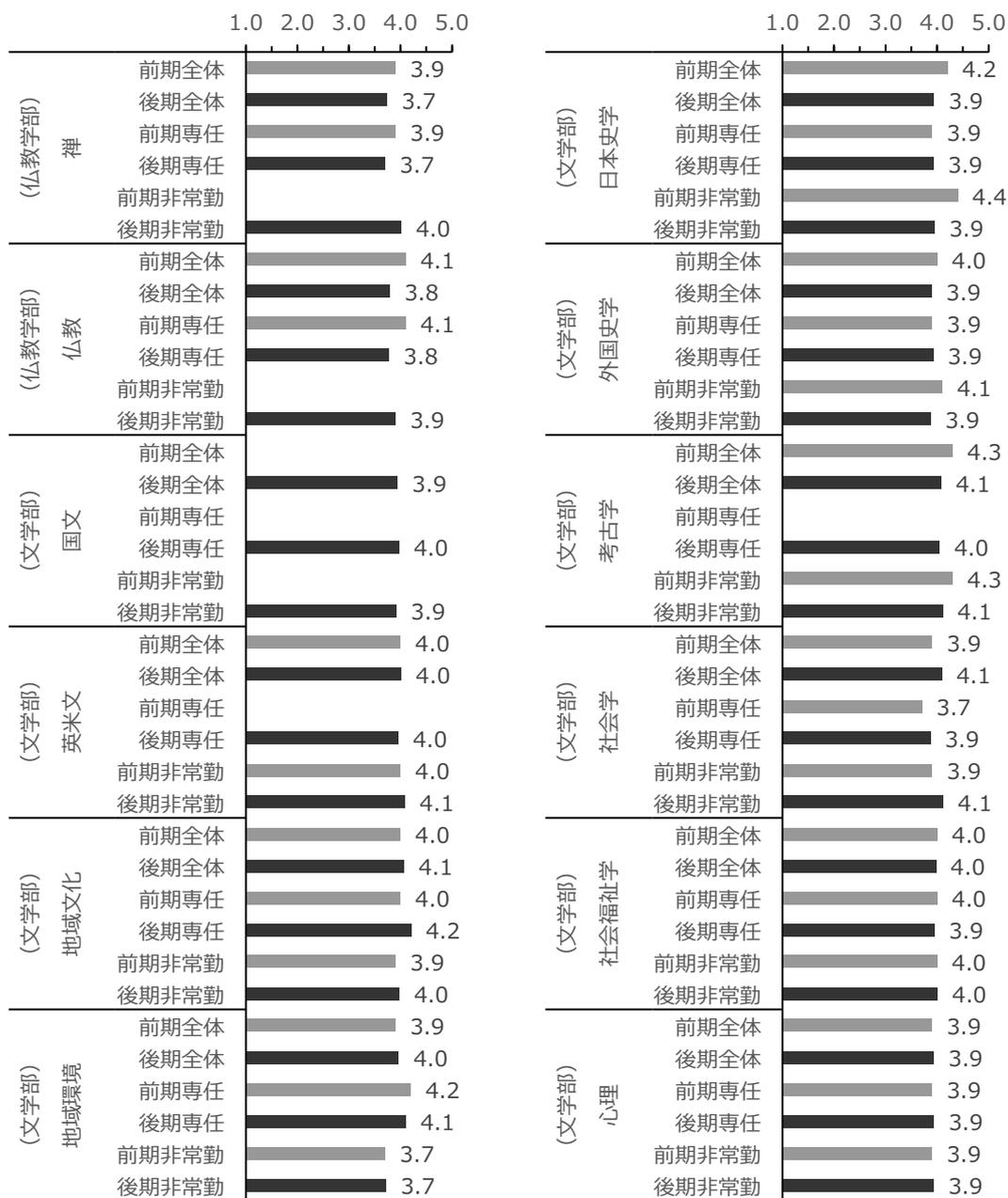
5 : 3時間以上 4 : 2時間以上～3時間未満 3 : 1時間以上～2時間未満
 2 : 1時間未満 1 : 全くしていない

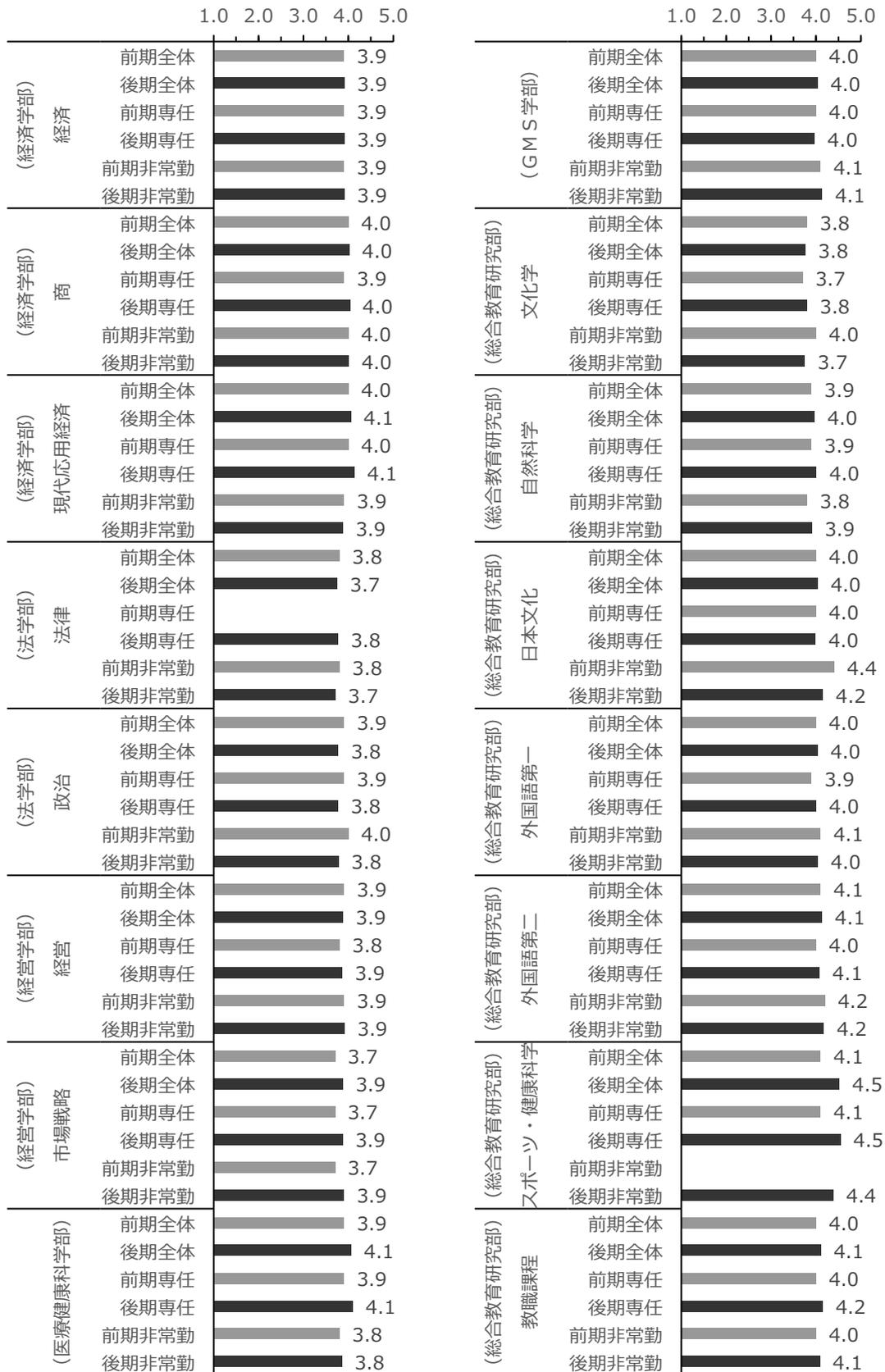




Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

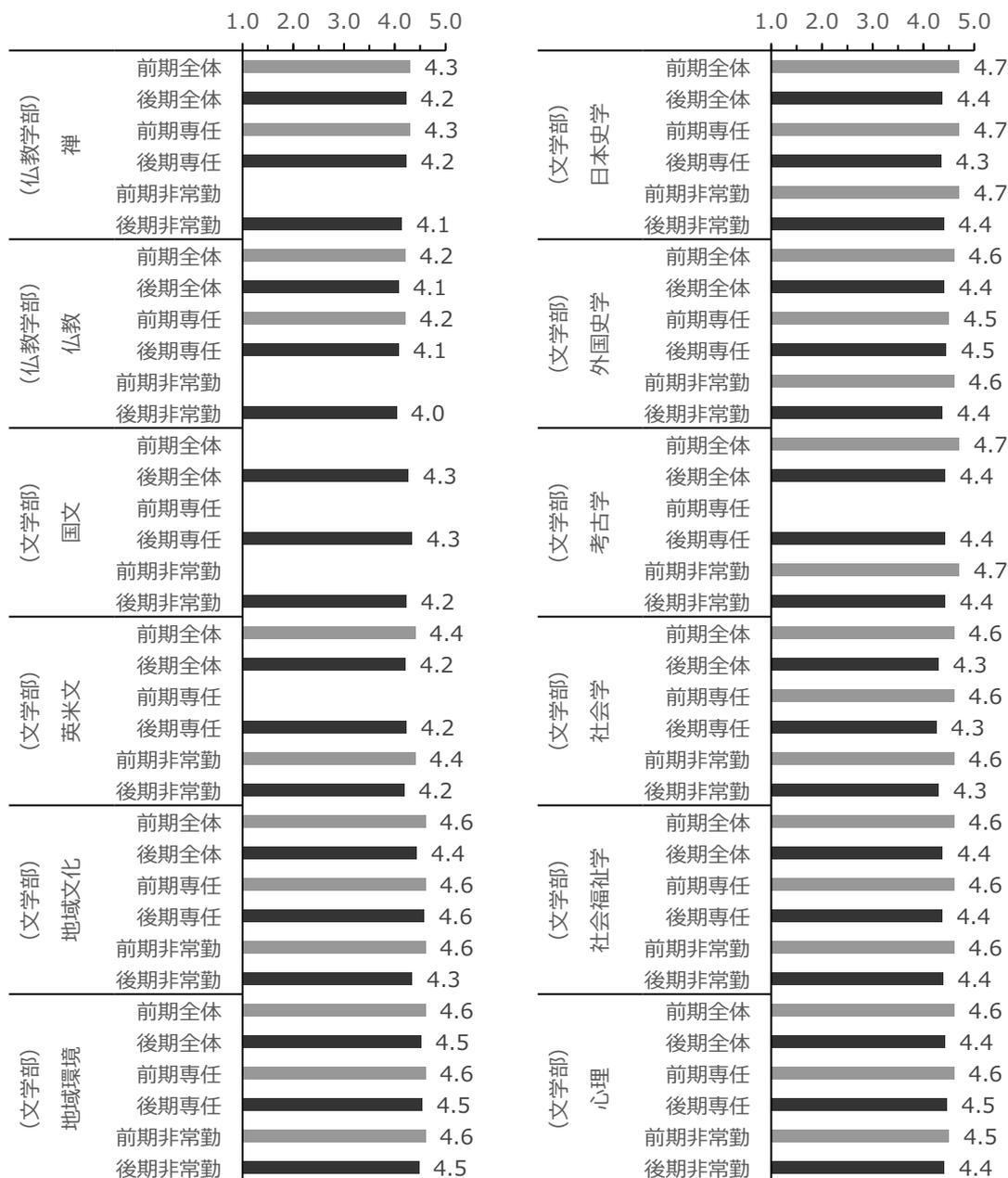
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

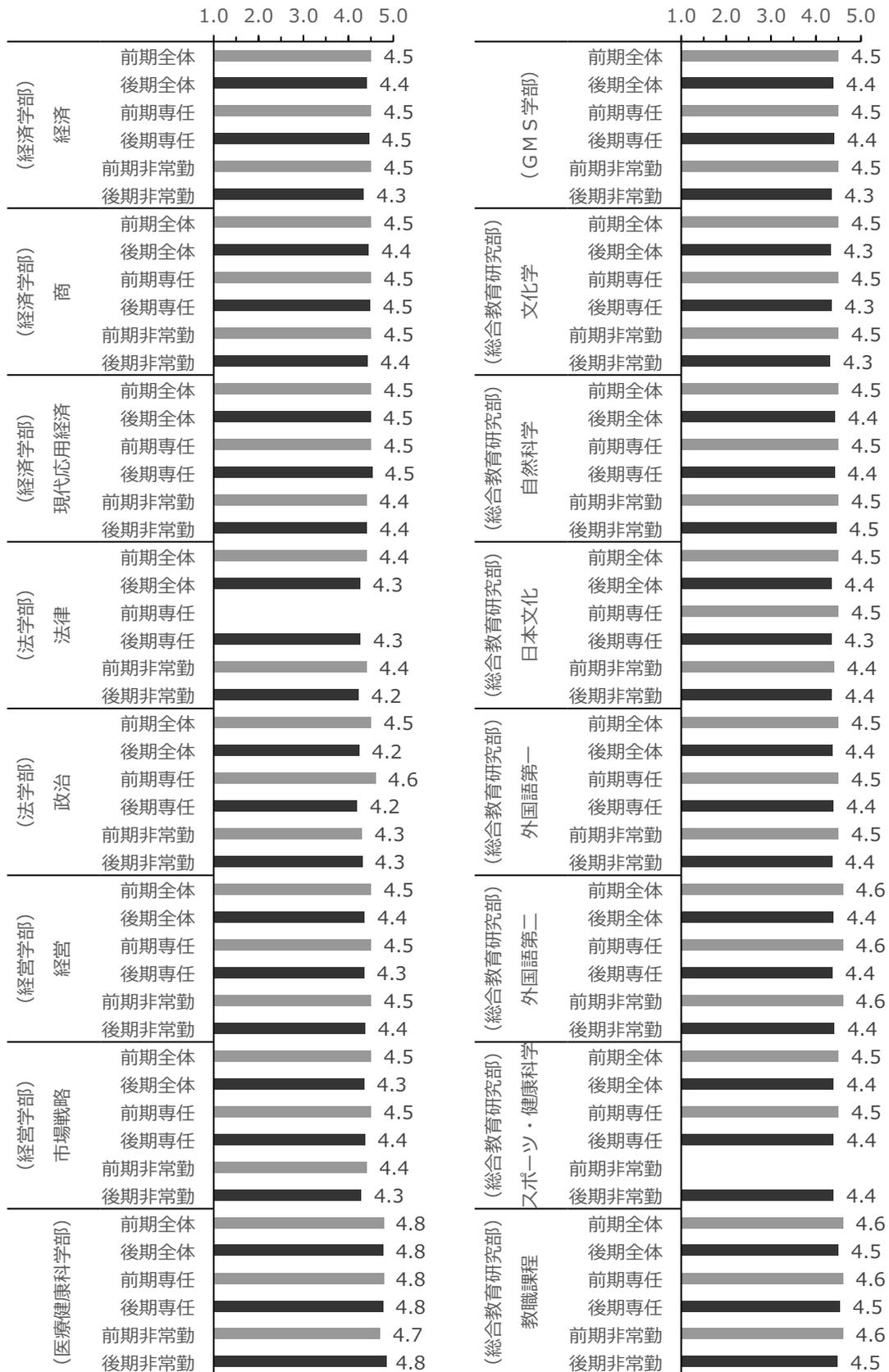




Q5. この授業を何回欠席しましたか。

(半期科目)	5:0回	4:1~2回	3:3~4回	2:5~6回	1:7回以上
(通年科目)	5:0回	4:1~4回	3:5~9回	2:10~13回	1:14回以上

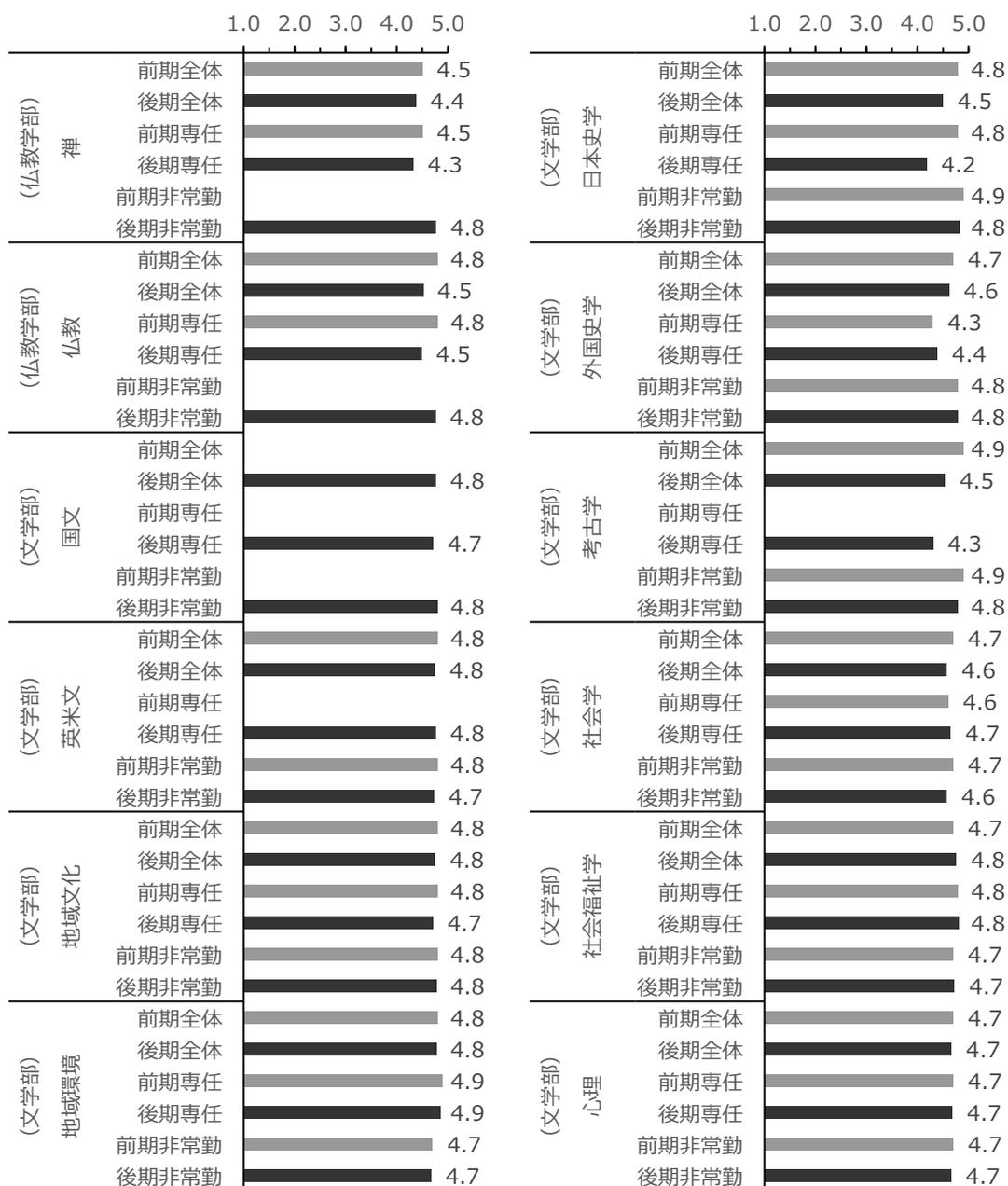


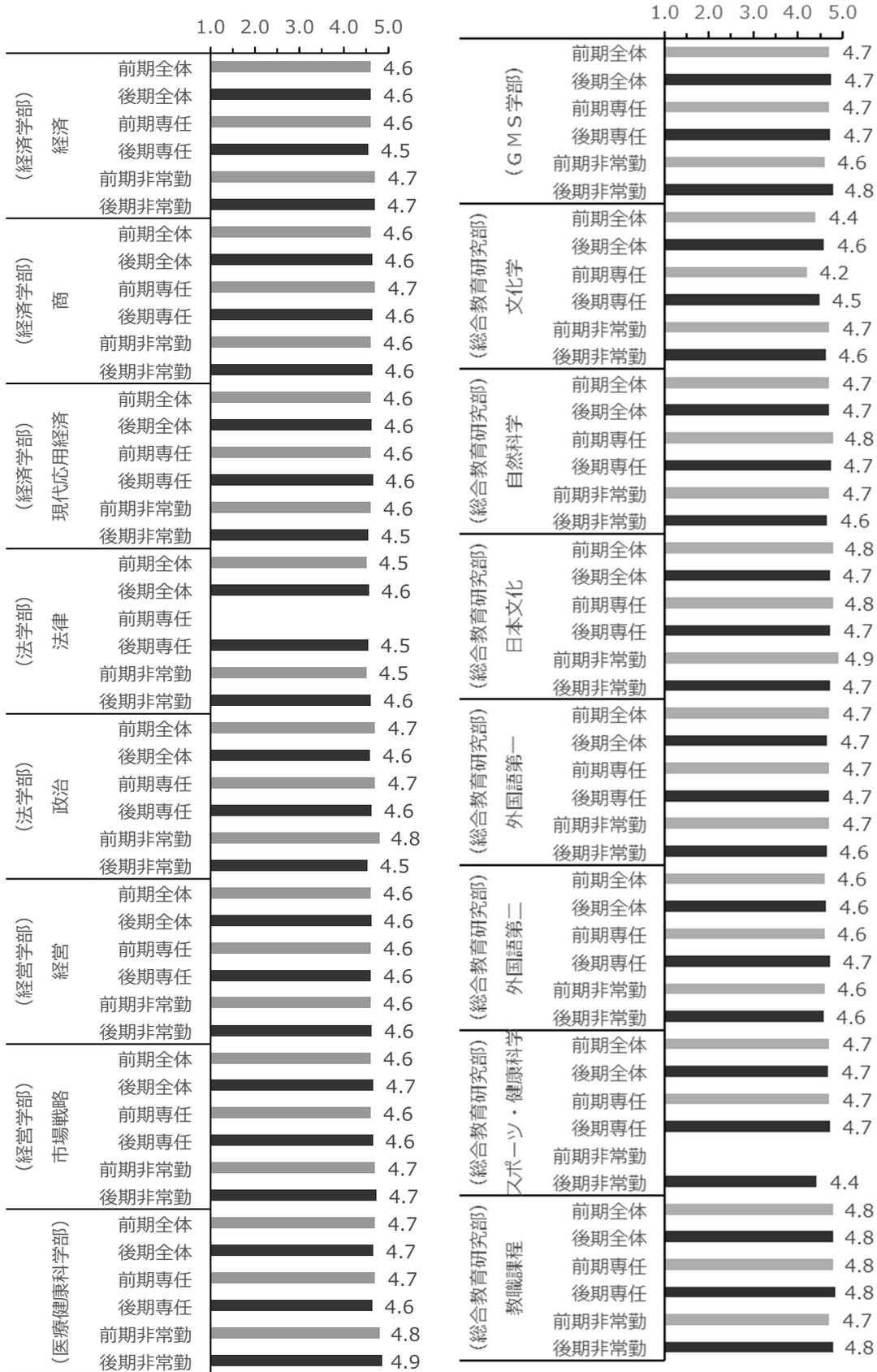


(4) 授業についての評価

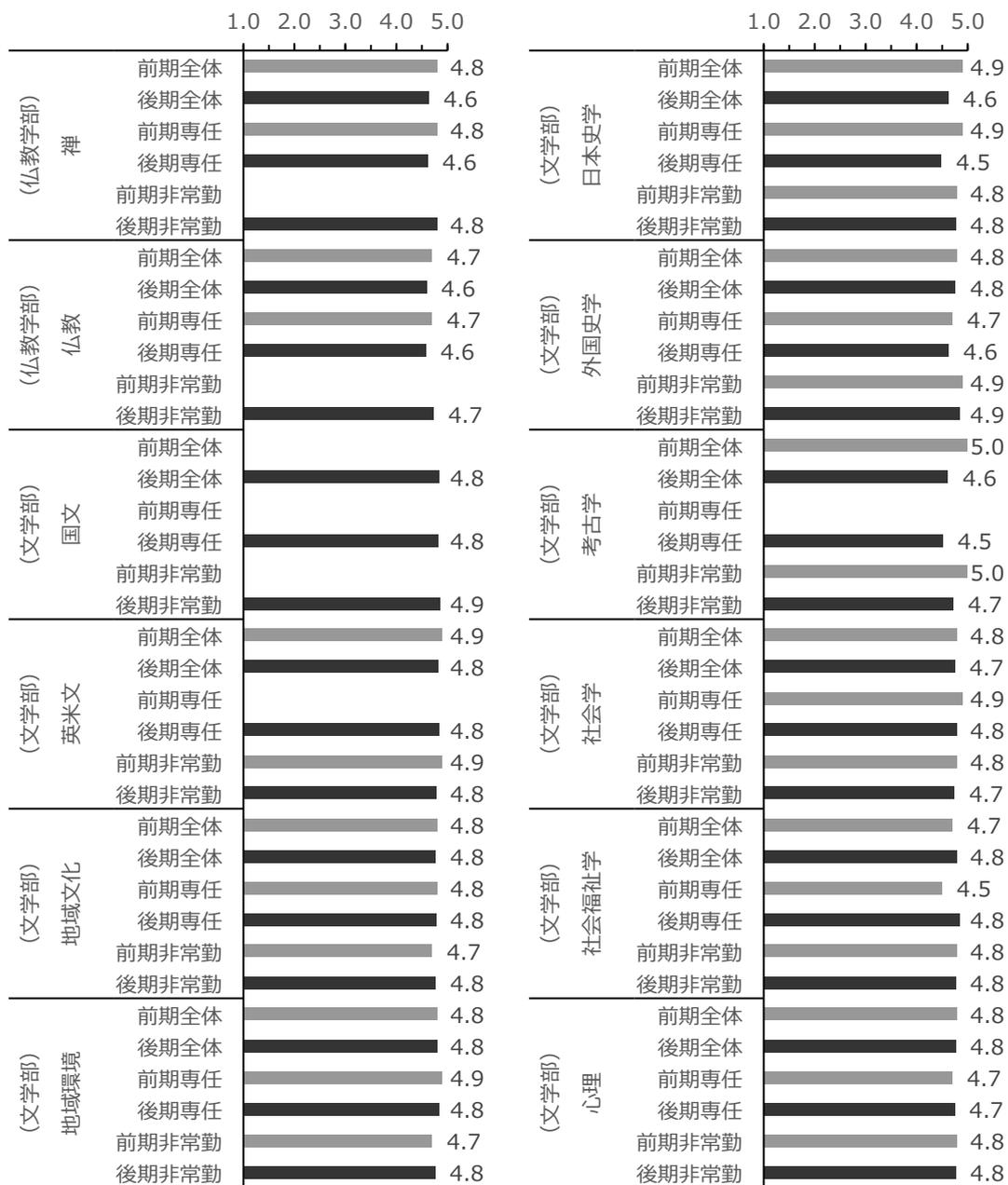
「授業についての評価」に関しては、(3)項目別平均値における(学)部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値に基づき、授業の開始時刻・終了時刻(Q6)、休講(Q7)、シラバスについて(Q8)、授業の進み方(Q9)、教材・資料・機材等の使い方(Q10)、授業に対する教員の取り組み(Q11~15)、授業内容の理解度(Q16)、授業内容への興味(Q17)、学習目標の達成(Q18)を示している。

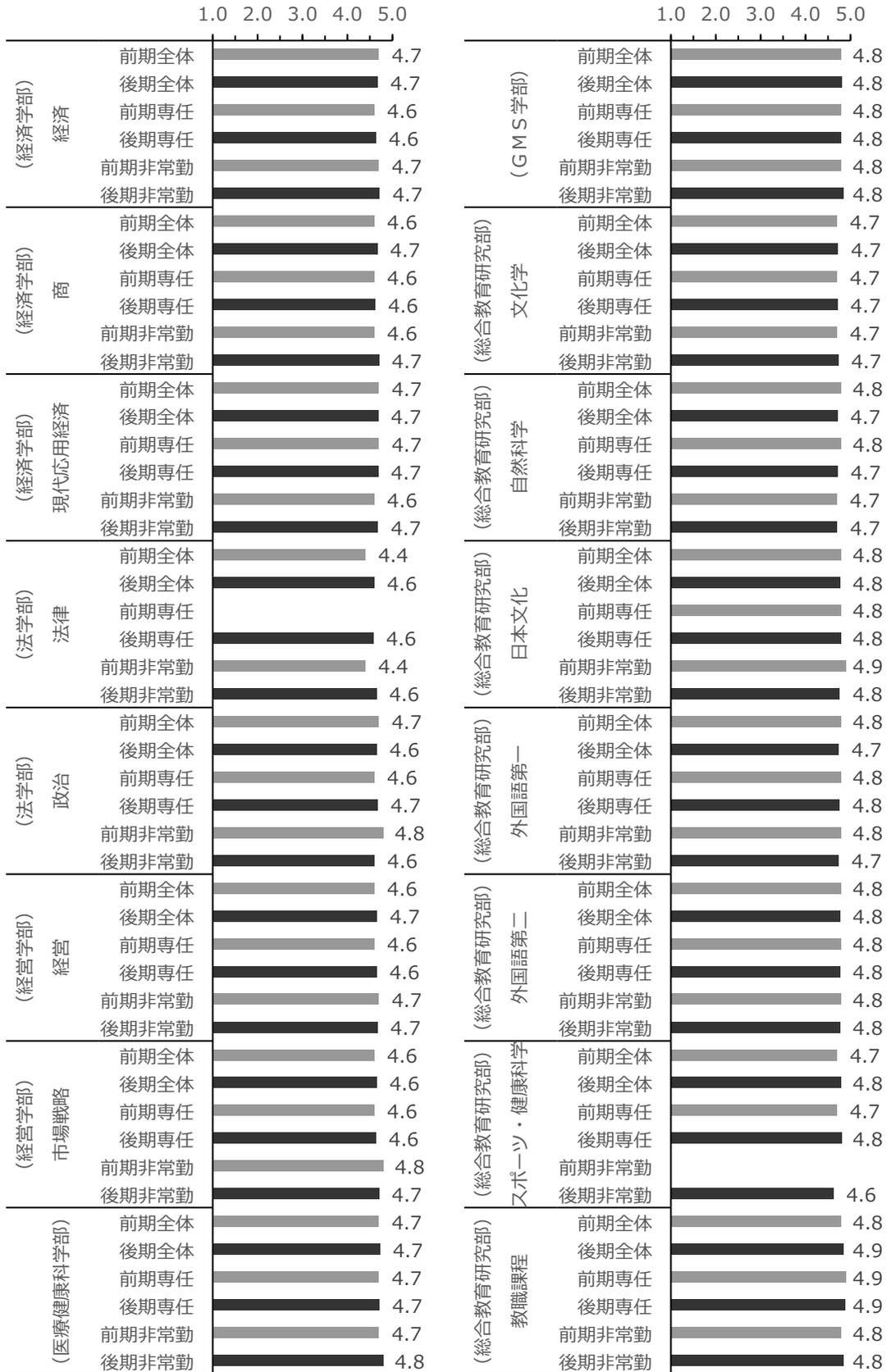
Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない



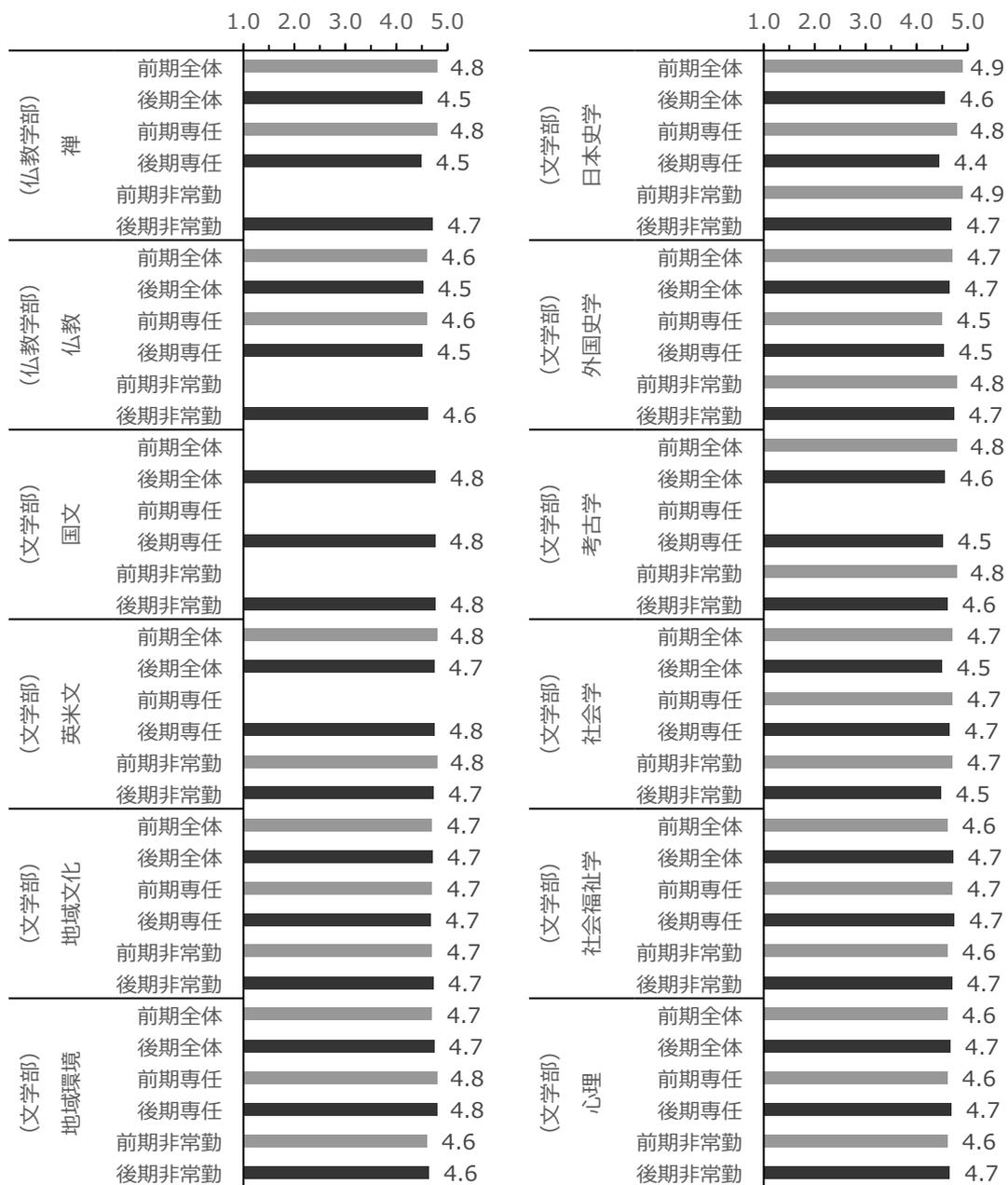


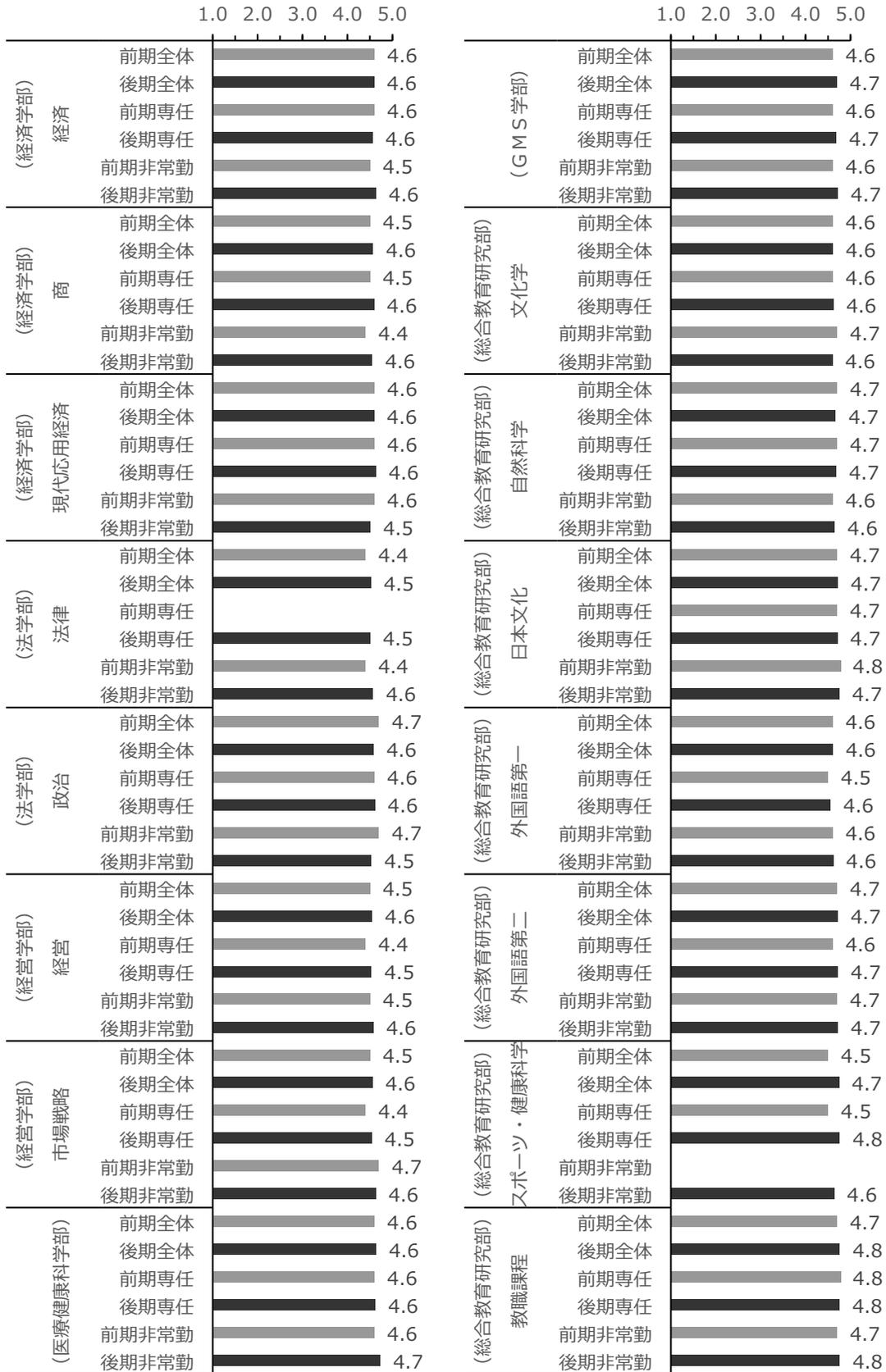
Q 7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy等による課題授業含む)
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない



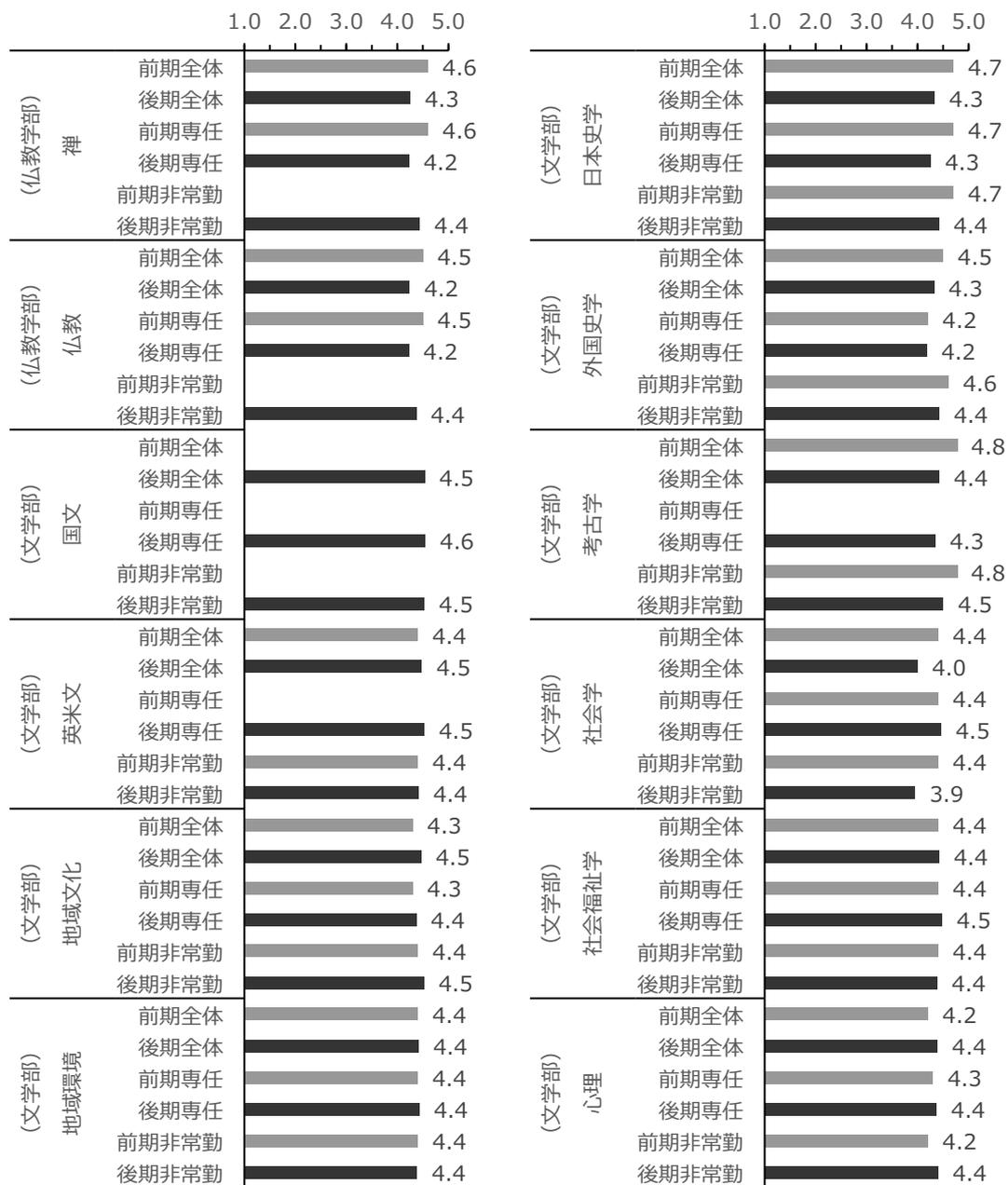


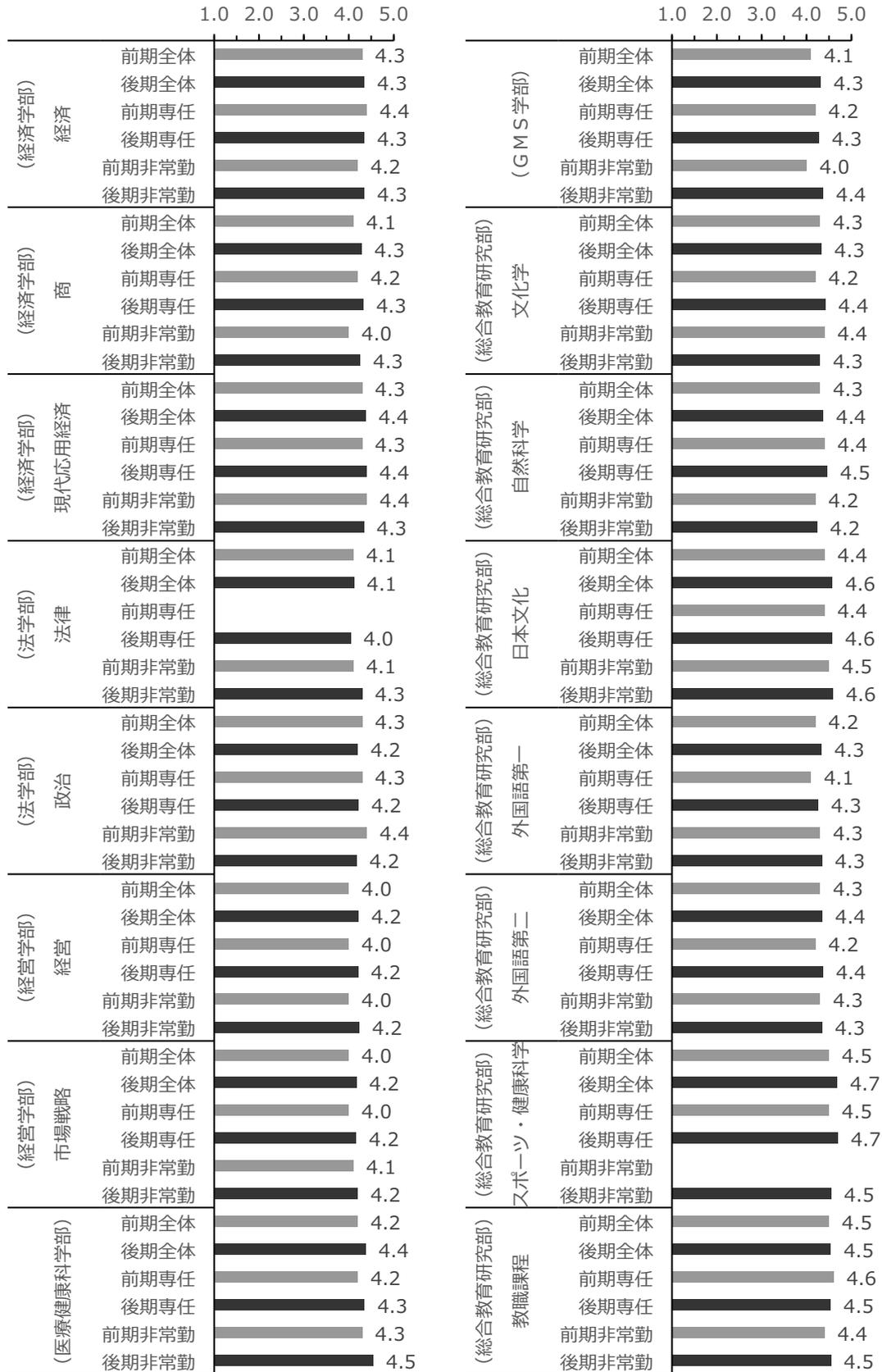
Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない





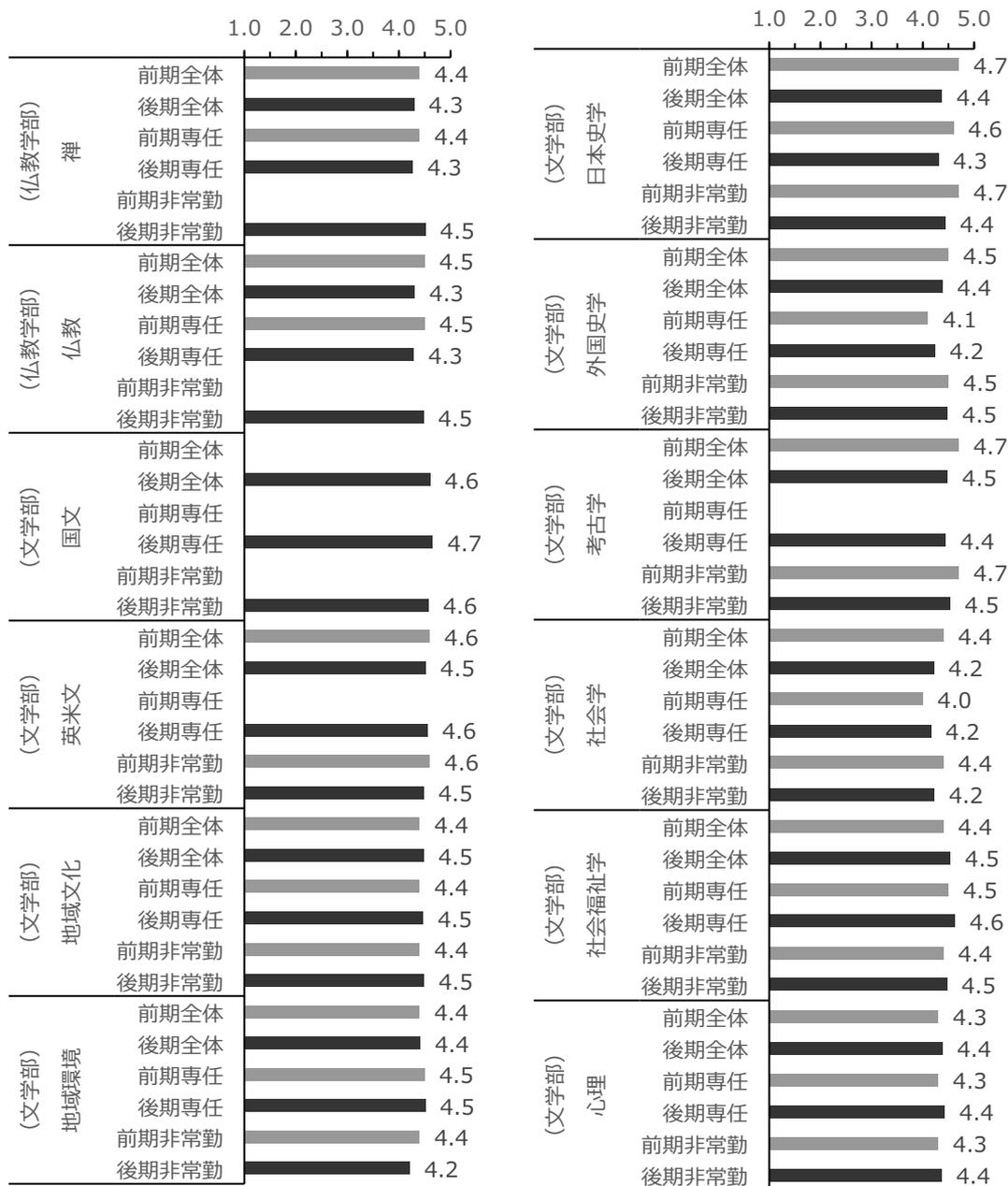
Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

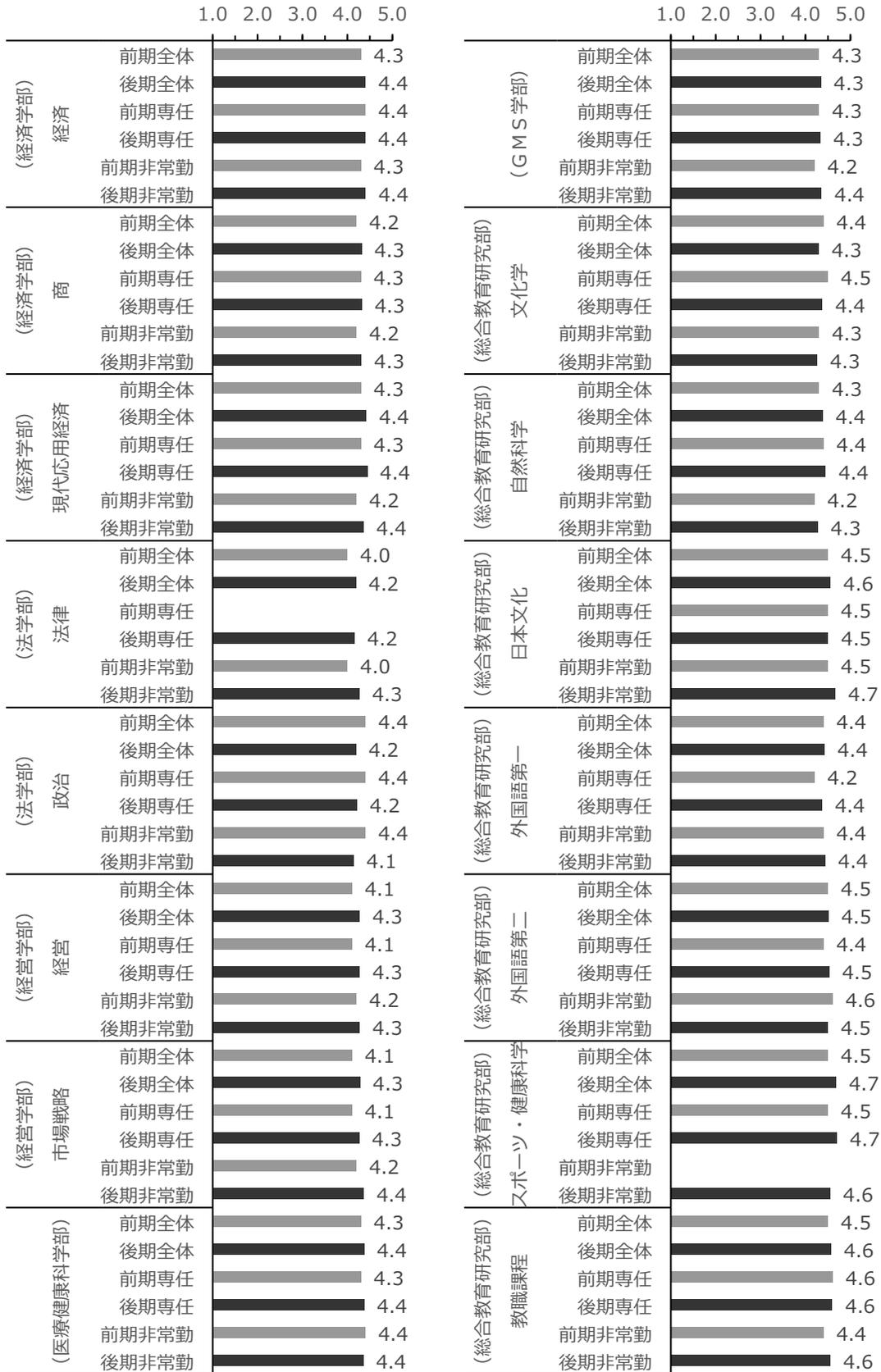




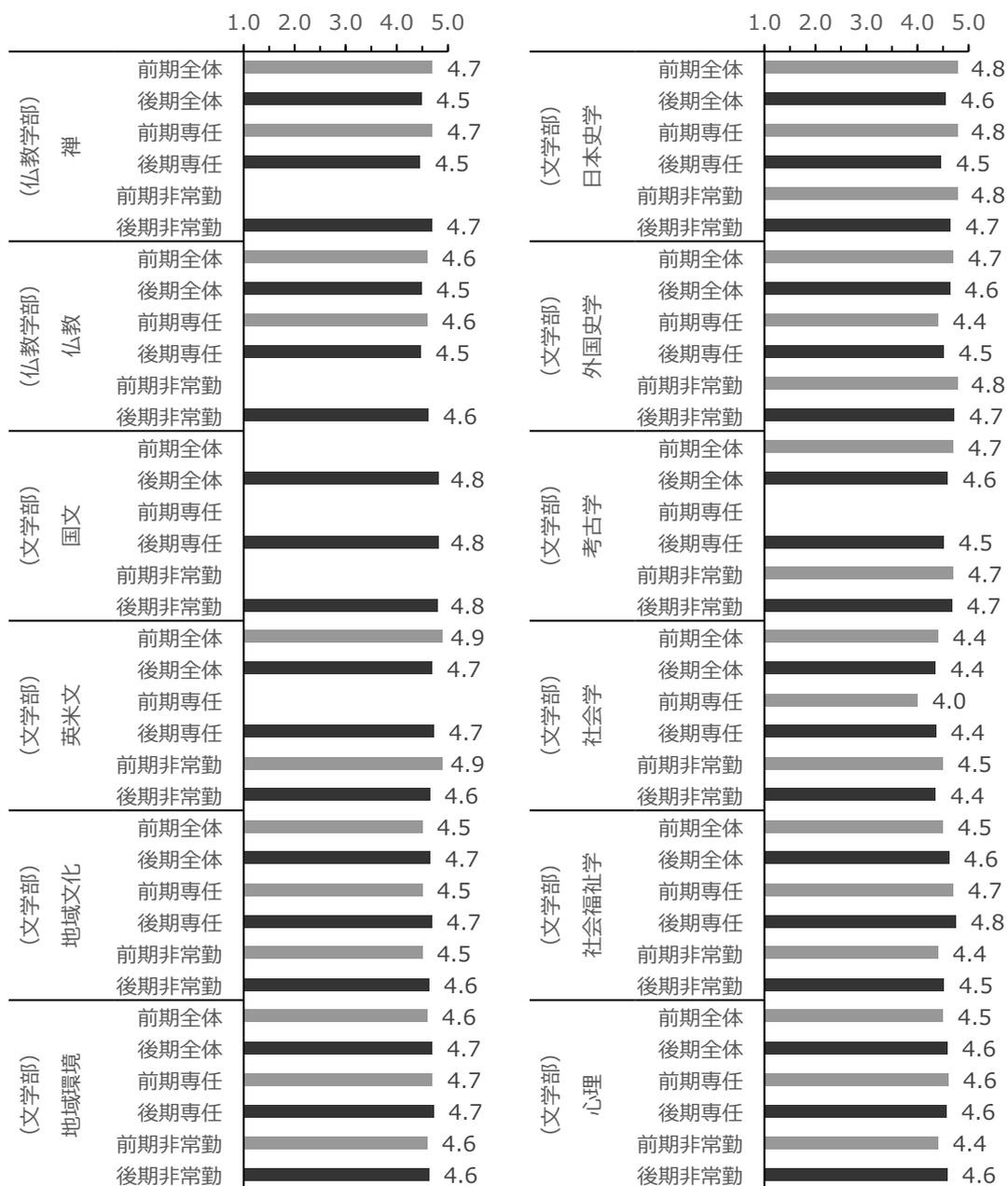
Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。

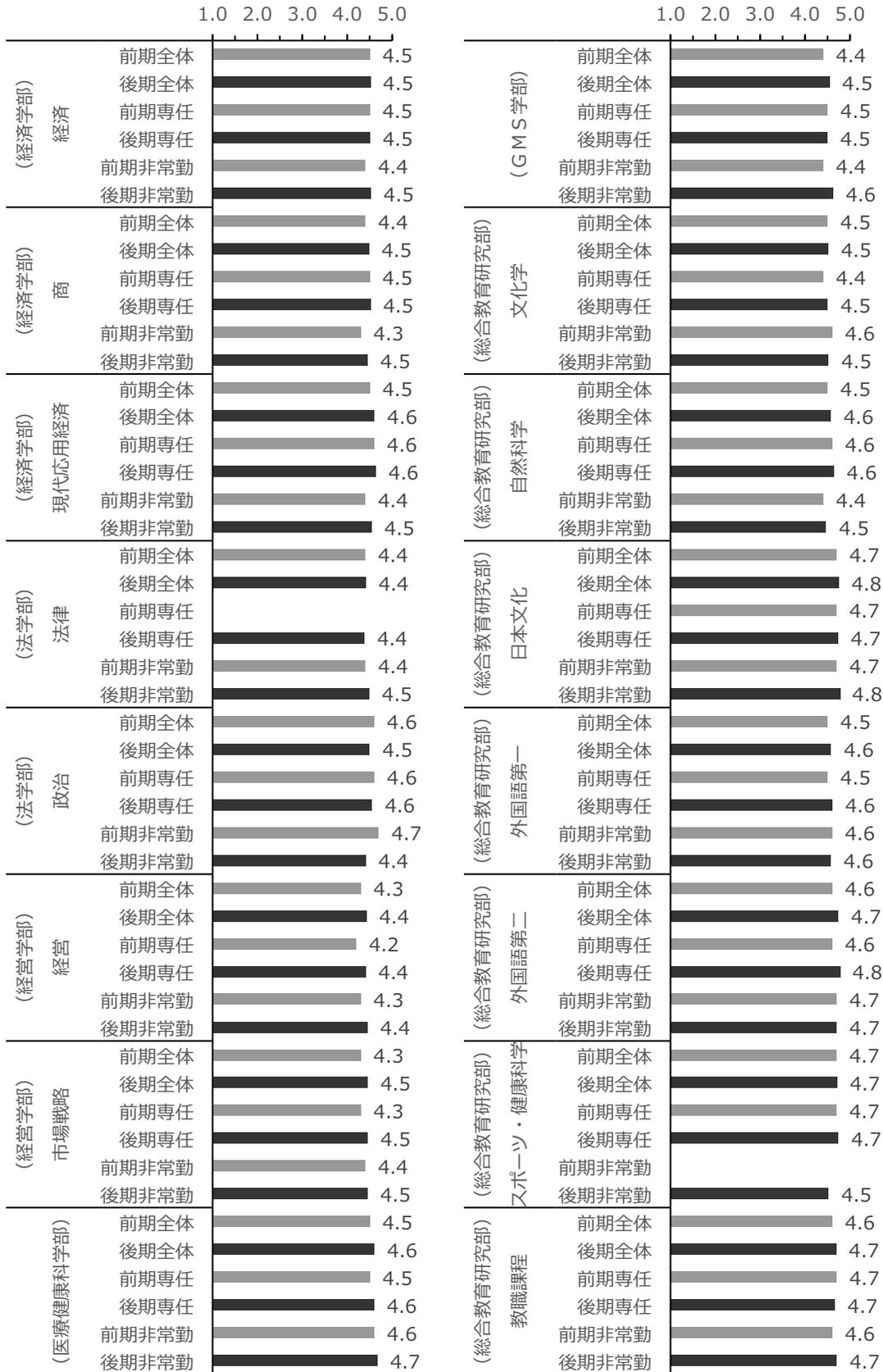
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない
0: 教科書・配布資料等がない場合



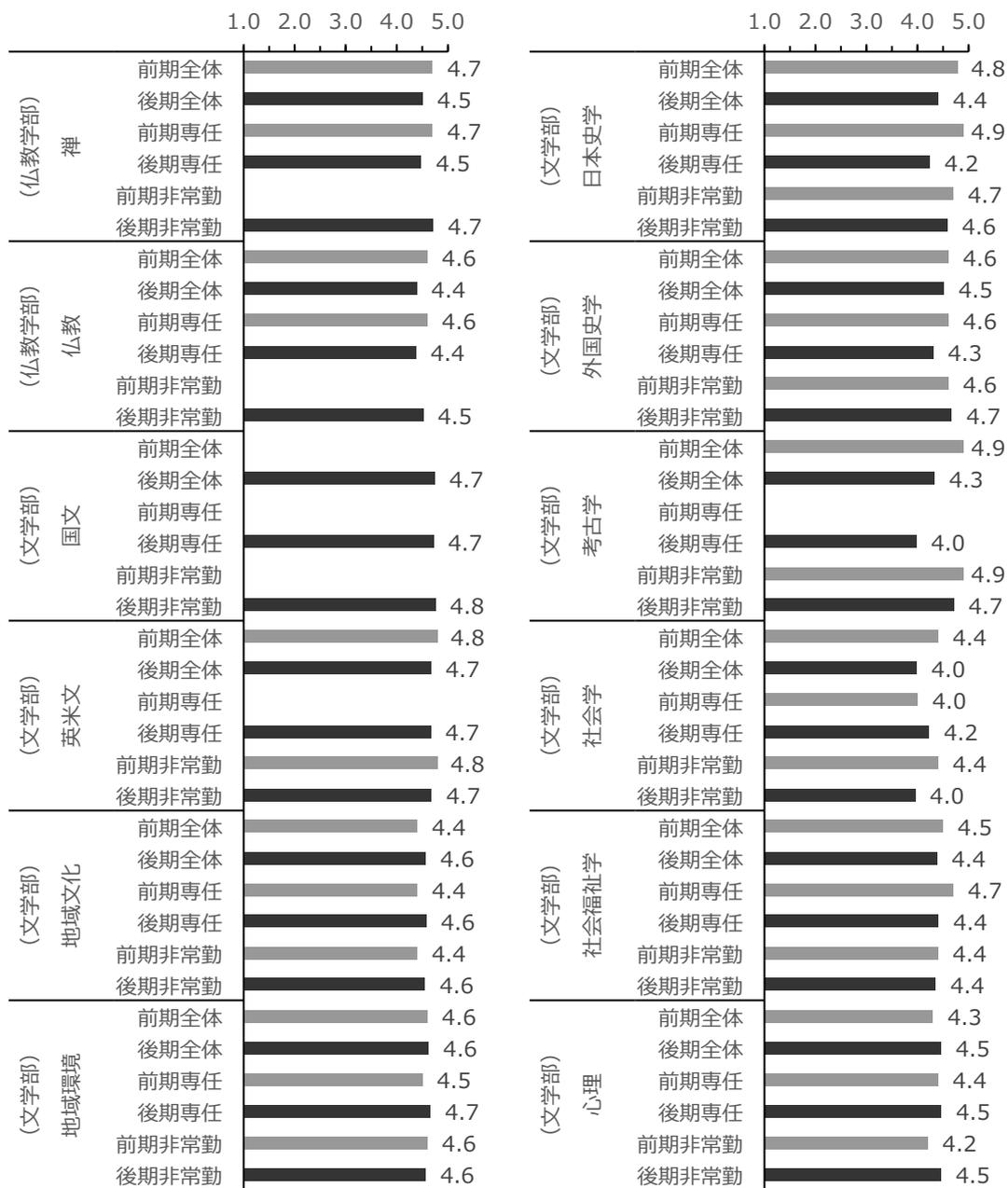


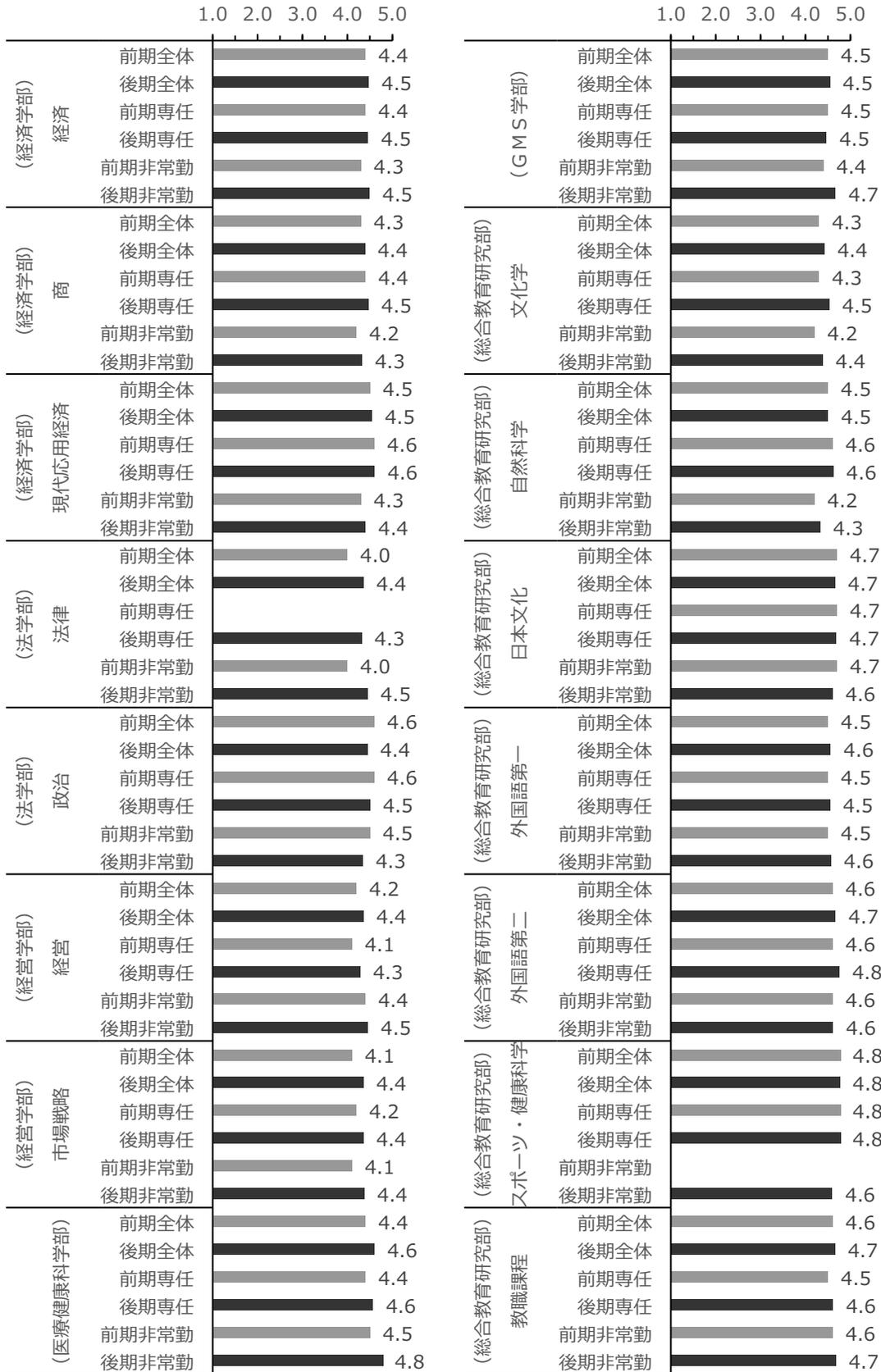
Q 1 1. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない





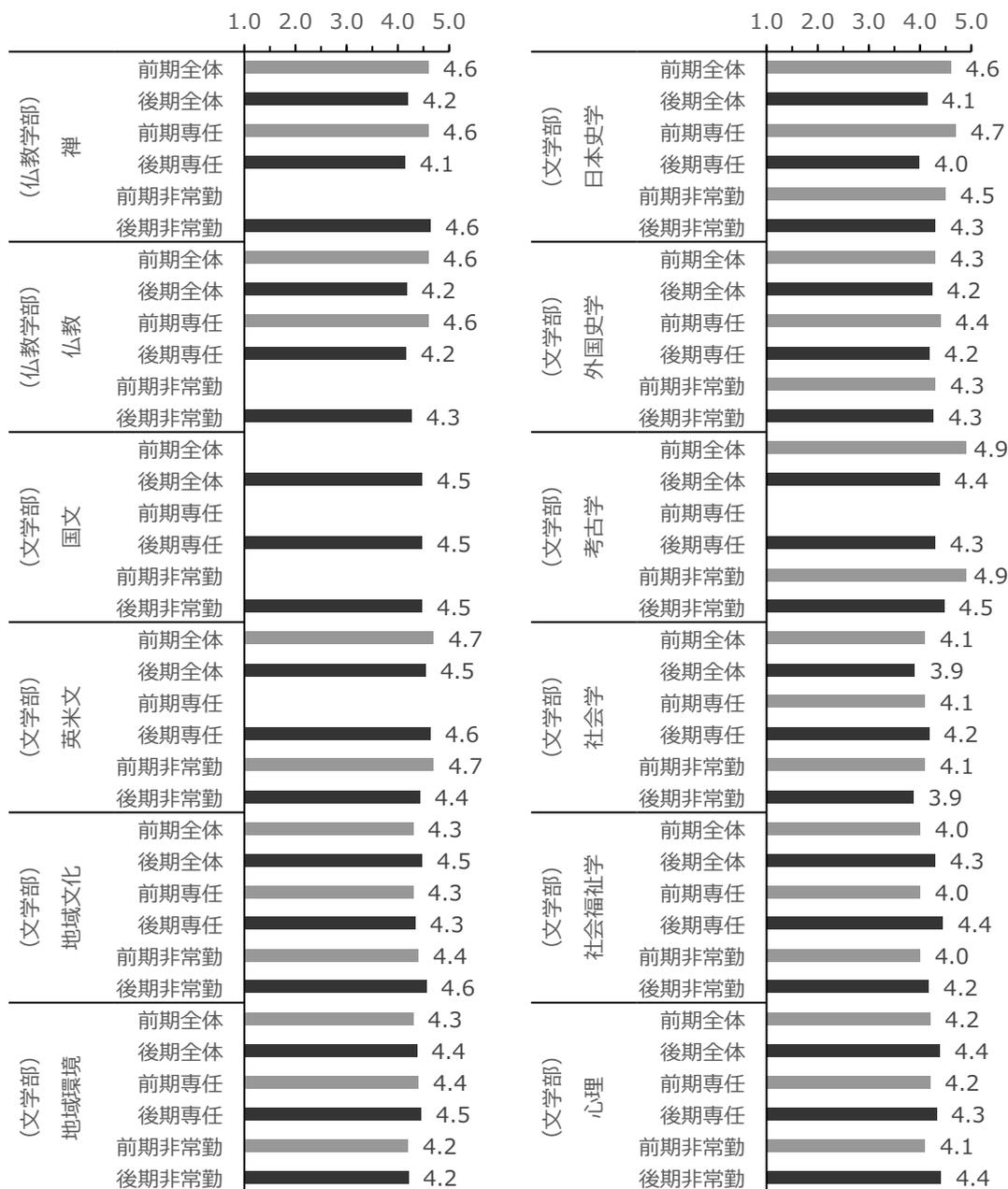
Q12. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

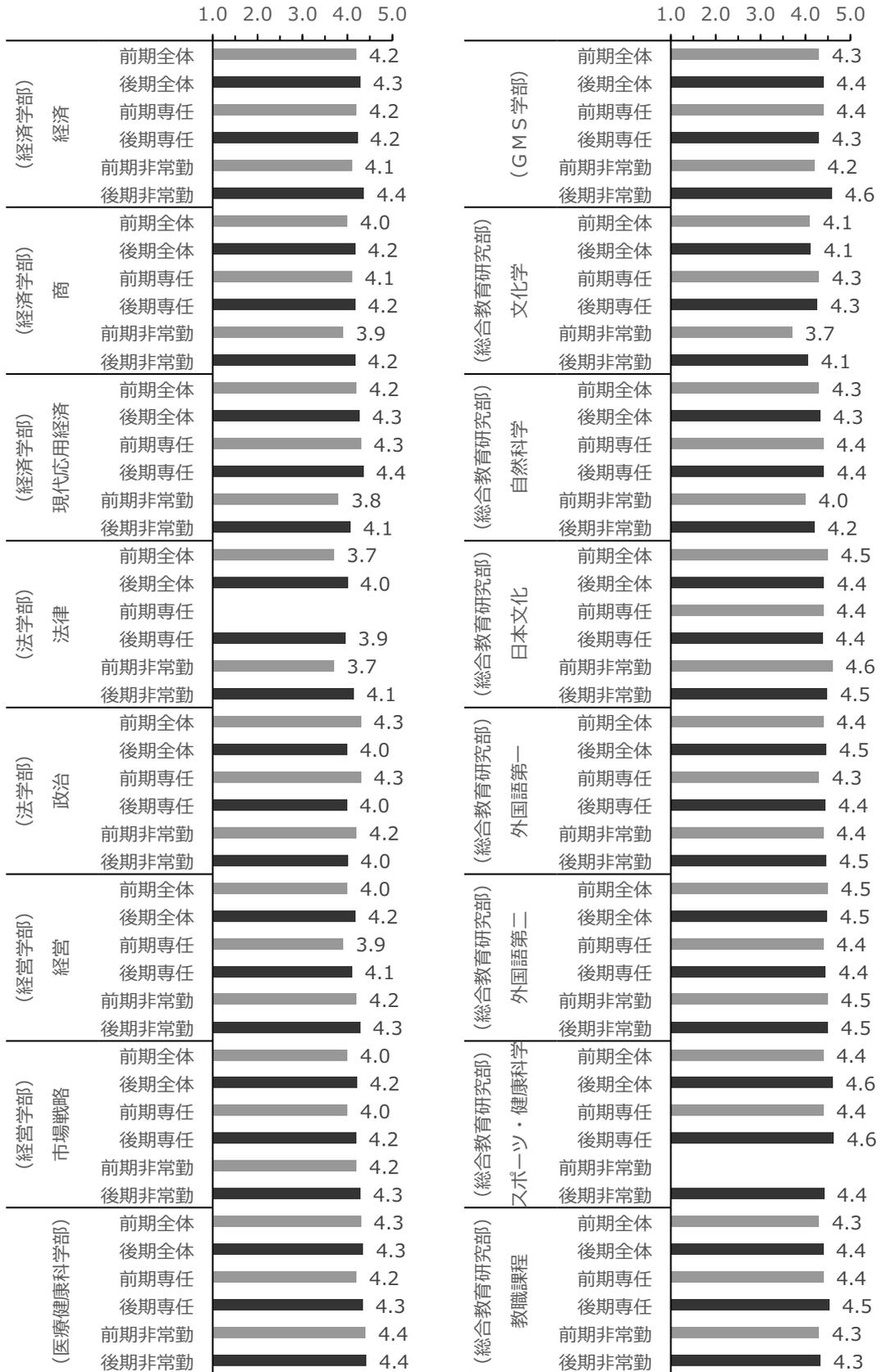




Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

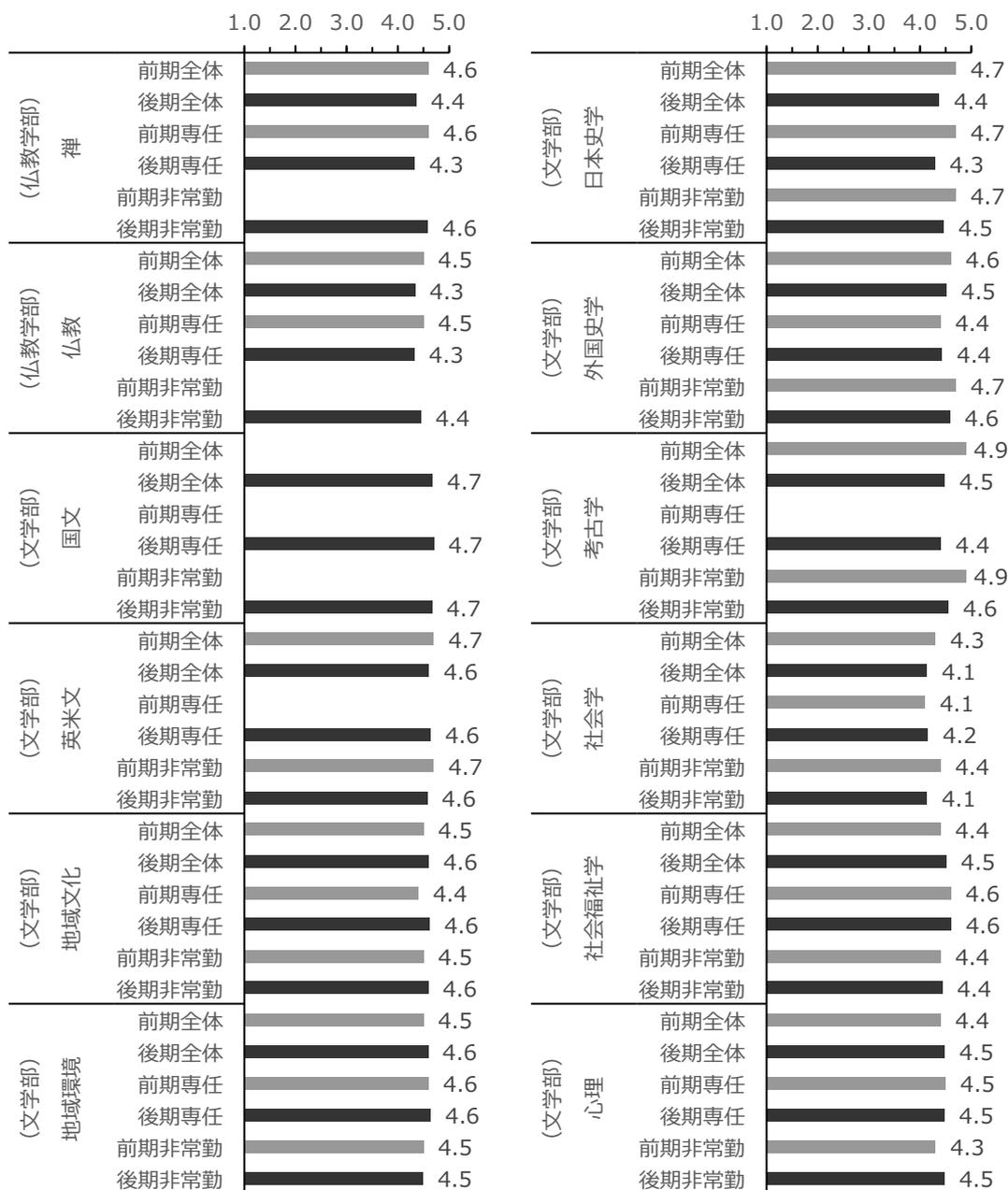
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない
0: 板書・スクリーンへの投影がない場合

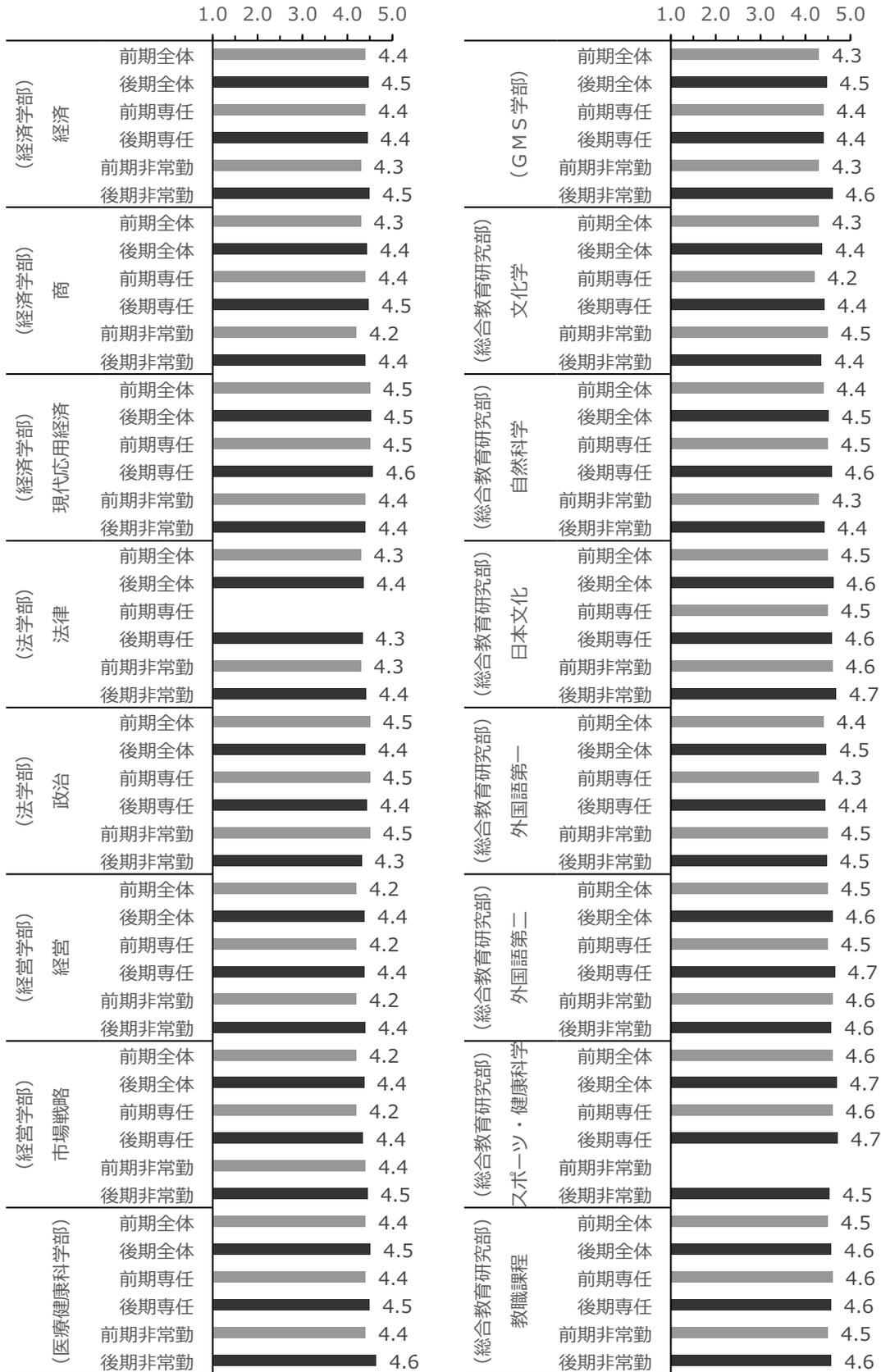




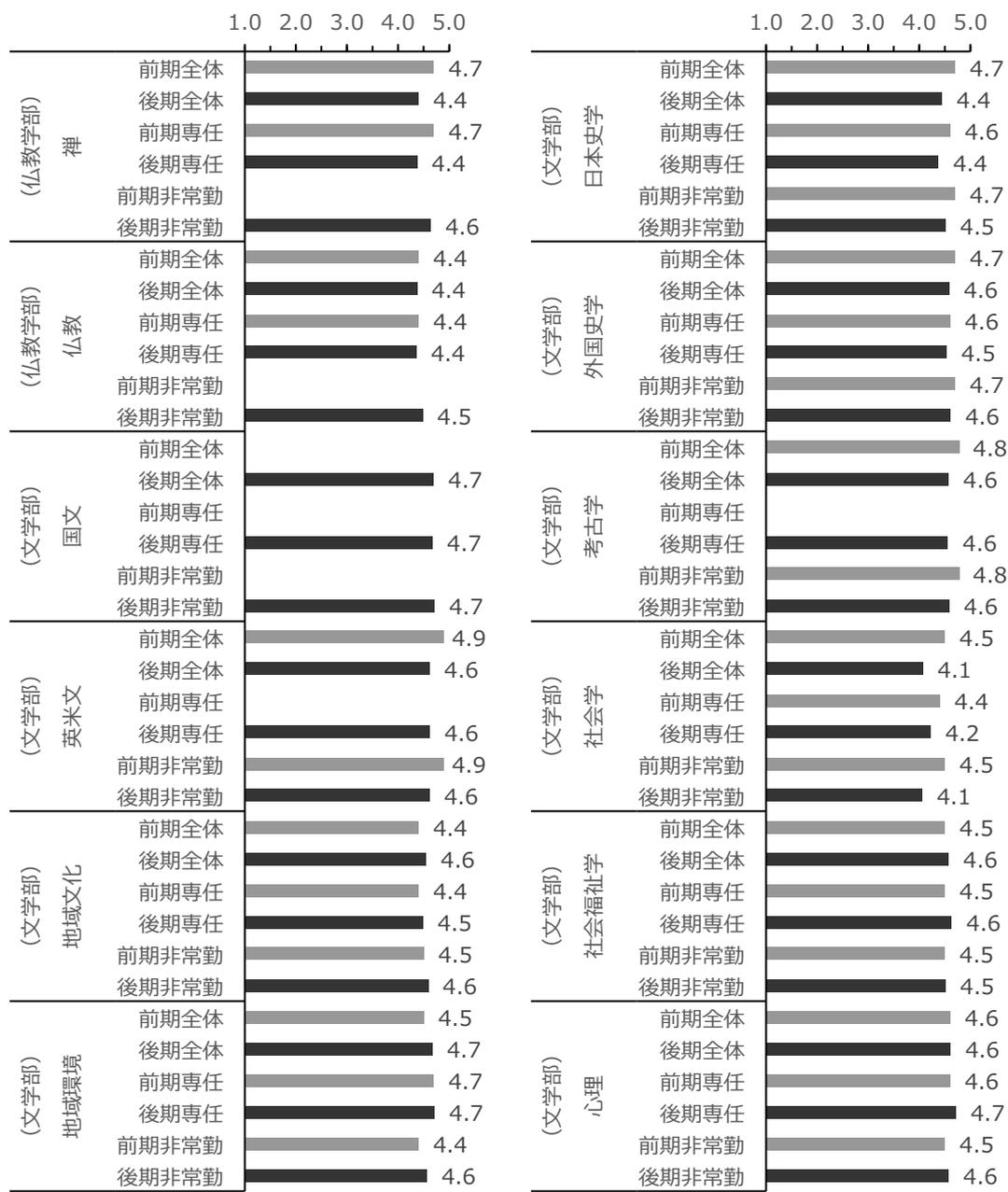
Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

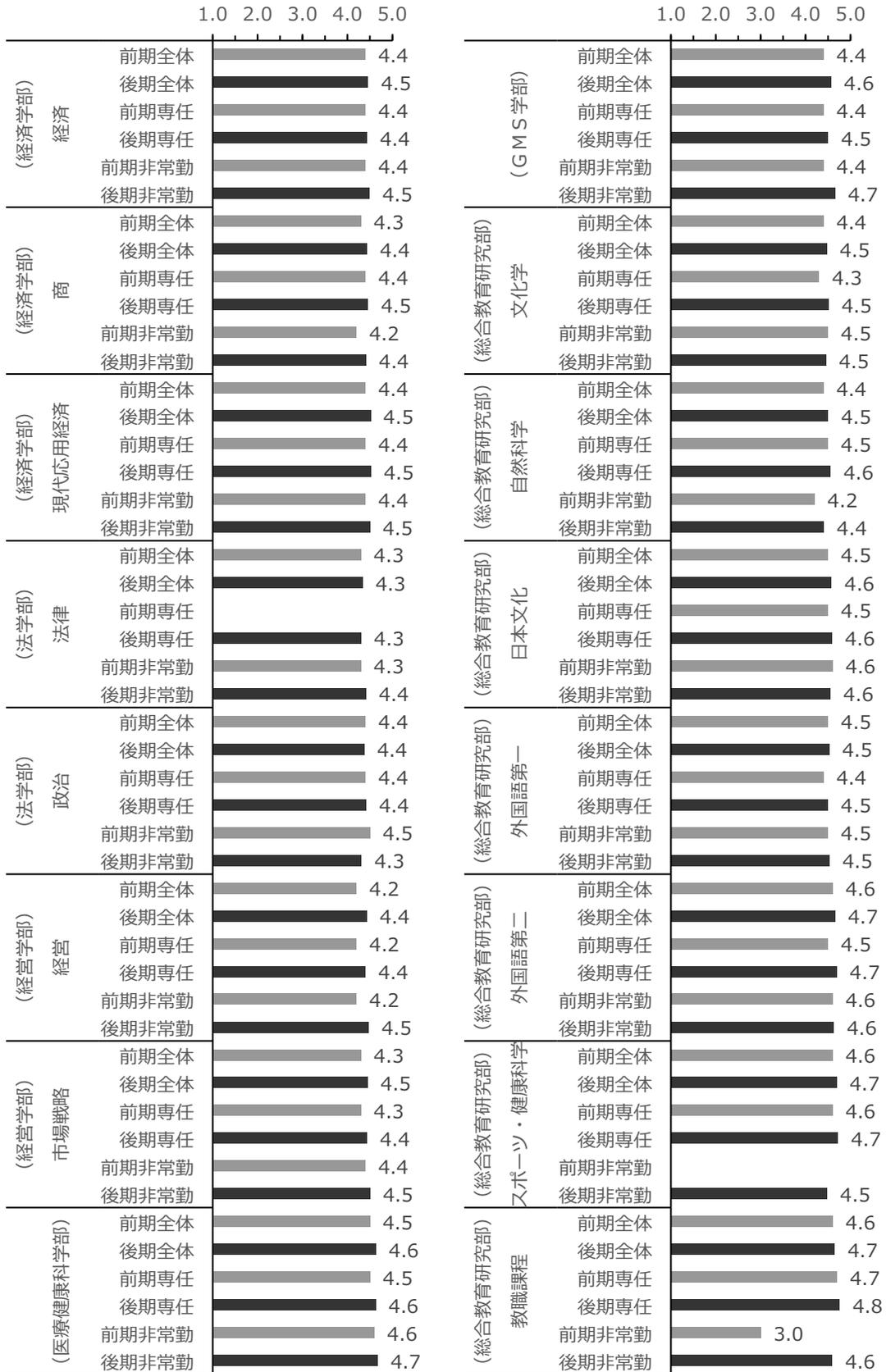
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない



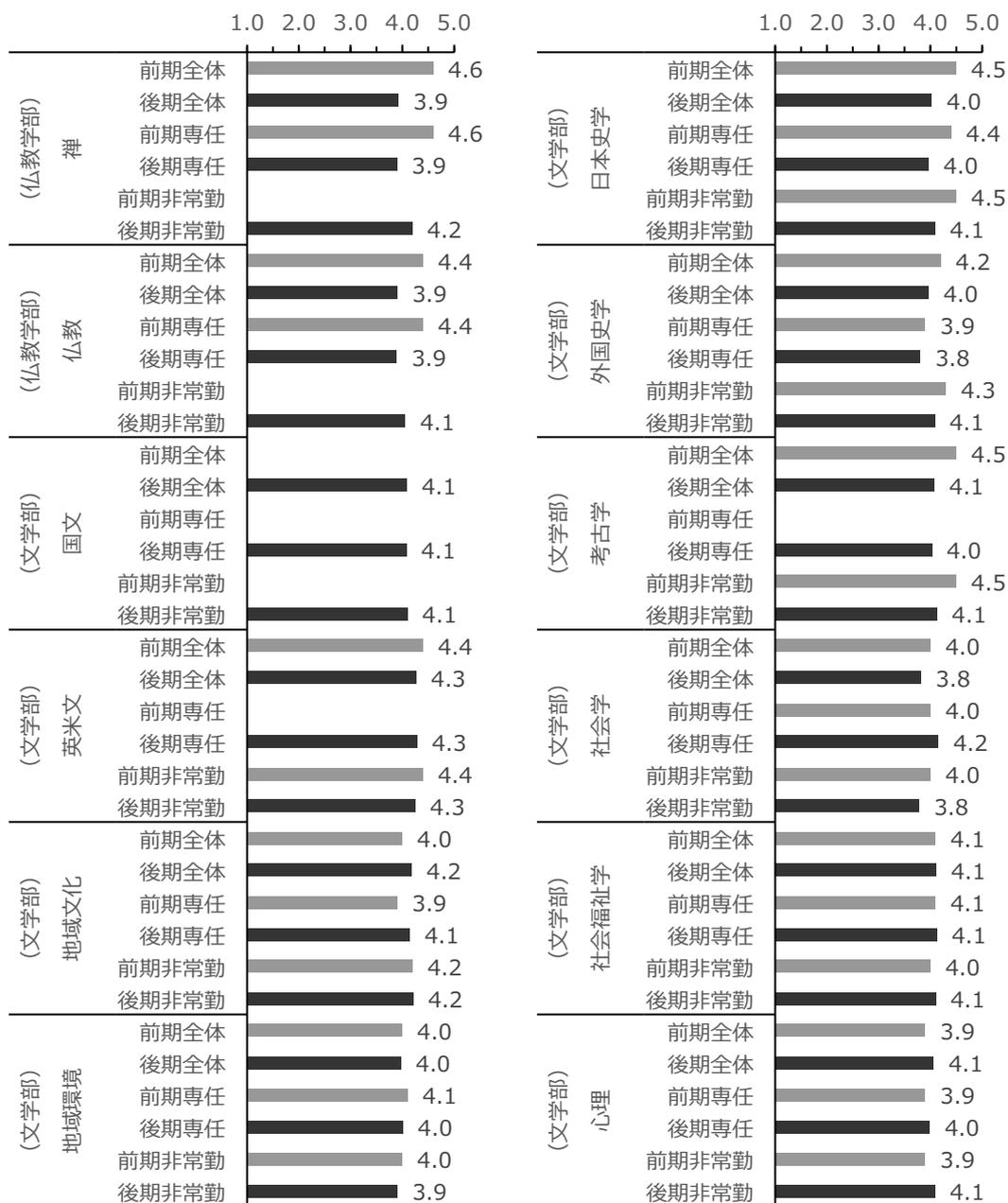


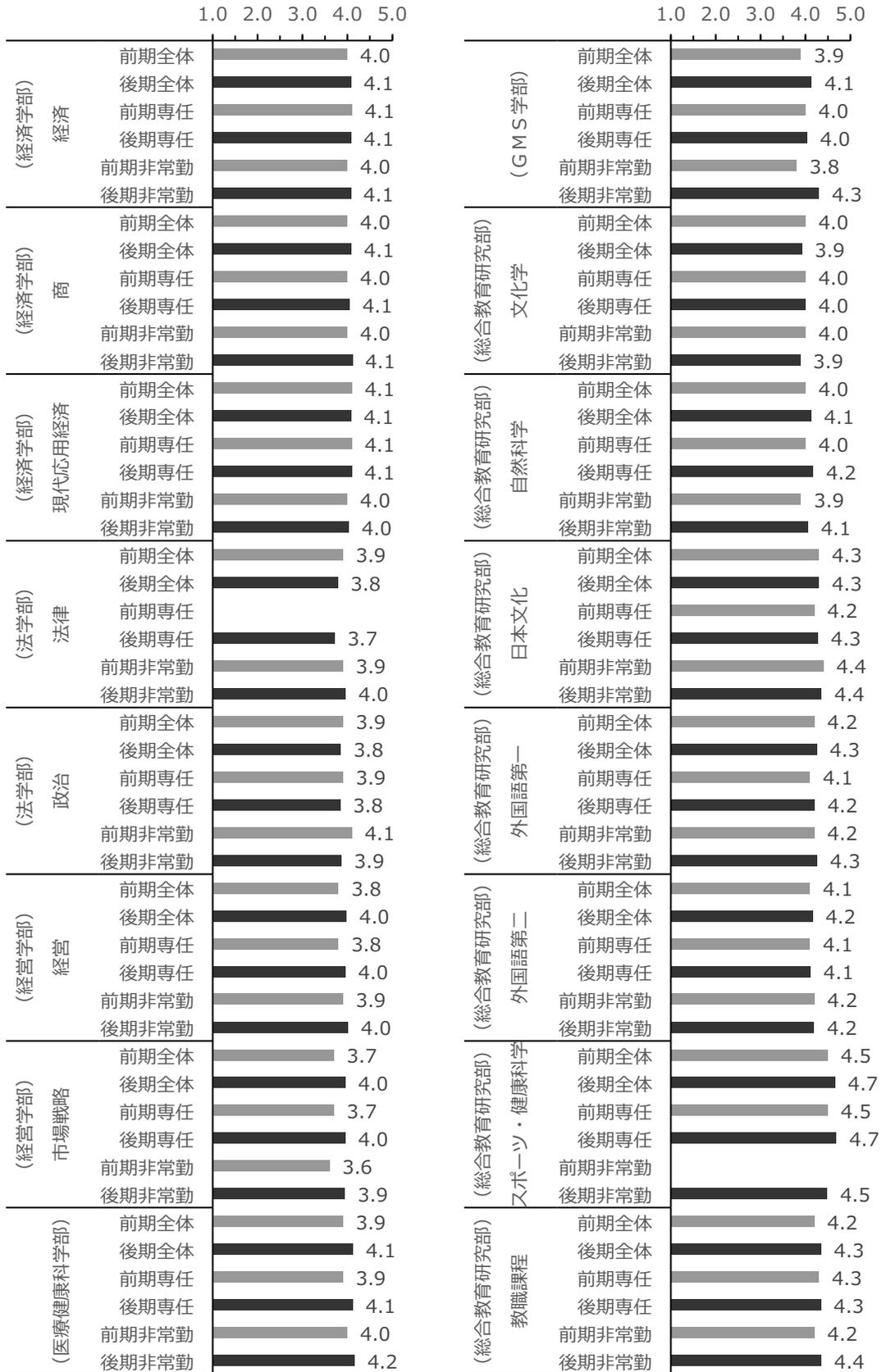
Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない
 0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合



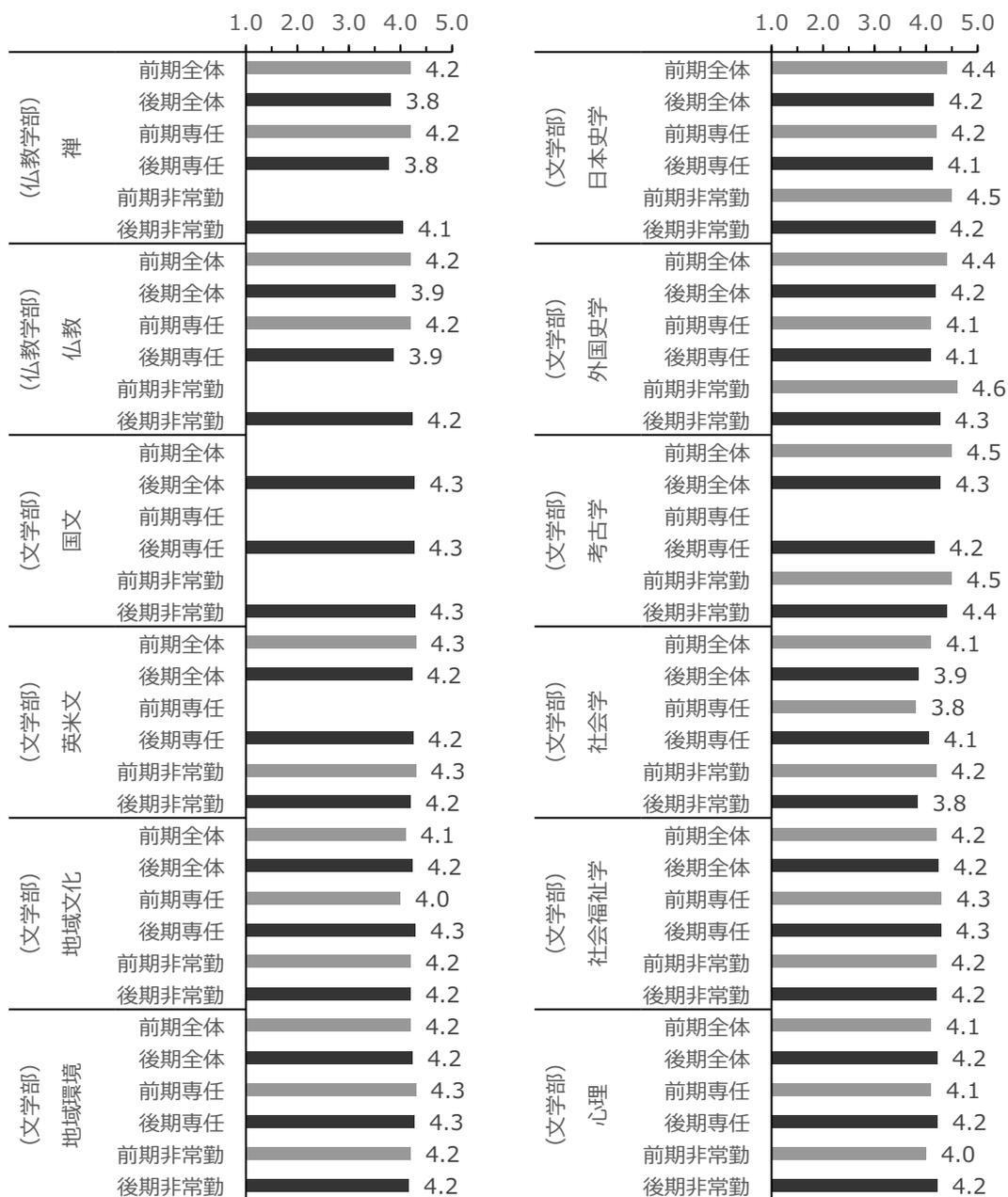


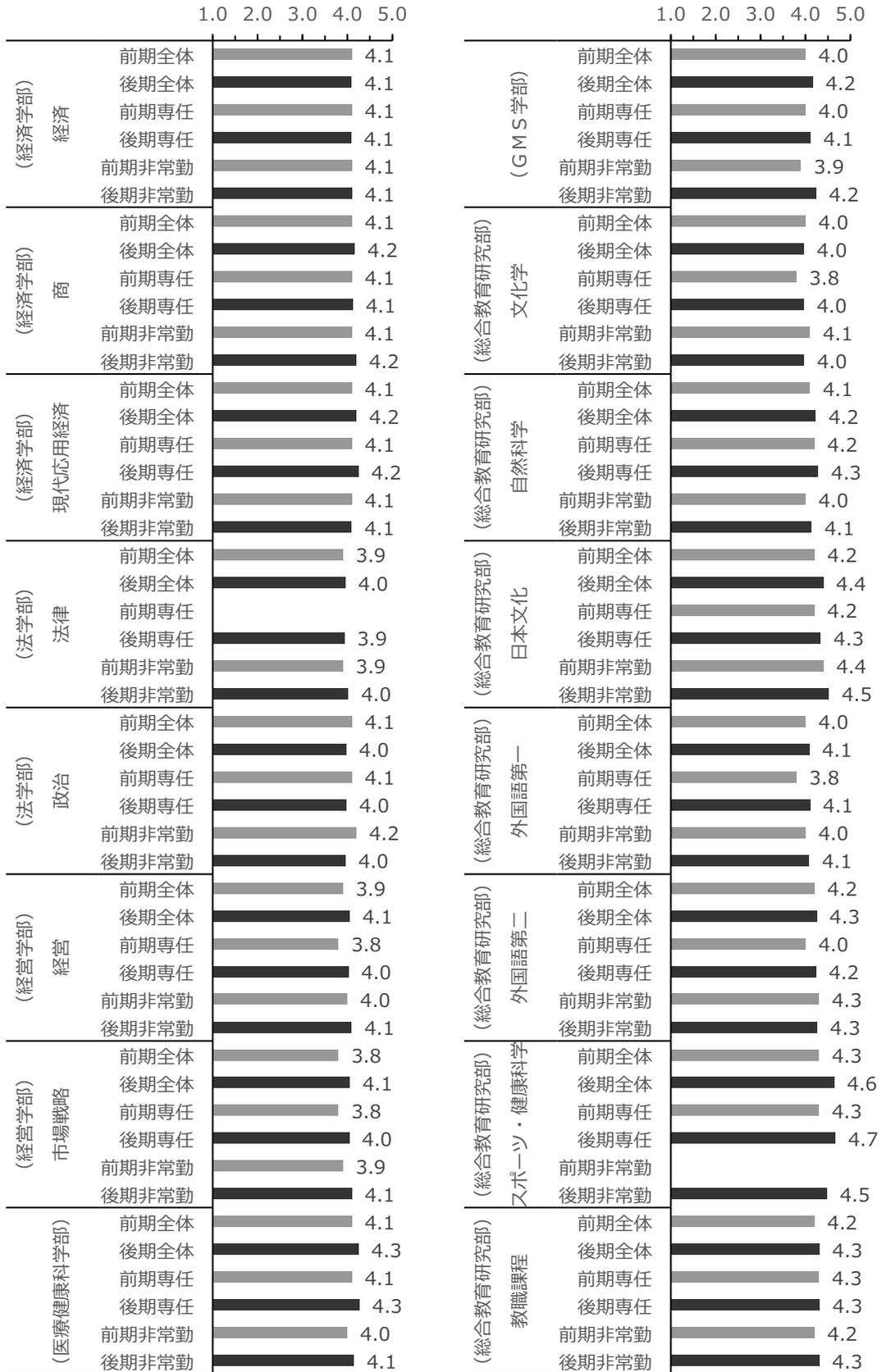
Q16. この科目の授業内容についてよく理解ができていますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない



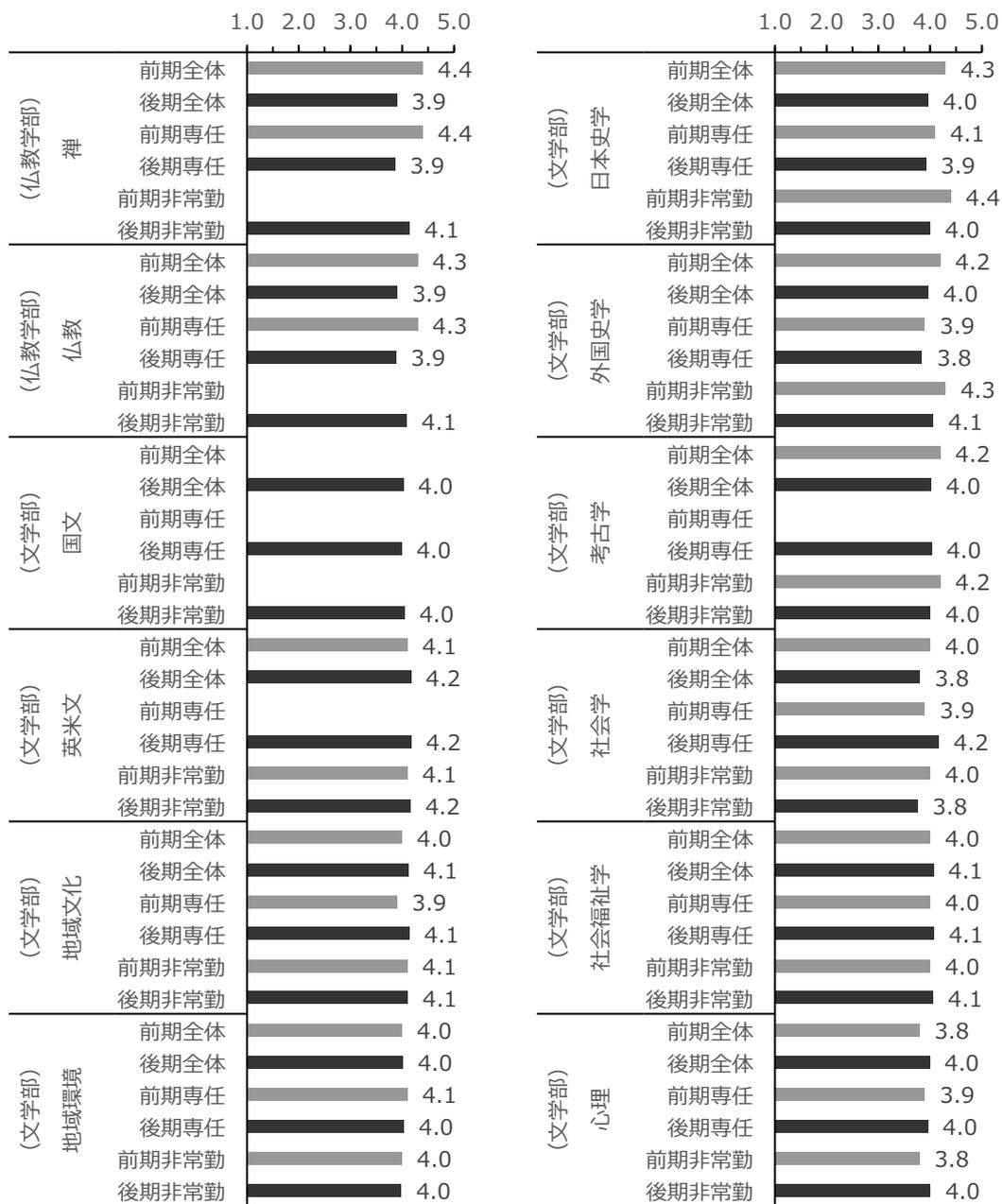


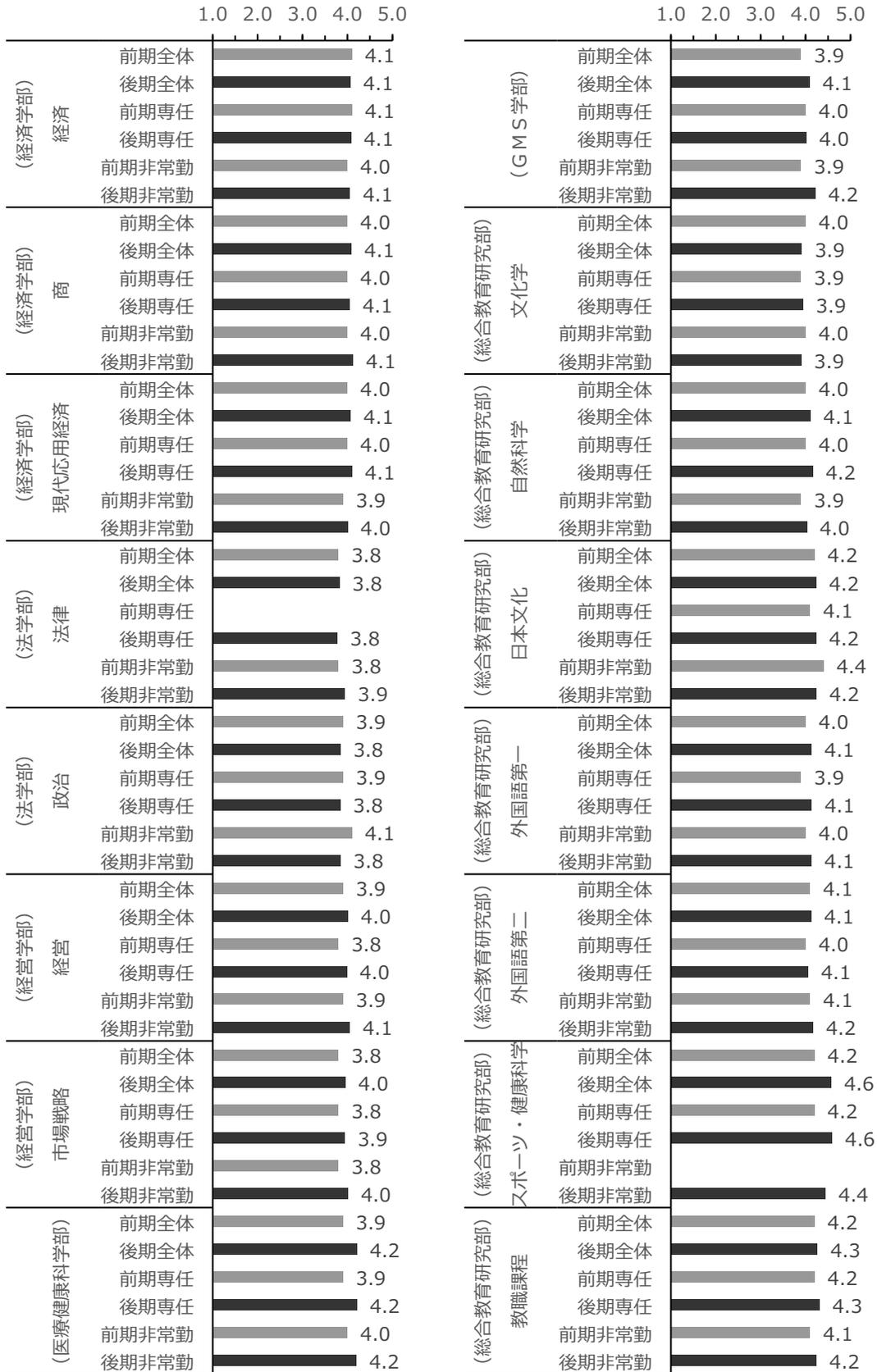
Q17. 授業内容に興味を持っていますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない





Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない





総 評

駒澤大学FD推進委員会小委員会
令和元年度委員長 佐々木 真
(文学部 教授)

1. 令和元年度のFD推進委員会の活動

本年度は、通常の活動に加えて、「本学におけるFDの再定義」と「授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討」を重点検討課題とし、FD推進委員会小委員会（以下「小委員会」）に検討を依頼した。その検討結果を第4回FD推進委員会(3月12日)で各学部等に提案した。

2. FD推進委員会小委員会（以下「小委員会」）の活動について

上記2点の重点課題および、第2回FD推進委員会（11月5日）で検討が依頼されたFD研修会について、委員会内で議論を重ね、検討結果を第4回FD推進委員会で報告した。その他、毎年のFD活動について、以下の通り実施した。

3. FD活動について

1) FD研修会

4月に新規採用教員を対象としたオリエンテーションを実施した。教職員対象のFD研修会は3回実施された。第1回（7月29日）は授業支援システム（C-Learning、YeStudy）に関する研修会を実施した。第2回（9月20日）は、FD活動の再定義という検討課題を踏まえ、講演「大学改革と教職員の新たな役割～大学の質保証のためのFDと教職協働を視野に～」(講師：山本真一氏)の後に、パネル・ディスカッション「本学におけるFDの現状と課題」を実施した。第3回（2月10日）は、「学生が選ぶベスト・ティーチング賞（以下「BTA」）」受賞者（小野洋平非常勤講師、中村公一教授、畠山寛准教授）による実践事例の紹介の後に、パネル・ディスカッション形式での意見交換が行われた。いずれの研修会も、出席者には好評であったが、毎年欠席者が減少する傾向にある。研修会の開催方法や日程などの検討が必要であり、次年度より各教授会等での研修会の開催を提案した。

2) 公開授業

実施計画の概要や依頼文書などを小委員会において確認し、すべての学部等において11月7日から12月17日の間に公開授業が実施された。各学部等での実施報告を小委員会において取りまとめ、他学部等の内容について共有した。

3) 学生による授業アンケート

今年度の学生による授業アンケートは、前期開講科目（対象1,381科目）を6月3日（月）から6月22日（土）に、後期・通年開講科目（対象1,934科目）を11月4日（月）から11月22日（土）に実施された。回答率は、前期が51.4%、後期が38.7%であった。今年度より、アンケート対象科目を履修者20名未満から10名未満に変更し、より多くの授業でアンケート回答・フィードバックの機会が設けられるようにした。その結果、フィードバック期間内でのログイン状況は、やや増加傾向にある。

4) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞

学生FDスタッフと小委員会が取り組んだ令和元年度BTAの投票が、11月4日(月)から11月23日(土)にかけて実施された。今年度は、学生による授業アンケート期間中にC-Learningを用いてWeb投票(今年度履修中科目より1科目を選択)を行い、昨年よりも多い1,377票が投じられた。今年度は専門教育科目、全学共通科目それぞれの得票数上位3科目のほか、「学生が主体的に学ぶことのできる科目(5件法)」という学生FDスタッフの視点により加えられた設問の総得点上位1科目ずつ(専門教育・全学共通)を対象に「もっと学びたいde賞」を設け、計8名が受賞した。12月16日に学生FDスタッフも同席のもとで授賞式が行われ、前述のように受賞者3名が第3回FD研修会に参加した。年度末には、学生FDスタッフが中心となって本賞の結果概要などを取りまとめたリーフレットを作成し、各教員への投票コメントを一覧化したホームページを学内向けに公開した。

5) 学生FDスタッフ

前年度からの継続メンバー3名を含めた4期生の学生FDスタッフ15名は、BTAにかかわる企画・広報活動・原案作成、授賞式の補助的業務のほか、1月27日に行われた学長との意見交換会や、授業アンケートの広報活動などにも取り組んだ。

6) 『FD NEWSLETTER』、『FD活動報告書』

『FD NEWSLETTER』は第59号から第62号までの4号を発行した。また、今年度のFD活動を総括するものとして、『FD活動報告書』を年度末に発行した。

4. 今後の課題について

今年度は従前からの取り組みに加え、「本学におけるFDの再定義」、「授業アンケート結果の組織的な活用方法の検討」、「FD研修会のあり方」について検討を加え、第4回FD推進委員会で原案を提示した。この原案をもとに、次年度では今後のFD活動の方向性や内容を決定し、着実に新たな取り組みを進めていくことが最重要課題である。また、各種FD活動を進めていく段階で、次のような課題も浮かび上がってきた。公開授業については教授会で結果を共有されているものの、その有効性を含めて検証が十分に進められていない部分もあり、他大学の取り組みも参考にしながら、実施方法を含めて検討する必要がある。学生FDスタッフやBTAについては活動開始から4年が経過し、スタッフ組織の運営体制や投票率、制度の在り方などを含めて検証する必要がある。また、FD活動そのものが定着しつつあることと、教学運営会議のような内部質保証を担う会議体も設置されたという現状に鑑み、FD関連委員会の構成・体制について、FD推進部会のあり方を含めて検討を進めていく必要がある。

これまでの本学のFD活動が、補助金や認証評価といった「外圧」の強い影響下にあったことは否めない。そのため、本学のFD活動の実施には義務感や徒労感が伴うことも多かった。しかし、個々の活動をみれば、それらがいずれも本学の教育の質向上に資するものであることも事実である。そのため、FD活動への参加によって教職員が得る利益がより多くなるように、FD活動の共通的な目的・ゴールを提案した。「外圧」は無視しえない要素だが、それへの対応を視野に入れつつ、本学にとってよりよいFD活動を構築していくことが必要である。そのためには、これまでも増して教職員がFD活動の意義を共有することが重要であろう。

7. FD NEWSLETTERの発行

○FD NEWSLETTER 第59号	令和元年 6月30日発行
○FD NEWSLETTER 第60号	令和元年 9月30日発行
○FD NEWSLETTER 第61号	令和元年 12月15日発行
○FD NEWSLETTER 第62号	令和2年 3月15日発行

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 大学全体のFD活動と学生ファースト
FD推進委員会委員長
学長 長谷部 八朗
- 「講義動画配信への私見」
グローバル・メディア・スタディーズ学部
講師 石橋 直樹
- 平成 31 年度
新規採用教員オリエンテーション
- 平成 30 年度活動報告
- FD推進委員会の今後の活動予定

大学全体のFD活動と学生ファースト

駒澤大学FD推進委員会委員長
学長 長谷部 八朗

本学におけるFD活動は、FD推進委員会・同小委員会を縦軸として、全学的に組織立てて行われている。FD活動の視点としては、学びの主体である「学生」の視点（学生による授業アンケート、ベスト・ティーチング賞等）、教育の主体である「教員」の視点（GPAをはじめとする成績評価の公正・公平性の維持、専門的学修力評価と並んでGPS-A等による基本的学修能力評価等）、「学習環境」という視点（ICTに関する技術的及びソフト的発展とそれらへの対応等）などが中核である。

各視点には、その実現手段としてPDCAという持続的サイクルが用いられる。駒澤大学が育成目標とする「学生像」、及び、駒澤大学で教育を担当する「教員像」を明確化した上で、目標P・実施D・検証C・改善Aが持続的に行われるシステムの構築と運用を、大学全体・学部等・教員個人という各階層的レベルで実践する。その成果は、公開し社会的評価を受けるために、「透明性」すなわち「可視化（見える化）」されていなければならない。それが、高校生、高校教員、企業、同窓生、社会に対して責任を果たすことであり、自己評価・外部評価のためのエビデンスになると思量する。そうした認識に立ち、駒澤大学としての教育プロセスを明示化するために、アドミッション・ポリシー（AP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、ディプロマ・ポリシー（DP）を定め、具体的展開を図ってきた。

上述のようにFD活動全体を鳥瞰した上で、私は、本学の刻んできた「伝統」とその「刷新」を常に意識し、学長就任以来提唱してきた有為な人材育成を目指す「学生ファースト」の方針を、さらに血肉化したいと考えている。少子化時代に突入し、未来社会を担う世代に向けられた、グローバル化対応能力、地域・社会貢献活動、主体的問題発見・解決能力などの修得への期待は、ますます募ってきている。

立派な身体（大学）を作り上げるには、体内を流れる血潮の円滑な循環が必要不可欠である。それは各組織を活かす「こころ」と「つながり」ともいえる。関係各位のご理解とご協力の下、本学のFD活動のさらなる活性化を図り、大学運営の主翼の一つである教学体制の充実を期したいと考えている。

連載企画：よりよい教育のために

「講義動画配信への私見」

グローバル・メディア・スタディーズ学部講師

石橋 直樹

GMS 学部には、「グローバル・メディア・スタディーズ概論」という講義がある。これは、主に一年生を対象とした必修科目で、毎週専任の教員が登壇するオムニバス形式で実施され、学部の全容の理解を促し、四年生までの学びをイメージさせ、ゼミ選択のきっかけとすることを目的としている。

震災の年、講義開始が遅れた関係で、私の講義を「課題講義としてほしい」という要請があった。しかし、前述の目的から、講義をしないわけにいかず、急遽手持ちの Mac を使って簡易的に動画作成を行った。具体的には、Mac の前に座りパワーポイントを使って一人で講義を行う。このとき、1) Mac の画面収録、2) Mac の内蔵カメラから話す様子を撮影、3) 音声録音を同時に行い、これらを簡易的に混ぜた。当時画面収録は Mac でできなかったため、ここだけソフトを購入し、あとは講義時間と 10 分程度の編集時間がコストという、非常に安価な映像コンテンツで、基本的にパワーポイントの映像の右上に小さく私の顔が載っているという、簡易コンテンツでもあった。

視聴した学生に感想を聞くと、予想以上に高評価であった。理由として、「難しい箇所を複数回見ることができた」「全体を 2 回見ることによって理解が深められた」「自分が集中できる時間に視聴できた」などが挙げられた。「高度な撮影・編集を施さなくても、講義の簡易な動画コンテンツを作ることができれば、学生の学びに大きな助けになるのではないかと直感したささやかな実験だった。

近年、大学に講義収録設備を入れる大学が増えている。これらは主に、通信教育や Online Degree、MOOCs への対応を目的としていると考えられる。しかし、自動的に簡易収録した講義を自動的に配信する環境を作ることができれば、在校生にとって理解を深める教材、また、就職活動や傷病で登校できない学生への教材となり得る。また、教場不足への対

応として用いることも可能であり、将来的な外部へのサービス提供といった可能性も広がる。

もちろん、FD の主な目的は講義の恒常的な改善であり、このため従来から行っている授業アンケートや研修会など、教員の技量や知識の向上、講義の質的向上は重要である。しかし、単純な技術の適用により、学習の質を向上できる可能性は高い。動画配信を実現する技術やインフラが多様かつ安価になっている現在こそ、本学の時代に先んじた教育環境の実現を願ってやまない。

平成 31 年度 新規採用教員オリエンテーション

本年度も 4 月 1 日に今年度より新たにご出講いただく先生方を対象としたオリエンテーションを開催し、専任教員 17 名、非常勤教員 52 名の計 69 名の先生方にご出席いただきました。

オリエンテーション第一部では長谷部八朗学長より本学の建学の理念について、日笠完治教育・研究担当副学長より本学の教育方針について、猿山義広学生支援担当副学長より本学の学生支援について、中野達哉教務部長より本学の F D 活動等について説明をしました。事務局からは、総合情報センター（「KOMAnet（コマネット）」、「ユーザー ID」、「YeStudy（e-learning）等の利用について」）、図書館（「図書館の利用案内について」）、教務部（「授業運営に関する説明」）が説明を行い、第一部終了後、希望された先生方を講師控室および A V 教場にご案内しました。

第二部では、専任教員を対象に教務部から公的研究費、教員教育研究費等に関する説明を行いました。

オリエンテーションについて、ご意見、ご提案等ございましたら事務局までお申し出ください。

1. 開催日時

平成 31 年 4 月 1 日（月）13：00～15：40

2. 出席者数

69 名（案内状発送 130 名）

3. オリエンテーション次第

- ・学長挨拶
- ・副学長挨拶
- ・教務部長挨拶

- ・大学案内（教務部・総合情報センター・図書館）終了後、希望者を講師控室、AV教場に案内した。



（オリエンテーションの様子）

平成 30 年度FD推進委員会及び小委員会の活動報告

平成 30 年

4 月

- ・「新規採用教員オリエンテーション」を開催
- ・第 1 回FD推進委員会及び小委員会を開催

5 月

- ・平成 30 年度第 1 回FD研修会を実施
- ・平成 30 年度第 2 回FD研修会を実施

6 月

- ・第 2 回FD推進委員会小委員会を開催
- ・2018 年度「学生による授業アンケート」（前期）の実施

- ・FD NEWSLETTER 第 55 号を発行

7 月

- ・第 3 回FD推進委員会小委員会を開催
- ・平成 30 年度第 3 回FD研修会を実施

9 月

- ・FD NEWSLETTER 第 56 号を発行

10 月

- ・第 4 回FD推進委員会小委員会を開催

11 月

- ・第 2 回FD推進委員会を開催
- ・2018 年度「学生による授業アンケート」（後期）の実施

- ・平成 30 年度第 4 回FD研修会を実施
- ・平成 30 年度公開授業の実施（12 月 12 日まで）

12 月

- ・第 5 回FD推進委員会小委員会を開催
 - ・平成 30 年度第 5 回FD研修会を実施
 - ・第 3 回FD推進委員会（臨時）を開催
 - ・平成 30 年度「学生が選ぶベスト・ティーチャング賞」授賞式を開催
 - ・FD NEWSLETTER 第 57 号を発行
- 平成 31 年

1 月

- ・第 6 回FD推進委員会小委員会を開催

2 月

- ・平成 30 年度第 6 回FD研修会を実施
- ・第 7 回FD推進委員会小委員会を開催

3 月

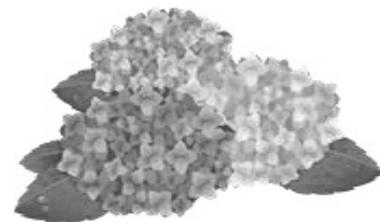
- ・第 4 回FD推進委員会を開催
- ・FD NEWSLETTER 第 58 号を発行
- ・平成 30 年度『FD活動報告書』を発行

FD推進委員会の今後の活動予定

- 令和元年度第 3 回FD推進委員会小委員会
令和元年 7 月 24 日（水）16：20 ～

- 令和元年度第 1 回FD研修会
令和元年 7 月 29 日（月）16：00 ～
※詳細については、後日、ご案内します。

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。



～2019 年度「学生による授業アンケート」
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：11 月 4 日 (月) ～23 日 (土)
対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、
受講生が 10 名未満の科目は除く)
※WEB によるアンケートを実施しています (PC、
スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用
して回答されます)。

2019 年度「学生による授業アンケート」(前期)
を、6 月 3 日 (月) ～22 日 (土) に実施しました。
学生は自身が回答した科目のアンケート集計結果を、
6 月 24 日 (月) ～7 月 7 日 (日) にWEB 上で確認
することができます。また、教員によるフィードバ
ックも、WEB 上で行うことができます。



編集後記

2019 年度最初の『FD NEWSLETTER』(第 59 号) を
お届けいたします。

長谷部八朗学長に巻頭言を賜りました。そこでは
FD 活動の視点として「学生」「教員」「学習環境」
の視点と、その実現手段としての PDCA サイクルの重
要性、それを踏まえたうえでの、有為な人材育成を
目指す「学生ファースト」の考え方をご提示いた
だきました。ご多忙の中、ご執筆いただきありが
とうございます。

連載企画「よりよい教育のために」につつま
しては、GMS 学部石橋直樹講師にご自身で実践
されている授業改善方法、なかでも講義の動
画配信の方法についてご寄稿賜りました。こ
ころよりお礼申し上げます。

また新規採用教員オリエンテーション等、FD 活
動の報告と今後の活動予定について掲載して
おります。

本年度の FD 活動計画では、活動テーマと
して、次の 2 つを掲げています。

- ① 本学における FD 活動の意義や目指すべき
方向性を確認し、次年度以降の発展につな
げる。
- ② 既存の取り組みについて検証・改善し
ながら着実に実施していく。

本年度はこれらの活動テーマのもと、これ
までの FD 活動を見直ししながら、様々
な FD 活動を実施してまいります。ご
参加とご協力のほど、よろしくお願い
いたします。

(村松幹二・大澤邦由)

駒澤大学 F D 憲章

- 一、 私たちは、常に新しい教育方法を模
索し、教育活動の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に自らの教育方法を
ふりかえることで、教育活動の改善に
努めます。
- 一、 私たちは、常に教員相互の情報交
換をすることで、大学全体の教育の質
の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に学生、または社
会からの声を大切に、教育活動の改
善に努めます。
- 一、 私たちは、知を人類の資産とし
て未来へ継承し発展させるよう、学
生とともに歩むことを誓います。

【タイトル横の写真は

駒澤大学開校 130 周年記念棟「緑の丘」】

FD NEWSLETTER Jun. 2019 第 59 号

発行日：2019 年 6 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 「キャリア教育」の再考
学生支援担当副学長
経営学部教授
猿山 義広
- 2019 年度「学生による授業アンケート」
(前期) 集計結果
- 「知識提供型講義での
アクティブ・ラーニングの試み」
法学部教授 熊谷 芝青
- 令和元年度第 1 回FD研修会報告
- FD推進委員会今後の活動予定
- 2019 年度「公開授業」実施のお知らせ

「キャリア教育」の再考

学生支援担当副学長
経営学部教授 猿山 義広

2010（平成 22）年 3 月の大学設置基準の改正以降、大学におけるキャリア教育の重要性は飛躍的に高まった。同基準第 42 条の 2 において「大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。」と規定され、本学でも同年より、経済学部と GMS 学部が他大学と共同して、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業（就業力 GP）」で採択された「正課・課外を連携する自発的就業力育成」の事業に参加し、キャリア教育に関する多くの知見と経験を得てきた。

大学におけるキャリア教育は、大学が社会に出る直前の教育段階であることを踏まえ、社会・職業への移行を見据えたものであることが求められる。そこで推奨されるのが企業などで実施されるインターンシップであり、本学でも多くの学生が就職活動前にインターンシップを経験する。理想的には、すべての学生が正課教育において、教職課程の教育実習のように単位化された、2 週間以上のインターンシップを受けられるようにしたいが、引き受けてくれる企業や自治体・団体の数には限りがあり、実際には難しい。多くの学生は、正課教育外の 1 日か 2 日で終わる短期インターンシップや旅行代理店が企画する海外インターンシップで就職活動前の就業体験を積んでいる。

学内におけるキャリア教育では、経済産業省による「社会人基礎力」や文部科学省による「学士力」における「汎用的技能」「態度・志向性」の育成が中心になる。その育成にあたっては、学習活動や達成度を記録し、自己点検評価を行って、目標への接近度や達成度を確認しながら次の行動設計に反映させる仕組みが求められる。本学でも GPS-Academic というアセスメントテストが全学的に導入されており、学生が自分の成長について自己点検評価を行う環境は整っている。ただし、学生による自己点検評価に対して適切なアドバイスを行い、成長を促進させるところまでは至っていない。今後はそうした成長支援のための取り組みを進めていきたい。

2019 年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2019 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施期間 令和元年 6 月 3 日 (月)～6 月 22 日 (土)
対象科目数 1,381 科目
対象者数 78,471 人 (延べ人数)
有効回答数 40,312 件 (51.4%)

【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- ・シラバスを見て授業内容に興味を持った
- ・シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- ・履修モデル(コース制等)を見て決めた
- ・資格の取得
- ・必修科目または選択科目だったから
- ・時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- ・その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5: 3 時間以上
- 4: 2 時間以上～3 時間未満
- 3: 1 時間以上～2 時間未満
- 2: 1 時間未満
- 1: 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0 回
- 4: 1～2 回
- 3: 3～4 回
- 2: 5～6 回
- 1: 7 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・

YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6～9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q21 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6～9・11・12・14・16～18 選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3：どちらとも言えない
 2：ややそう思わない
 1：そう思わない
 Q19. 教員自由設定質問（選択）
 Q20. 教員自由設定設問（記述）
 Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。
 Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
 Q23. 所属学部学科等
 仏教・国文・英米文・地理・日本史学・外国史学・考古学
 社会学・社会福祉学・心理・経済・商・現代応用経済

法律 A・法律 B・政治・経営・市場戦略・診療放射線技術科
 グローバル・メディア
 Q24. 学年
 4年・3年・2年・1年・その他
 Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。
 一般入試・大学入試センター試験利用入試・一般推薦入試
 自己推薦入試・スポーツ推薦入試・指定校推薦
 附属校推薦入試・留学生特別入試・帰国生特別入試
 編入学試験・その他の試験・回答しない

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目（Q2～18）の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q 2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.7	2.6
Q 3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.8	2.5
Q 4 平均値	3.9	4.0	3.9	3.9	4.6
Q 5 平均値	4.6	4.5	4.5	4.1	3.5
Q 6 平均値	4.6	4.7	4.7	4.7	4.9
Q 7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
Q 8 平均値	4.5	4.6	4.6	4.6	4.9
Q 9 平均値	4.2	4.3	4.3	4.4	4.9
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.9
Q11 平均値	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q12 平均値	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	4.3	5.0
Q14 平均値	4.3	4.5	4.4	4.5	5.0
Q15 平均値	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q16 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.9
Q17 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2	4.9
Q18 平均値	3.9	4.0	4.0	4.1	4.9
有効回答数	15,283	9,853	5,629	1,937	12

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした（回答率97.7%）。（表2 入学形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5	2.2	1.9	1.6	1.5	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	2.3	2.0	1.8	1.6	1.8
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.1	4.1	4.0
Q5 平均値	4.5	4.4	4.5	4.3	4.6	4.6	4.6	3.9	4.5	4.6	4.6
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.9	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.8	4.5	4.6	4.7	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	4.4	4.3	4.1
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.2	4.4	4.4	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.5	4.6	4.6	4.4
Q12 平均値	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.5	4.4	4.3
Q13 平均値	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.7	4.4	4.2	4.4	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.4	4.5	4.6	4.3
Q16 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.9
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.5	4.1	4.2	4.1	3.9
Q18 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.5	4.0	4.1	4.0	3.9
有効回答数	17,042	2,255	2,589	1,124	4,248	3,094	746	100	529	250	737

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」はアンケート集計対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	-	-	-
Q3 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	-	-	-
Q4 平均値	3.9	3.9	-	4.1	4.1	-	-	-	-
Q5 平均値	4.3	4.3	-	4.2	4.2	-	-	-	-
Q6 平均値	4.5	4.5	-	4.8	4.8	-	-	-	-
Q7 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	-	-	-
Q8 平均値	4.8	4.8	-	4.6	4.6	-	-	-	-
Q9 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	-	-	-
Q10 平均値	4.4	4.4	-	4.5	4.5	-	-	-	-
Q11 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	-	-	-
Q12 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	-	-	-
Q13 平均値	4.6	4.6	-	4.6	4.6	-	-	-	-
Q14 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	-	-	-
Q15 平均値	4.7	4.7	-	4.4	4.4	-	-	-	-
Q16 平均値	4.6	4.6	-	4.4	4.4	-	-	-	-
Q17 平均値	4.2	4.2	-	4.2	4.2	-	-	-	-
Q18 平均値	4.4	4.4	-	4.3	4.3	-	-	-	-
有効回答数	79			66			-		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.9	-	1.9	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.8	-	1.8	1.7	1.8	1.6	1.6	1.8	1.5
Q4 平均値	4.0	-	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.2	3.7
Q5 平均値	4.4	-	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.8	-	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.7
Q7 平均値	4.9	-	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7
Q8 平均値	4.8	-	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6
Q9 平均値	4.4	-	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.6	-	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4
Q11 平均値	4.9	-	4.9	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6
Q12 平均値	4.8	-	4.8	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6
Q13 平均値	4.7	-	4.7	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2
Q14 平均値	4.7	-	4.7	4.5	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5
Q15 平均値	4.9	-	4.9	4.4	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4
Q16 平均値	4.4	-	4.4	4.0	3.9	4.2	4.0	4.1	4.0
Q17 平均値	4.3	-	4.3	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.1	-	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	4.0
有効回答数	50			647			640		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.6	1.1	1.9	1.4	1.3	1.4	1.4	-	1.4
Q3 平均値	1.7	1.2	2.0	1.6	1.6	1.6	1.7	-	1.7
Q4 平均値	4.2	3.9	4.4	4.0	3.9	4.1	4.3	-	4.3
Q5 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.6	4.7	-	4.7
Q6 平均値	4.8	4.8	4.9	4.7	4.3	4.8	4.9	-	4.9
Q7 平均値	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9	5.0	-	5.0
Q8 平均値	4.9	4.8	4.9	4.7	4.5	4.8	4.8	-	4.8
Q9 平均値	4.7	4.7	4.7	4.5	4.2	4.6	4.8	-	4.8
Q10 平均値	4.7	4.6	4.7	4.5	4.1	4.5	4.7	-	4.7
Q11 平均値	4.8	4.8	4.8	4.7	4.4	4.8	4.7	-	4.7
Q12 平均値	4.8	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6	4.9	-	4.9
Q13 平均値	4.6	4.7	4.5	4.3	4.4	4.3	4.9	-	4.9
Q14 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7	4.9	-	4.9
Q15 平均値	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.8	-	4.8
Q16 平均値	4.5	4.4	4.5	4.2	3.9	4.3	4.5	-	4.5
Q17 平均値	4.4	4.2	4.5	4.4	4.1	4.6	4.5	-	4.5
Q18 平均値	4.3	4.1	4.4	4.2	3.9	4.3	4.2	-	4.2
有効回答数	158			273			62		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q6 平均値	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.8	4.9	4.8	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.3	4.2
Q10 平均値	4.4	4.0	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値	4.4	4.0	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.6	4.4
Q12 平均値	4.4	4.0	4.4	4.5	4.7	4.4	4.3	4.4	4.2
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.1	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
Q17 平均値	4.1	3.8	4.2	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	3.9	3.8
有効回答数	373			812			1,372		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5
Q3 平均値		1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値		3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
Q5 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値		4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値		4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6
Q8 平均値		4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値		4.3	4.4	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値		4.3	4.4	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2
Q11 平均値		4.5	4.5	4.4	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4
Q12 平均値		4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.6	4.3
Q13 平均値		4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	3.9	4.2	4.3	3.8
Q14 平均値		4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値		4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
Q16 平均値		4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値		4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9
有効回答数		4,129			2,903			1,611		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.7	-	1.7	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値		1.6	-	1.6	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7
Q4 平均値		3.8	-	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	3.9
Q5 平均値		4.4	-	4.4	4.5	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値		4.5	-	4.5	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値		4.4	-	4.4	4.7	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7
Q8 平均値		4.4	-	4.4	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5
Q9 平均値		4.1	-	4.1	4.3	4.3	4.4	4.0	4.0	4.0
Q10 平均値		4.0	-	4.0	4.4	4.4	4.4	4.1	4.1	4.2
Q11 平均値		4.4	-	4.4	4.6	4.6	4.7	4.3	4.2	4.3
Q12 平均値		4.0	-	4.0	4.6	4.6	4.5	4.2	4.1	4.4
Q13 平均値		3.7	-	3.7	4.3	4.3	4.2	4.0	3.9	4.2
Q14 平均値		4.3	-	4.3	4.5	4.5	4.5	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値		4.3	-	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値		3.9	-	3.9	3.9	3.9	4.1	3.8	3.8	3.9
Q17 平均値		3.9	-	3.9	4.1	4.1	4.2	3.9	3.8	4.0
Q18 平均値		3.8	-	3.8	3.9	3.9	4.1	3.9	3.8	3.9
有効回答数		340			555			1,536		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.6	1.5	1.6	1.4	1.5	1.3	1.7	1.6	1.9
Q3 平均値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.8	1.7	1.9
Q4 平均値	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値	4.5	4.5	4.4	4.8	4.8	4.7	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.5	4.4	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.1	4.2	4.0
Q10 平均値	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2
Q11 平均値	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.5	4.4
Q12 平均値	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4
Q13 平均値	4.0	4.0	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.2
Q14 平均値	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.4
Q16 平均値	3.7	3.7	3.6	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	3.8	3.8	3.9	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9
有効回答数	1,570			1,021			2,241		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.4	1.3	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5
Q3 平均値	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.8	3.7	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.4
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値	4.4	4.2	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
Q9 平均値	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5
Q10 平均値	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.5	4.4	4.6	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.7
Q12 平均値	4.3	4.3	4.2	4.5	4.6	4.2	4.7	4.7	4.7
Q13 平均値	4.1	4.3	3.7	4.3	4.4	4.0	4.5	4.4	4.6
Q14 平均値	4.3	4.2	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6
Q15 平均値	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.2	4.5	4.5	4.6
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.2	4.4
Q17 平均値	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.4
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.4
有効回答数	386			3,236			1,000		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)外国語第一			(総合教育研究)外国語第二			(総合教育研究)スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.9	1.9	2.0	1.8	1.6	2.0	1.6	1.6	-
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	1.9	1.7	2.1	1.5	1.5	-
Q4 平均値	4.0	3.9	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	-
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	-
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	-
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	-
Q9 平均値	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	-
Q10 平均値	4.4	4.2	4.4	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	-
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	-
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	-
Q13 平均値	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	-
Q14 平均値	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	-
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	-
Q16 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.5	4.5	-
Q17 平均値	4.0	3.8	4.0	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3	-
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	-
有効回答数	4,873			1,705			263		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.8	4.8	4.7
Q7 平均値	4.8	4.9	4.8
Q8 平均値	4.7	4.8	4.7
Q9 平均値	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値	4.5	4.6	4.4
Q11 平均値	4.6	4.7	4.6
Q12 平均値	4.6	4.5	4.6
Q13 平均値	4.3	4.4	4.3
Q14 平均値	4.5	4.6	4.5
Q15 平均値	4.6	4.7	3.0
Q16 平均値	4.2	4.3	4.2
Q17 平均値	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.1
有効回答数	631		

2019 年度「学生による授業アンケート（前期）」 集計結果の概況について

はじめに

2019 年度の「学生による授業アンケート」(前期) は、令和元年 6 月 3 日 (月) から 6 月 22 日 (土) にかけて実施された。学生は自身が回答した科目のアンケート集計結果を、6 月 24 日 (月) から 7 月 7 日 (日) に WEB 上で確認することができ、教員によるフィードバックも、WEB 上で可能になっている。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で 1,381 科目 (前年 1,247 科目)、対象者数 (述べ人数) は、78,471 名 (前年 79,031 名)、回答率は 51.4% (前年 50.5%)、有効回答数 40,312 件であった。回答率は 2017 年度前期が 49.7% であったのをみると、漸増傾向にある。

1 学年別の比較

1 年生 46.7%、2 年生 30.1%、3 年生 17.2%、4 年生 5.9% と下級生が過半をしめている。学年ごとの数字の違いはあまり見られない。昨年は**授業の予習・復習 (Q2・Q3)**、**授業に熱心に取り組んだ (Q4)** の設問で、4 年生が若干高かったが、今年度はそれほどの違いは出ていない。**出席状況 (Q5)** は 4 年生の数字が 0.4~5 ポイント低く、半期卒業のために熱心に受講するというのは数字では出てこない。**授業の進行 (Q9)**、**授業環境 (Q14)**、**到達目標達成 (Q18)** は 1 年生の数字が低くなっており、さらなる初年次教育の充実が期待される。

2 入学形態別の比較

留学生 (回答全体の 2.3%) は各項目にわたって他より高い。学習意欲が高く、授業に熱心に取り組む、理解度も高いとみられる。**出席状況 (Q5)** について**指定校推薦**は昨年同様高い。高校からの推薦にあたり出席状況の勘案されているのが反映しているとみられる。**スポーツ推薦**の数字は低い (昨年は他と遜色なし) が、**帰国生**はさらに下回っている。昨年も低い。**授業の予習・復習 (Q2・Q3)** は他を上回るのに出席がよくない状況に対し、特別な指導も必要であろう。もっとも全体の項目にわたって、入学形態による数字の差はあまり出てこない (留学生のぞく)。学力差を反映した数字は出てこないのは、アンケートが学生の主観的評価であるのが要因であろう。他の

データとリンクさせて教育効果等を検証する必要がある。

3 各項目別の学部学科比較

(1) 授業の予習・復習 (Q2・Q3)

総合教育研究部の語学系や GMS 学部が他に比べて高いのは授業の性格にもよるが、大規模授業が多い社会科学系学部が意外と高い。ただ聴くだけの大規模授業でなくなったのではないかな。

(2) 授業に熱心に取り組んだか (Q4)

文学部が若干高めの数字であり、総合教育研究部も高いのは授業の規模であろうか。社会科学系学部も昨年に比べると数字はよくなっている。法律学科は他に比べ低く、出席 (Q5) も低いのは学科の構成も関係しているのであろう。

(3) 学生の出席状況 (Q5)

医療健康科学部が例年最も高く、史学系を中心に文学部がおおむね高いのは受講形態によるとみられるが、仏教学部が他学部比べて若干低いのは意外である。昨年度はそのようなことはなく、本年度の特殊要因もあろう。全体では、おおむね 4.5 以上であるが、法学部の法律学科は 4.4 であり、政治学科では専任 (4.6) と非常勤 (4.3) の違いがある。昨年も法学部は (政治も含め) 他より低くなっている。

(4) 授業の開始 (Q6)・授業回数の確保 (Q7)

学部差・学生差は少なく、4.4 以上となっている。ただし、授業の開始について文学部の歴史学科外国史学専攻では専任 (4.3) と非常勤 (4.8) との差が目立つ (昨年は専任対象のアンケートはなかった)。

(5) 板書・スクリーンの工夫 (Q13)

法学部法律学科が唯一の 3 点台 (3.7) である。今年度は非常勤のみのアンケートであり、昨年度も専任に比べると低かった。FD の浸透が必要であろう。現代応用経済学科、総合教育研究部の文化学部部門、自然科学部門も専任に比べ、0.4 ポイント以上低い (文化学部部門を除くと昨年、差はみられなかった)。

(6) 授業の理解度 (Q16)、興味 (Q17)、到達目標達成 (Q18)

法学部と経営学部が 3 点台と低い。昨年同様である。とくに経営学部はビジネスに関連した実践的授業も多いことを考えるならば、意外な結果である。

(清滝 仁志)

連載企画：よりよい教育のために

「知識提供型講義での
アクティブ・ラーニングの試み」

法学部教授 熊谷 芝青

近年、文部科学省は受動的な学習に対して、学生が能動的に学ぶアクティブ・ラーニングを推進している。政策立案型または問題解決型の講義であれば、アクティブ・ラーニングは正に有効な講義ツールとなりうる。しかし法律の講義であると、法律条文の要件・効果等の知識を学生に提供する講義であると、学生が能動的に学ぶ機会・可能性は少ないように思われる。

数々あるアクティブ・ラーニングの手法の中で、学生との対話を取り入れることが提案されている。そこで私も、「はい/いいえ」で回答できる質問事項を考え、学生に質問をしても、手を挙げてくれる学生は、ほとんどおらず、寂しい思いを重ねてきた。

そこで昨年度は、司法試験の短答式の問題をC-Learningの「小テスト」にアップしてみた。「小テスト」の問題を1つ出し、学生の回答状況を見て、それに従って解説の詳細さを調整してみた。この形式であると、参加する学生は予想以上に多かった。すべての問題を講義内で消化できないので、残りは自習としているが、期末試験との関係からか、割合と取り組んでいる学生が多かった。その結果かどうか、期末試験の成績状況は、従来よりも平均点が10点以上上昇した。

本年度は、C-Learningのクイック・アンケート「はい/いいえ※コメントあり」を使い始めた。講義中に思い付いた設問について問いを発してみた。「憲法を尊重擁護する義務を国民は負うか？」(いいえ、憲法99条：正答率25%)、「民法の規定はすべて守らなければならないか？」(いいえ：正答率70%)、「白タクは違法行為だから、料金を支払わなくてもよいか？」(いいえ：正答率55%)等々。ほぼ1分後に50人ほどの回答が得られる。しっかりしたコメントも書いてくれる学生もいる。なるべく、常識と異なるもの、回答を迷うものを工夫しているが、正答率が50%を超える場合は、もう少し設問の工夫をしなければならないと反省している。

このような取り組みはアクティブ・ラーニングと言えないかもしれない。しかし以前よりは、学生の能動性を

確保しているのではないかと考えている。その効果は期末試験で試される。今年度の学生の成績は昨年度の学生の成績と比べて、どう変化するだろうか？

令和元年度 第1回FD研修会
「授業支援システム デモンストレーション」

令和初のFD研修会は、7月29日(月)、「授業支援システム デモンストレーション」をテーマとして開催されました。参加された教職員は53名でした。

学内の授業支援システムC-LearningとYeStudyについては、これまでマニュアル的に紹介されていました。今回は使用する目的別に、それぞれのシステムをどう使うのかについてのデモンストレーションを行うものでした。

今回のデモンストレーションは、授業支援システムが使用される「出欠管理」「アンケート」「課題」「資料公開」「双方向コミュニケーション」の5項目を取り扱いました。以上の項目について会場前方の2つの大スクリーンにC-LearningとYeStudyのそれぞれの操作画面が投影され、具体的に何をどのように動かせば使用目的が達成できるのかが解説されました。

デモンストレーションを担当されたのは、C-Learningについては同システムの開発・運用をする株式会社ネットマンの佐藤敦美氏、YeStudyについては駒澤大学総合情報センターの倉持勝氏です。展開としては、C-Learningの出欠管理のデモンストレーション→YeStudyの出欠管理のデモンストレーション→質疑応答→C-Learningのアンケートのデモンストレーション→YeStudyのアンケートのデモンストレーション→質疑応答…といった順でした。

それぞれの質疑応答では活発な議論がありました。たとえば、出欠予約はできるのか、履修情報は反映されているのか、学生側から見た画面はどんな具合になるのか、ループリックの設定はどうするのか、動画はアップロードできるのか、などといった技術的なものから、ログイン情報が学生間で共有されていたらどう対処するのか、著作権問題をどう対応するのか、といったシステムにとどまらない内容まで及びました。両システムに対する要望も数多くあがりました。システム開発・運用サポートに係る学内外の担当者とユーザーである教職員が一堂に会したことで、建設的な議論が多かったように感じられます。(小野瀬 拓)



(第 1 回研修会の様子)

F D 推進委員会の今後の活動予定

- 令和元年度第 4 回 F D 推進委員会小委員会
令和元年 10 月 17 日 (木) 16 : 20 ~
- 令和元年度第 2 回 F D 推進委員会
令和元年 11 月 5 日 (火) 16 : 20 ~

※ F D 活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

2019 年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り 11 月中旬から 12 月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術（教授法）について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及び KONMA でお知らせいたします。

～2019 年度「学生による授業アンケート」 (後期) 実施のお知らせ～

実施期間：令和元年 11 月 4 日 (月) ～23 日 (土)
対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、
受講生が 10 名未満の科目は除く)

※ W E B によるアンケートを実施しています
(P C 、スマートフォン、携帯電話、タブレット等
を使用して回答されます)。

編集後記

『FD NEWSLETTER 第 60 号』をお届けいたします。
巻頭言では、学生支援担当副学長の猿山義広副学長より、現在の本学のキャリア教育についてその現状と課題とをお示しいただきました。また、連載企画「よりよい教育のために」は、入学センター所長の熊谷芝青先生よりご執筆いただきました。C-Learning の興味深い使い方が書かれており多くの読者の参考になるのではないのでしょうか。両先生にはお忙しいなかご協力賜りまして感謝申し上げます。

さて、9 月の『FD NEWSLETTER』では、恒例の「学生による授業アンケート」(前期)を掲載しております。改善の検討材料にお使いください。引き続き皆々様の F D 活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

(小野瀬 拓・清滝 仁志)

※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



【タイトル横の写真は、第 1 回 F D 研修会の様子】

FD NEWSLETTER Sep. 2019 第 60 号

発行日：2019 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 学ぶ意欲を高める
 - 医療健康科学部
 - 学部長 吉川 宏起
- 令和元年度公開授業の実施について
 - 公開授業を終えて
 - 医療健康科学部講師
 - 渡邊 雄一
- FDの一環としての
 - Peer Observation of Teaching (POT)
 - グローバル・メディア・スタディーズ学部教授
 - ティム・アシュウェル
- 課外授業
 - 医療健康科学部准教授
 - 近藤 啓介
- 令和元年度第2回FD研修会報告
 - 経済学部教授
 - 村松 幹二
- FD推進委員会今後の活動予定

学ぶ意欲を高める

医療健康科学部学部長
吉川 宏起

教育の基本は、生徒（受け手）と先生（与え手）の信頼関係、相互の適切なコミュニケーション、受け手の高い学ぶ意欲にあると考えられる。本稿では与え手が複数の受け手全員から如何にして高い学習意欲を引き出すかという課題について考えてみる。

理想とされる教育は、受け手に有意義感や達成感を与えられる教育であろう。この理想教育を実行するための必要十分条件は、受け手にその教育の目的や意義を十分に理解し、納得してもらうことにある。受け手には大きく二つのタイプがあると考えられる。一つはすでに学ぶ目標が定まっているタイプで、もう一つは目標を目下探索中のタイプである。前者に対する教育は比較的容易で、与え手がこれまで研鑽を積んできた学術や人生体験を基にその達成感、挫折感についてコミュニケーションを取りながら指導していくことで、効果を上げることが出来そうである。問題は後者のタイプへの指導法である。とくに大人数を相手にする場合には困難を極める。こうした場合に重要なのは、如何にして個々の受け手から授業に対する苦情を交えた忌憚のない意見を収集するか、そして如何にしてそれらの意見を基に個々の受け手に適切な対応や指導が行えるかである。ここで有効な手段となるのは受け手が自由に答えられる適切な内容のアンケート調査を頻繁に行い、集計されたアンケートデータの精緻な分析を繰り返すことである。得られた解析結果から学習意欲の不足している要因の洗い出しを行い、授業内容に還元する。さらに前回のアンケート結果から割り出された要因の本質を導き出す質問内容の吟味を行い、次回のアンケート調査を行う。この繰り返しが重要であると考えられる。

最後にゼミ形式の少人数教育において参考となる記事が、今年5月の日本経済新聞にあったので紹介する。『キセキの高校』、都立大山高校で小山秀高先生の指導の下で行われている『哲学会話』のルールは、「自由に意見を言ってい。でも他人を否定してはだめ」。これを繰り返すことで多くの受け手は自分自身や目標を見出し、積極的な学習意欲を持つようになっていく。近年、人工知能（AI）の急速な進歩で人間の根源を追究する哲学の重要性が再認識されているが、学ぶ意欲を含める人間行動の動機付けもここに集束していくのではないかと考えられる。

令和元年度公開授業の実施について

令和元年度「公開授業」を以下のとおり実施した。「公開授業」は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

公開授業は、各学部等の F D 推進部会のご協力により、各学部等主体にて実施された。

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	角田 泰隆 岩永 正晴	12/17 (火)	1	禅研－坐禅堂	坐禅 I
	吉村 誠	12/6 (金)	2	3－504	仏典購読 I
文学部	土田 久美子	11/25 (月)	4	3－502	国際社会論
経済学部	山中 達也	11/25 (月)	1	8－152	新興国経済論 b
	中西 大輔	11/28 (木)	4	8－151	マクロ・マーケティング b
	吉田 健太郎	11/23 (土)	2	3－310	事業創造論
法学部	岡田 好弘	11/29 (金)	1	2研－209	民事執行・保全法
	山崎 望	12/11 (水)	1	8－150	政治学 (国際社会と日本)
経営学部	西村 和夫	11/7 (木)	1	2研－209	経営科学概論 B
	山邑 紘史	12/3 (火)	3	8－257	経済政策
医療健康科学部	渡邊 雄一	11/14 (木)	2	7－202	診療画像技術学 II
GMS 学部※	石川 憲洋	11/11 (月)	2	1－402	コンピュータワークショップ I
総合教育研究部	清水 善和	11/20 (水)	3	8－361	生物学 II
	竹田 幸夫	11/15 (金)	1	玉川－ 多目的グラウンド	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)

※GMS 学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

公開授業を終えて

医療健康科学部 講師 渡邊 雄一

2019年11月14日、「診療放射線技術学II」の公開授業を行いました。前期に開講した「診療放射線技術学I」とともに、この講義は医療健康科学部2年生を対象としています。来る将来診療放射線技師として勤めるにあたり、その基幹業務の一つである診療業務、特にX線単純撮影（通称レントゲン撮影）、胃造影や注腸造影などの造影剤を使用した放射線検査について、その基礎となる撮影技術、造影技術、リスクマネジメントなどについて学ぶ内容です。

私は約12年前に駒澤大学を卒業し、大学病院にて診療放射線技師として臨床経験を積み、本年4月に専任教員として駒澤大学に戻って参りました。この講義内容は診療業務の中でもその基本中の基本とも言える内容であり、診療放射線技師としては「できて当たり前」な領域です。しかしながらそのボリュームはかなり膨大な印象で、「I」と「II」を合わせて通年で教えるにしても、どうしても詰め込み型の講義になりがちな点が実に悩ましいところです。

ついこの間まで臨床に身を置いていた私としては、それぞれの検査の臨床における運用、患者さんへのリアルな対応、撮影技術を裏打ちする撮影理論や解剖学的、生理学的知識など、臨場感があり、かつ他の領域と関連付けながら横断的に学んでもらえるような講義となるように心掛けています。詰め込み型を補うために後から振り返りがしやすい資料を提供すること、3次元的な理解を進めるために必要に応じて模型や3次元画像を使用することなど、実現できそうな課題はまだまだあります。

医療健康科学部は診療放射線技師の養成施設という側面があり、必修科目の多さ、講義内容の高い専門性、実験レポートの煩雑さ等、かなり多忙な学部であることは私の経験からもよくわかります。限られた学習時間の中で如何にその効果を高めていくかという意味では、出席の確認と前回の復習を兼ねた小テストの実施なども視野に入れていきたいと考えております。

専門的な技術や知識を駆使して、必要最小限の放射線量で最大限の情報を引き出す、そのおもしろさ、奥深さを伝えることができれば本懐です。診療放射線技師という仕事を「好き」、「おもしろい」、「極めた

い」と感じてもらえるように、講義の内容ももちろんですが、その伝え方等にも気を配りながら、日々精進を重ねて参ります。

本講義を聴くためにご足労いただいた諸先生方、たくさんの貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。今後の講義運営、資料作り等に反映させて参ります。また公開授業にご協力いただきました学生の皆様にも心より感謝申し上げます。



(渡邊 雄一 先生 公開授業)

FDの一環としての

Peer Observation of Teaching (POT)

グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
ティム・アッシュウェル

本稿では、まず、駒澤大学の「公開授業」プログラムへの参加について、個人的な感想を述べる。次に、このプログラムについていくつかの問を提起し、最後に所見を述べる。

個人的な感想

過去5年間、本学全体の「公開授業」プログラムの一環として、当学部教員の講義を聴講するよう求められてきた。この種のプログラムは、Peer Observation of Teaching (POT) プログラムと呼ばれる。学内に広く知られているように、大学のFDプログラムの一環として、各学部は毎年一名の教員を指名して講義を公開する。これらの公開授業は、例年11月に開催され、通常各学部的一名の教員が聴講し、フィードバックを提出するよう求められる。指定された聴講者および他の訪問者が記入する「振り返りシート」が提供され、これらのシートは、講義を実

施した教員に引き渡される。

私は、本プログラムがFDの一環として本当に効果があるのか、経験上疑問に思う。たとえば1つの問題は、公開授業の前・最中・後取るべき行動について、大学の明確な手順が示されていない。聴講者は教室に行き、フィードバックシートに記入し、その後去ることをおそらく期待されている。しかし、教員と聴講者が有益に本プログラムを活用するためのガイドラインは示されていない。たとえば、公開授業を提供する教員は、講義に関する情報を事前に(レジュメなどの形式で)聴講者に提供する必要がある。こういった情報が事前に提供されていれば、聴講者はこの講義が何をを目指しているのかさらに理解できる。注意すべき視点・基準のリストは聴講者に提供されず、講義を実施する教員は、フィードバックが欲しい点を事前に提示する義務がない。加えるならば、公開授業の後、授業やその改善策を議論する場を聴講者が設けるべきか、という点も不明である。

これらの手続き上の欠陥は、経験上、本学の大がかりな公開授業プログラムに対して、各教員が懐疑的であることにつながっていると考えられる。求められる手順と結果が不明であるため、本プログラムを管理上、および、外部への説明責任を目的とした形式的な演習と見なす傾向があるのではないかと。もしかすると、一部の教員は、受け取ったフィードバックや他の教員の授業を聴講することで、指導のヒントを得、本プログラムの恩恵を受けているかもしれない。しかし、教員の大半はFDや専門性開発の一環、かつ、自らを利するものとして本プログラムを見なしていないのではないかと、私は常々疑問を感じている。

本学のPOTプログラムについて考察する際、これを積極的に評価し、かつ、改善に資すると思われる基本的な問を3つに分類し以下に示す。

問

経緯 -

1. POTプログラムを設定する際、協議プロセス、および、その分析や評価はあったのか、それとも、単にトップダウンに課されたものなのか
2. 講義する教員にPOTプログラムへの参加、または不参加の選択肢を提供することは検討されたのか
3. POTプログラムを推奨する方法は検討されたか

4. POTのための準備を各教員は検討したのか(観察する側、観察される側の双方)

文書 -

1. POTプログラムの目的は明確になっているか
2. POTプログラムが誰のニーズを満たすか明確になっているか
3. 公開授業がFDプログラム全体に適合しているか
4. 聴講をどのように実施すべきか示したガイドラインはあるのか
5. 聴講の前・最中・後取るべき行動に関して手順はあるのか

評価 -

1. POTプログラムを評価する方法はあるのか
2. この評価は定期的に行う必要があるのか
3. 誰が評価を実施すべきなのか

これらの回答は既に存在するのかもしれない、公開授業プログラムに関する文書を私が見落とししていた場合、謹んで謝罪する。しかし、これらの問は私たちのPOTプログラムをより良いものとするため、答を見つけるべき根本的かつ根源的なものであると考えている。ここで、主に米国の高等教育機関から出版されている多くのFDにかかわる文献は、本学POTプログラムの再考に役立てることができると思われる。

問への暫定的な回答

文献[1]はピアレビュープログラムを実施するための12ステップのモデルを提案しており、本学のPOTプログラムを再考する一助になるかもしれない。彼らが指摘するいくつかの点は、前述の問を反映しているようにも見受けられる。

1. プログラムリーダー、レビューの形態、学問上の目標、参加者、報酬、および期待される成果を明確に特定するためのステートメントを作成する
2. ピアレビュープロセスの目的に沿ったプログラムリーダーを特定する
3. 形式的レビューと総括的レビューを区別する
4. プログラムが学際的であるか、単一の学問領域であるかを明確にする

5. すべての潜在的な参加者を特定し、最適なコミュニケーション方法を決定する
6. 適切な評価者を選択するためのプロセスを形成する
7. プログラムの目標と合致する評価の基準を特定する
8. すべての参加者と評価者のための適切なトレーニング戦略を開発する
9. 参加に対する報酬または不参加の結果を決定する
10. 報酬または結果に見合った参加者の時間的コミットメントを決定する
11. 個人のレビューをプログラムの結果から分離する
12. 結果の測定値をプログラムの目的にリンクする

(文献[1] p. 297)

このチェックリストを使用することで、本学のPOTプログラムを再考し、かつ、発展的に前進させる一助となり、また、有益なFDプロセスに取り込むことができるのではないかと考えている。当然、こういった議論を行う上で、FD推進委員会が主体的に機能することを期待するものである。

[1] Webb, J., & McEnerney, K. (1997). Implementing peer review programs: A twelve step model. *To improve the academy*, 16(1), 295-316.

(翻訳: グローバル・メディア・スタディーズ学部

講師 石橋直樹)



(石川 憲洋 先生 公開授業)

連載企画：よりよい教育のために

「課外授業」

医療健康科学部 准教授
近藤 啓介

ゼミにおける「より良い教育のために」は、ゼミの学生同士が仲間と協力し、時には良きライバルとして競争し切磋琢磨しながら勉強する環境が望ましいと考えている。実は、医療健康科学部の学生は全体的には大人しく、個人の暗記系勉強が中心で、他人とは争うことなく和を重んじる学生が多い。悪くはないのであるが、現場で活躍する医療人を育成するためには、もう少し競争心を持ち積極的に取り組み、自ら考え行動できるようになってほしいところである。

そこで、以下の4つの目標に沿って春と夏の合宿や毎月の課外授業の中で実施しながら、最終的には「自ら考え行動できる医療人」を目的にスケジュールを作成している。

- (1) 自由に意見が言える環境
- (2) 他人を知り自分を伝えるコミュニケーション力
- (3) 全員で一つの課題を解決するチーム力
- (4) 複数のチームを作りチーム対戦形式の課題解決力

(1)ではブレインストーミングなどを行っており、出されたアイデアを分類後に評価するのは教員(私)の担当で、それぞれのアイデアの良いところを見つけて必ず褒めることにしている。これを初期段階に行うことによってゼミでの学習時の発言数が増えるので重要である。

(2)では、なんじゃもんじゃカードを使った仲間探しなどのゲームを行っている。面白いキャラクターが描かれたカードを一人一枚持ってカードを相手に見せないで同じカードを持った仲間を探すゲーム(本来のゲームとは異なる使い方)を行う。このような強制的に他の人と話をしないとイケない状況を作りながらコミュニケーション力を養う。

(3)では、フープリレーなどを行っている。フープ

リレーとは、全員が手をつないで大きな輪を作りフラフープを一周させるゲームである。30秒以内に一周させる課題を与えると、背の順に並び替えたり、隣の人に渡す方法を工夫したりといろいろなアイデアが出され、必ず最後には課題をクリアする。クリアした瞬間にチームは盛り上がり一気に団結力が上がるのを見ていて楽しい。

(4)では、たまご落としチャレンジなどを行っている。たまごを4階から2階へ落としても割れないようなプロテクターを作成する課題で、真下の目標地点に近いほうの勝ちというルールを追加して行っている。1チーム4人ほどで構成し、複数チームによるチーム対抗戦である。作成する材料を当日発表するので、与えられた素材を生かしてその場でアイデアをだし、他のチームより高得点を狙うために創意工夫しているのが毎回面白い。

以上の4つの課外授業を行うことで、普段のゼミの勉強にも積極的に取り組むようになり、かつ自ら考え行動する課題解決力が育成されていると考えている。昔は(1)と(2)を実施していなかったが、実施後は(3)と(4)の活動がスムーズに出来るようになり、基本を疎かにせずあえて実施している。この活動の評価は難しいが、医療現場で活躍する卒業生からは、この課外授業は非常に重要でぜひ続けてほしいと応援してくれているので、これからも頑張って実施していきたい。



令和元年度 第2回FD研修会報告

『FD研修会：山本眞一氏講演 「大学改革と教職員の新たな役割」に参加して』

9月20日の第2回駒澤大学FD研修会では、第1部山本眞一氏(筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授)による講演「大学改革と教職員の新たな役割～大学の質保証のためのFDと教職協働を視野に～」、第2部パネルディスカッション「本学におけるFDの現状と課題」が行われた。

本稿では、主に第1部の講演内容を紹介することで、読者の皆様が本学の課題を考える一助としていただければ幸いである。本講演では、FD、授業の質改善を教員だけの問題としてではなく、教員と職員が連携して行う大学改革の一環として位置づけ、これからの大学改革にどのような視点が必要であるか論じられた。

大学改革の背景として、大学教育を巡る環境変化について主に次の2点が論じられた。大卒者の就職先、なかでも事務職の新卒採用の学歴構成をみると、1960年代には事務職の約8割が高卒だったのに対し、1990年には高卒が4割強、短大卒が2割強、大卒が3割となり、2015年には大卒が8割となっている。これは、工業社会から情報社会、さらには知識社会へと変化し、事務職に求められるスキルが上昇、多様化し、同時に大学進学率が上昇した結果と考えられる。2点目としては、18歳人口減少の影響が論じられた。18歳人口の減少により、大学進学率が上昇したにも関わらず、90年代以降大学入学者数は減少を続けている。このため、私立大学の定員充足率を見ると、90年代前半には、9割以上の大学が定員を充足し、半数以上の大学が充足率120%を超えていたのに対し、2005年以降、3割以上の大学が定員を充足していない。

これらの変化を踏まえ、2018年の中教審グランドデザイン答申では、教育研究体制の多様性と柔軟性の確保、「教育の質の保証」が求められ、あらゆる世代が学ぶ「知の基盤」づくりが提唱されている。この大学教育の質保証として、「・・・入学時から修了時までの学修者の「伸び」、さらに卒業後の成長をも意識した質の向上を図っていく必要がある。」としている。

大学教育の質を保証するうえでFDは重要であるが、それだけで教育の質が保証できるわけではなく、大学は教員、職員など多様な人材で支えられている。大学教職員数を日米で比較すると、日本全体では、職員総数は教員総数の1.2倍程度であるが、職員総数の半数以上は医療系であり、他の大学では職員数は教員数より少ない。これに対しアメリカでは職員総数は教員総数の2倍以上であり、なかでも事務・管理支援、経営管理、財務運営などに多くの専門職員が配置されている。このため、教育の質保証のためには、日本では教員、職員が協働して効率的経営を行う必要がある。

以上のような山本氏の講演を伺ったうえで、本学で検討すべき課題について、感想を述べさせていただきたい。講演のなかでも論じられたが、教育の質を考える上で、研究大学、専門大学、職業大学など大学間の機能分化を考える必要がある。本学の担う機能を明確にし、教職員の間で、どのような「質」が求められているのかについて、理解を共有することが重要だと考える。目指すべき学生像があり、その目標の教職員間の共通理解があって、はじめてそのための教育の質向上のための議論を行うことができ、また質向上のための取り組みに教職員が協力してあたることができる。今回の研修は、そのような共通理解の重要性を改めて認識する貴重な機会であった。

(経済学部教授 村松 幹二)



(第2回FD研修会の様子)

FD推進委員会の今後の活動予定

- 令和元年度第6回FD推進委員会小委員会
令和元年1月24日(金)14:00～
 - 令和元年度第3回FD研修会
令和2年2月10日(月)16:00～
テーマ：
令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」
受賞者による実践事例紹介(仮)
 - 令和元年度第7回FD推進委員会小委員会
令和2年2月21日(金)14:00～
 - 令和元年度第4回FD推進委員会
令和2年3月12日(木)14:00～
- ※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

※駒澤大学FD (Faculty Development) ホームページは、以下URLかQRコードからアクセスできます。

【URL】<https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



編集後記

『FD NEWSLETTER』第 61 号をお届けいたします。

巻頭言は、医療健康科学部長の吉川宏起先生にご執筆いただきました。「学ぶ意欲を高める」ための指導法についてご紹介いただきました。

連載企画の「よりよい教育のために」では医療健康科学部の近藤啓介先生にご執筆いただきました。ゼミ活動に対して積極的に取り組む姿勢や、就職後の活躍に繋げるための課外授業をご紹介いただきました。

令和元年 9 月 20 日（金）に実施された第 2 回 FD 研修会に関しましては、経済学部の村松幹二先生に参加者の立場から記事をご執筆いただきました。FD 活動の意義や本学における F D 活動の長所や課題などを考える良い機会となりました。

また、本号では公開授業に関する記事を掲載しており、医療健康科学部の渡邊雄一先生と、グローバル・メディア・スタディーズ学部のティム・アシュウェル先生にご執筆いただきました。限られた授業時間の中で、学生のためを思って様々な工夫を行っている事が分かりました。普段の自分の授業を見直す良い機会となりました。

次号の『FD NEWSLETTER』第 62 号は、ベスト・ティーチング賞や学生による授業アンケートの結果報告を予定しています。

(馬込大貴・石橋直樹)

【タイトル横の写真は、「3 号館種月館と銀杏の木」秋の装い】

FD NEWSLETTER Dec. 2019 第 61 号

発行日：2019 年 12 月 16 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)



FD NEWSLETTER



CONTENTS

- FDとPDCA
 - 前教育・研究担当副学長
総合教育研究部教授
桑田 禮彰
- 2019 年度「学生による授業アンケート」
(後期)集計結果
- 教育の環境整備について
総合教育研究部講師
出井 章雅
- 学生が選ぶベスト・ティーチング賞
授賞式
- 令和元年度第3回FD研修会報告
 - 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者による実践事例紹介

FDとPDCA

前教育・研究担当副学長
総合教育研究部教授
桑田 禮彰

本学最初の「自己点検・評価報告書」が作成されたのは、いまから四半世紀前、奈良康明学長時代でした。「脚下照顧」という命名は、奈良学長によります。作業は、本学の自己点検・評価体制構築のための規程作りから始まりました。奈良学長の指示で、その規程案作りの準備委員会が組織され、委員長である雨宮真也副学長のもと、私が副委員長を務め、本学の自己点検・評価が始動しはじめました。

直接の発端は、1991（平成3）年の文部省の「大学設置基準の改正」いわゆる「大綱化」です。近い将来の「18歳人口の激減」を見据え、大学間競争に生き残るために、全国の大学で、自己点検・評価を含む「改革」が始まったわけです。本学はその先陣を切ったとは言わないまでも、それほど遅れをとったわけではありません。

この全国規模の大学改革のうねりの中で、人口に膾炙するようになったのが、「PDCA」（Plan 計画・Do 実行・Check 検証・Act/Action 改善）という表現です。もともとは企業経営の問題対応の基本サイクルを表わしたものが、大学運営においても使われるようになりました。いざ点検を始めてみると、実際に大学の計画力・実行力・検証力・改善力の脆弱さが改革現場で露呈したことで、「大学の企業化」を危惧する声は弱まり、PDCAという考え方は、着実に改革現場に広がっていったと思われまます。

しかし重要なのは、PDCAの考え方が、大学運営にとどまらず、大学教育・研究へと浸透したことです。一人一人の学生に学習計画を立てさせ、実行へと導き、その結果を検証させて、学習を改善させるという丁寧な教育が行われるようになり、「小学生じゃあるまいし」といった学生を突き放す姿勢は、過去のものになりました。そして教員自身が、計画力・実行力・検証力・改善力を磨き、大きな研究成果を挙げつつあります。

FDが養成を目指す学生の基礎力とは、根本的には知的な問題対応能力のことであり、PDCAはそれを分析的に具体化したもので「授業外学習(P・C)」「授業内積極性(D)」「成長実感(A)」といったものもその基礎能力の養成から派生するように思えます。

本学でもPDCAの考え方が、もちろんそれ自体批判的に検証されながら、さらに展開されることを期待します。

2019 年度「学生による授業アンケート」

(後期) の集計結果について

2019 年度「学生による授業アンケート」(前期) を以下のとおり実施した。

実施期間 令和元年 11 月 4 日 (月) ~ 11 月 23 日 (土)

対象科目数 1,934 科目

対象者数 128,450 人 (延べ人数)

有効回答数 49,662 件 (38.7%)

※履修登録者 20 名未満の科目は集計から除外している

【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- ・シラバスを見て授業内容に興味を持った
- ・シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- ・履修モデル(コース制等)を見て決めた
- ・資格の取得
- ・必修科目または選択科目だったから
- ・時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- ・その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5 : 3 時間以上
- 4 : 2 時間以上 ~ 3 時間未満
- 3 : 1 時間以上 ~ 2 時間未満
- 2 : 1 時間未満
- 1 : 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5 : 0 回
- 4 : 1 ~ 2 (半期科目)、1 ~ 4 (通年科目) 回
- 3 : 3 ~ 4 (半期科目)、5 ~ 9 (通年科目) 回
- 2 : 5 ~ 6 (半期科目)、10 ~ 13 (通年科目) 回
- 1 : 7 (半期科目)、14 (通年科目) 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6~9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

- 5 : そう思う
- 4 : ややそう思う
- 3 : どちらとも言えない
- 2 : ややそう思わない
- 1 : そう思わない
- 0 : 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

- 5 : そう思う
- 4 : ややそう思う
- 3 : どちらとも言えない
- 2 : ややそう思わない
- 1 : そう思わない
- 0 : 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

- 5 : そう思う
- 4 : ややそう思う
- 3 : どちらとも言えない
- 2 : ややそう思わない
- 1 : そう思わない
- 0 : あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6~9・11・12・14・16~18 選択肢)

- 5 : そう思う
- 4 : ややそう思う

- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない
- Q19. 教員自由設定質問（選択）
- Q20. 教員自由設定設問（記述）
- Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。
- Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
- Q23. 所属学部学科等
 仏教、国文、英米文、地理、日本史学、外国史学、考古学
 社会学、社会福祉学、心理、経済、商、現代応用経済

- 法律 A、法律 B、政治、経営、市場戦略
 診療放射線技術科、グローバル・メディア
- Q24. 学年
 4年・3年・2年・1年・その他
- Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。
 一般入試、大学入試センター試験利用入試、一般推薦入試
 ・自己推薦入試、スポーツ推薦入試、指定校推薦
 附属校推薦入試、留学生特別入試、帰国生特別入試
 編入学試験、その他の試験、回答しない

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目（Q2～18）の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5
Q3 平均値	1.6	1.7	1.7	1.9	1.3
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	4.5
Q5 平均値	4.4	4.4	4.2	3.9	4.7
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.7	5.0
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.8
Q10 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.7
Q11 平均値	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	4.4	4.8
Q14 平均値	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q16 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.7
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.3	4.5
Q18 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.7
有効回答数	20,447	15,588	8,725	2,585	6

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした。（表2 入学形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.5	2.3	2.1	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	2.4	2.1	1.8	1.7	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.1	4.1	3.8
Q5 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.6	4.4	4.0	4.2	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.8	4.5
Q8 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	4.7	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.4	4.5	4.4	4.0
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.6	4.4	4.0
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.3
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.5	4.6	4.6	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.7	4.5	4.5	4.4	4.0
Q14 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.7	4.5	4.5	4.5	4.1
Q15 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.3	4.8	4.7	4.6	4.6	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.5	4.2	4.2	4.1	3.7
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.0	4.0	4.5	4.2	4.3	4.1	3.7
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	3.9	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.7
有効回答数	25,013	3,525	4,323	1,315	6,204	3,531	869	90	752	332	1,397

【学部学科・専攻・部門別集計結果】

授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。 ※法科大学院、国際センターは除外

表 3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」はアンケート集計対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.6	1.6	2.0	1.5	1.5	1.6	1.8	2.1	1.7
Q3 平均値	1.6	1.6	1.9	1.6	1.6	1.7	1.9	2.2	1.8
Q4 平均値	3.7	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9
Q5 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q6 平均値	4.4	4.3	4.8	4.5	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q7 平均値	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8
Q9 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.7	4.6
Q11 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.8
Q13 平均値	4.2	4.1	4.6	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5
Q14 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.4	4.7	4.7	4.7
Q15 平均値	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7
Q16 平均値	3.9	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.2	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,276			2,068			1,248		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.9	1.6	1.6	1.7	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	4.1	3.7
Q5 平均値	4.2	4.2	4.2	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6
Q9 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.2
Q11 平均値	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6
Q12 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6
Q13 平均値	4.5	4.6	4.4	4.5	4.3	4.6	4.4	4.5	4.2
Q14 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q15 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6
Q16 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	3.9
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,257			671			798		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.7	1.5	1.4	1.5
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.0	4.1
Q5 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値	4.5	4.2	4.8	4.6	4.4	4.8	4.5	4.3	4.8
Q7 平均値	4.6	4.5	4.8	4.8	4.6	4.9	4.6	4.5	4.7
Q8 平均値	4.6	4.4	4.7	4.7	4.5	4.7	4.6	4.5	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5
Q10 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7
Q12 平均値	4.4	4.2	4.6	4.5	4.3	4.7	4.3	4.0	4.7
Q13 平均値	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.5
Q14 平均値	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0	4.1
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,254			779			338		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.5	1.6	1.4
Q3 平均値	1.6	1.7	1.5	1.4	1.3	1.4	1.6	1.8	1.6
Q4 平均値	4.1	3.9	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.0	4.5	3.9	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.8	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.0	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q13 平均値	3.9	4.2	3.9	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
Q14 平均値	4.1	4.2	4.1	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.1	4.2	4.1	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q16 平均値	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1
Q17 平均値	3.9	4.1	3.8	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	564			807			2,151		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.4
Q3 平均値		1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.6	1.8	1.9	1.6
Q4 平均値		3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9
Q5 平均値		4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値		4.6	4.5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q7 平均値		4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値		4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5
Q12 平均値		4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値		4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.1
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4
Q15 平均値		4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
有効回答数		2,852			1,723			1,087		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値		1.8	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8
Q4 平均値		3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値		4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値		4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7
Q8 平均値		4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6
Q9 平均値		4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q10 平均値		4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値		4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値		4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.5
Q13 平均値		4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.3
Q14 平均値		4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値		4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5
Q16 平均値		3.8	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値		4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1
Q18 平均値		3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.1
有効回答数		4,267			1,813			2,060		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.2	1.8	1.6	2.0
Q3 平均値		1.7	1.7	1.8	1.7	1.8	1.4	1.8	1.7	2.0
Q4 平均値		3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	3.8	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値		4.3	4.4	4.3	4.8	4.8	4.8	4.4	4.4	4.3
Q6 平均値		4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.9	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値		4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		4.2	4.2	4.2	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値		4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.5	4.5	4.6
Q12 平均値		4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.8	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値		4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6
Q14 平均値		4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値		4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.5	4.7
Q16 平均値		4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値		4.1	4.0	4.1	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値		4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2
有効回答数		1,457			775			1,473		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値		1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値		3.8	3.8	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.2
Q5 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.2	4.6	4.6	4.6
Q10 平均値		4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6	4.5	4.7
Q11 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.8
Q12 平均値		4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.3	4.7	4.7	4.6
Q13 平均値		4.1	4.3	4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5
Q14 平均値		4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.7
Q15 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値		3.9	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.4
Q17 平均値		4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.5
Q18 平均値		3.9	3.9	3.9	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答数		3,291			2,171			964		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.9	1.9	1.9	1.9	1.7	2.0	1.4	1.4	1.3
Q3 平均値		1.8	1.7	1.8	2.0	1.9	2.1	1.4	1.4	1.3
Q4 平均値		4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.5	4.5	4.4
Q5 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値		4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4
Q7 平均値		4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.5
Q10 平均値		4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6
Q11 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.5
Q12 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.6
Q13 平均値		4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.4
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5
Q15 平均値		4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5
Q16 平均値		4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.7	4.7	4.5
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	4.6	4.7	4.5
Q18 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.6	4.6	4.4
有効回答数		5,686			1,960			1,287		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.5	1.4
Q3 平均値		1.5	1.6	1.5
Q4 平均値		4.1	4.2	4.1
Q5 平均値		4.5	4.5	4.5
Q6 平均値		4.8	4.8	4.8
Q7 平均値		4.9	4.9	4.8
Q8 平均値		4.8	4.8	4.8
Q9 平均値		4.5	4.5	4.5
Q10 平均値		4.6	4.6	4.6
Q11 平均値		4.7	4.7	4.7
Q12 平均値		4.7	4.6	4.7
Q13 平均値		4.4	4.5	4.3
Q14 平均値		4.6	4.6	4.6
Q15 平均値		4.7	4.8	4.6
Q16 平均値		4.3	4.3	4.4
Q17 平均値		4.3	4.3	4.3
Q18 平均値		4.3	4.3	4.2
有効回答数		1,073		

2019 年度「学生による授業アンケート (後期)」 集計結果の概況について

2019 年度「学生による授業アンケート」(後期)は 11 月 4 日(月)から 11 月 23 日(土)の期間に Web 回答方式で実施された。実施方法については、2019 年度前期から対象科目が拡大されたが(除外科目:履修登録者 20 名未満→10 名未満)、後期もひきつづき前期と同じ条件での実施である。質問項目は前年度後期以降、変更はない。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で 1,934 科目、対象学生数(延べ人数)は 128,450 名、有効回答数は 49,662 件、回答率は 38.7%であった。

まず、全般的傾向について概況を述べていく。後期アンケートの回答率は、前々回より後は小幅ではあるが漸増傾向にあり、今回についても、実施条件がやや異なるとはいえ前年度比 1.2 ポイント増となっている。学年別の回答率は、例年同様、学年が進むにつれて下がっているが、前年度の後期に比べると、やはり全学年で増加している。教員の専任・非常勤の別で見ると、従来の傾向どおり非常勤がやや高い。

フィードバックに関連して、教員のC-Learningへの最終ログイン状況（フィードバック期間）をみると、低下が目立った前年度同期から一転して、大幅に回復しているのが明るい話題である。専任・非常勤別では従来同様、こちらは専任教員のログイン率がかなり上回る。フィードバックの必要性の周知に注力すれば、さらなる伸びも期待できそうである。

つぎに、質問項目については、具体的な内容は別途記載のとおりである。学生の出席状況（Q5）は、例年は学年が進むにつれて悪くなるのに対し、今回は1年生4.4、2年生4.4、3年生4.2、4年生3.9であり、傾向に大差ないとはいえ、2年生の低下が見られないのが注目されよう。教員所属学部学科別では、医療健康科学部が4.8と高い結果となっている。入試形態別では、附属校推薦入試が4.6と最も高い。

授業がほぼ定刻どおりに実施されているか（Q6）については、文学部から国文、英米文、地域文化、地域環境、社会福祉学、さらに総合教育研究部から教職課程が、4.8と最も高い結果であった。

授業回数の確保（Q7）は全学部学科とも高い評価であったが、特に総合教育研究部の教職課程は4.9と、最も高い結果となっている。

教員の熱意・授業内容・運営等（Q8～Q18）については、4年生の数字が、回答数の少なさが影響するの若干高い傾向があるものの、今回は学年間の大きな差は見られなかった。

以上が、2019年度「学生による授業アンケート（後期）」の分析結果である。

現在、FD推進委員会小委員会では、授業アンケートの組織的活用や、実施方法の見直し（対象科目の一層の拡大、アンケート項目の整理と新設）について検討を進めている。どれも数年来の懸案であるが、学内から広くご意見を賜りながら今後とも作業に取り組んでいくことになる。

（FD推進委員会小委員会委員・三好俊介）



連載企画：よりよい教育のために

「教育の環境整備について」

総合教育研究部講師 出井 章雅

着任6年目を迎えました。私が所属するスポーツ・健康科学部門は学生を持たない学部学科である。よって出井ゼミはなく、現状は学生への研究論文指導や議論の場などの環境下ではない為、毎週実施の講義や体育実技が私にとって勝負の時間帯である。教育の中で心がけている事はとてもシンプルだが、いかに多くの学生とコミュニケーションを図るかということだ。体育実技科目は必然的にアクティブ・ラーニング形式の授業となる。競技のルールを理解し、全員で授業の雰囲気作りを行い、仲間作りを含めた横の繋がりをいかに広げられるかが重要であり、その為に教員サイドが創意工夫しながらより良い環境を設定すべきである。講義で心がけていることは、いかに学生の興味をひく授業展開が実施できるか。そしてもう一つが、「熱意」だ。例えば「健康・スポーツ論2」の受講にあたり何を知りたいか？また何に興味があるのか？について初回にアンケート調査を実施し、その事柄についての内容と事前にシラバスに記載している授業内容を関連づけて講義している。また、レポート課題に対して必ず翌週にフィードバックを行う。そうすることで自ずと学生も聞く耳を持ってきている。最初は単位欲しさに受講した学生が居たとしても授業終了までには満足して帰ってくれるのではないかと考える。その結果がB T A（学生が選ぶベスト・ティーチング賞）評価に繋がっているとすると非常に有難いことであり学生に感謝したい。

本学では1年次必修科目であった体育実技が選択科目に変更し（一部学科除く）、学生の運動離れ、健康管理意識の低下が懸念される。1年次こそ体育実技を通して仲間作りが必要であり、現在は選択科目に伴い駒沢⇔玉川キャンパス間のシャトルバス運行など新たな取り組みはされているものの玉川キャンパスの存在すら知らない状態で卒業を迎える学生が多いのではないかと。今から6年前まで駒沢キャンパスにも体育館（現：種月館）が存在し、多くの学生が体育実技を行い、また昼休みには教職員も体を動かすなどリフレッシュの場にもなっていた。そのような環境整備をもう一度検討し、大学全体がより良い教育の中で運動の価値を見出し理解されることを切に願う。

最後に、「勉強が苦手」「運動が嫌い」という学生がい

るならば、それは楽しいと思えるような環境に恵まれなかっただけであり、その役割を私が果たせればこれ以上の喜びはない。

■ 学生が選ぶベスト・ティーチング賞授賞式

令和元年度で、第4回を迎える「学生が選ぶベスト・ティーチング賞（以下、BTA）」は、学生の眼から見て、効果的な教育方法を実践している教員を表彰し、その教育方法を全学的に共有することで、駒澤大学全体の教育の質を向上させることを目的とした活動である。BTAは、学生FDスタッフとFD推進委員会に携わる教職員が協力して実施しているという点においても、注目すべきFD活動だといえる。さらに今年度は、学生FDスタッフからの提案により、「学生が主体的に学びたい」と感じた授業を表彰する「もっと学びたい de 賞部門」が新設された。このような進展は、学生と教職員との間で、BTAの目的が共有されつつあることの現れだろう。

12月16日に開催された授賞式では、FD推進委員会委員長である長谷部八朗学長から各受賞者に表彰状が授与され、学生スタッフからは花束が贈呈された。昼休み時間ということもあり、授賞式には、各受賞者の授業を履修している学生の姿も見受けられ、あたたかく和やかな場となった。

当日発表された各賞の詳細は、下記のとおりである。

【学生が選ぶベスト・ティーチング賞】

〈全学共通科目〉

「心理学」小野洋平先生（文学部・非常勤）

「文学」畠山寛先生（総合教育研究部・専任）

「日本の文化と社会」加藤之晴先生（総合教育研究部・非常勤）

〈専門教育科目〉

「刑法総論」富樫景子先生（法学部・専任）

「経営戦略論」中村公一先生（経営学部・専任）

「民法総則」熊谷芝青先生（法学部・専任）

【もっと学びたい de 賞部門】

〈全学共通科目〉

「ドイツ語 I A b」吉中俊貴先生（総合教育研究部・専任）

〈専門教育科目〉

「マーケティング論」兼村栄哲先生（経営学部・専任）

授賞式でも、各受賞者から教育実践についてのスピーチがあったが、令和元年度第3回FD研修会では、より詳しい実践報告が行われる。この研修会は、次年度のFD活動の足掛かりとして大きな意義を持つはずである。

最後に、今年度のBTAを通して浮上してきた課題について述べておきたい。学生FDスタッフの尽力により、BTAの広報に関しては軌道に乗ってきた。しかし、投票方法や集計方法には課題が残っており、多大な事務負担の上にBTAが成り立っているという現状がある。これは、早急に見直す必要がある。また、「ベスト・ティーチング」の捉え方は、学生それぞれで異なるものだ。学生ひとりひとりの眼、ひとりひとりの声が反映されるBTAを目指し、運営方法の再考もなされるべきだと思われる。

（FD推進委員会小委員会副委員長・内藤寿子）

■ 令和元年度 第3回FD研修会報告

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」

受賞者による実践事例紹介

今年度第3回のFD研修会が、令和2年2月10日（月）午後4時より中央講堂において、世田谷プラットフォーム後援として開催された。今回は第4回「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者のうち、小野洋平先生（文学部）、中村公一先生（経営学部）、畠山寛先生（総合教育研究部）の3名に講師としてご登壇頂いた。

はじめに長谷部八朗学長より本学におけるFD活動及び本研修会の意義などについてお話し頂いたのち、第1部では、講師の先生方から授業での工夫や取り組みをそれぞれご講演頂いた。休憩をはさんで行われた第2部では、FD推進委員会小委員会委員長の佐々木真先生にも進行役としてご登壇頂き、フロアからの質問を交えたパネルディスカッションが行われた。

まず、第1部では、小野先生は大人数講義におけるアクティブ・ラーニングの導入をテーマとして、心理学という科目におけるeラーニング(YeStudy)を使った体験学習やリアクションペーパー（以下RP）の活用という、2つの事例を中心に授業での工夫をお話し頂いた。次に中村先生は、経営戦略論という科目について、学生の意識を変えること＝自信を持たせることを理念としており、具体的な授業設計においては専門性、関連性、実践性の3つの柱を立てていることなどが、実際の授業内容とともに紹介された。最後に畠山先生は、文学という科目の授業設計について「導入の問い」や「最後の問い」

において RP を活用することや、大人数講義においても RP の内容を 5、6 名にその場で発表させることなど、学生一人一人に思考させるための様々な工夫をご紹介頂いた。

第 2 部・パネルディスカッションでは、双方向性、学生資質のばらつきへの対応、授業準備にかかる時間などが話題となった。いずれの先生の授業でも、RP の活用等による学生との双方向性が重視されており、それによって学生の自主的な学びや自己肯定感の向上を意図した授業として学生から好評を得られたことが伺えた。しかしながら RP 等による学生との双方向交流は教員側の多大な労力を要するものであることも垣間見られた。最後に佐々木先生から、問題発見能力やいかに考えさせるかといったことが授業改善の鍵となっており、それは本質的には昔も今も変わっていないとの総評があって本会は締めくくられた。

今回の F D 研修会を終えて私は次のようなことを考えた。すなわち、アクティブ・ラーニングや eラーニングといったものは方法論に過ぎず、教員にとって最も重要なのは学生一人一人と如何に向き合っていくかである。様々な方法の活用は、この課題の解決のために検討されるべきものなのであろう。

なお、本研修会の映像は本学 F D ホームページにアップロードされる予定とのことなので、是非ご覧下さい。

(F D 推進委員会小委員会委員・大澤邦由)

令和 2 年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「令和 2 年度新規採用教員オリエンテーション」を、令和 2 年 4 月 1 日（水）に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

編集後記

『FD NEWSLETTER 第 62 号』をお届けします。

各先生方にお忙しい中、ご執筆いただきました。心より感謝申し上げます。

今年度中に本学における F D 活動を再定義することや授業アンケート結果の組織的な活用方法について議論をしてきました。今後の授業改善を考える上で重要であると思います。F D の今までの活動に加え、今後はどんな活動が必要なのでしょうか。本学の教職員全体で考えていくべき問題だと思います。

その中でベスト・ティーチング賞について触れたいと思います。ここ数年の結果を見ていますと、賞を受賞する先生がやや固定されつつあります。その先生方は授業内容を充実させようと日々努力されていると思います。しかし名前が上がっていない先生でも創意工夫をし、学生のためになるような授業を展開されている先生も数多くいらっしゃると思います。また、内藤寿子先生は報告にもある通り、「ベスト・ティーチングの捉え方はそれぞれ異なるものだ」とおっしゃっておられます。今後、この賞に関してどのような基準を設けることが必要なのでしょうか。今後も F D 活動にご協力の程、宜しく申し上げます。

(瀧本誠・三好俊介)

※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



【タイトル横の写真は、第 3 回 F D 研修会の様子】

FD NEWSLETTER March 2020 第 62 号

発行日：2020 年 3 月 15 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

【付録資料】

- 駒澤大学F D推進委員会規程
- 駒澤大学F D憲章
- 令和元年度 駒澤大学F D推進委員会委員名簿
- 令和元年度 駒澤大学F D推進委員会小委員会委員名簿
- 令和元年度 駒澤大学F D推進部会委員名簿

○駒澤大学FD推進委員会規程

〔平成16年4月1日
制 定〕

改正 平成21年4月1日

改正 平成25年4月1日

改正 平成27年4月1日

(趣旨及び設置)

第1条 駒澤大学学則第1条の3第2項に定める組織的な研修及び研究について、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進するため、駒澤大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(FDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるために行う、各学部等の組織的な取り組みをいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。
- (2) 教員の教授方法等の改善のための支援に関すること。
- (3) 各学部等が行うFDの支援に関すること。
- (4) FDに係る、施設・設備等の改善に関すること。
- (5) 講演会及び研修会等に関すること。
- (6) その他FDの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各副学長
- (3) 各学部長等
- (4) 各学部等から選出された者各1人。ただし、総合教育研究部は3人 計10人
- (5) 教務部長
- (6) 幹事 若干人

2 委員会の委員長は学長とし、副委員長は教育・研究担当の副学長とする。

3 第1項第4号によって選出された委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 欠員を補充するために選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを召集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 F D推進委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員会に小委員会を設置することができる。

2 審議事項、構成、運営等については、委員会で制定する内規に定める。

(F D推進部会)

第7条 各学部等にF D推進部会を設置する。

2 部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等が決める。

(事務所管)

第8条 委員会の事務所管は、教務部とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成 28 年 4 月 1 日
制 定

駒澤大学 F D 憲章

駒澤大学は、学校法人駒澤大学憲章の理念に基づき、本学の Faculty Development (F D) を推進するために、この駒澤大学 F D 憲章を定める。

- 一、 私たちは、常に新しい教育方法を模索し、教育活動の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に自らの教育方法をふりかえることで、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、常に教員相互の情報交換をすることで、大学全体の教育の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に学生、または社会からの声を大切にし、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、知を人類の資産として未来へ継承し発展させるよう、学生とともに歩むことを誓います。

平成 28 年 4 月 1 日 施行

令和元年度駒澤大学 FD 推進委員会委員名簿

平成 31 年 4 月 1 日現在

委員長	学 長	長谷部 八 朗
副委員長	教育・研究担当の副学長	日 笠 完 治
委 員	学生支援担当の副学長	猿 山 義 広
〃	仏 教 学 部 長	石 井 公 成
〃	文 学 部 長	橋 詰 直 道
〃	経 済 学 部 長	岩 波 文 孝
〃	法 学 部 長	中 野 裕 二
〃	経 営 学 部 長	小 本 恵 照
〃	医療健康科学部長	吉 川 宏 起
〃	グローバル・メディア・スタディーズ学部長	山 口 浩
〃	総合教育研究部長	竹 田 幸 夫
〃	仏 教 学 部 講 師	大 澤 邦 由
〃	文 学 部 教 授	佐々木 真
〃	経 済 学 部 教 授	村 松 幹 二
〃	法 学 部 教 授	清 滝 仁 志
〃	経 営 学 部 教 授	小野瀬 拓
〃	医療健康科学部教授	馬 込 大 貴
〃	グローバル・メディア・スタディーズ学部講師	石 橋 直 樹
〃	総合教育研究部准教授	内 藤 寿 子
〃	総合教育研究部准教授	三 好 俊 介
〃	総合教育研究部准教授	瀧 本 誠
〃	教 務 部 長	中 野 達 哉

(以上 委員 22 名)

幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	桜 田 千 津
〃	教 務 部 教 務 課 長	鎌 田 麻 美

(以上 幹事 3 人)

書 記	教 務 部 係 長	鈴 木 弘 道
〃	教 務 部	板 橋 幸 子
〃	教 務 部	中 村 暁 信
〃	教 務 部	谷 国 遙

(以上 合計 29 人)

令和元年度駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

平成31年4月1日現在

委員	仏 教 学 部 講 師	大 澤 邦 由
〃	文 学 部 教 授	佐々木 真
〃	経 済 学 部 教 授	村 松 幹 二
〃	法 学 部 教 授	清 滝 仁 志
〃	経 営 学 部 教 授	小野瀬 拓
〃	医 療 健 康 科 学 部 教 授	馬 込 大 貴
〃	グローバル・メディア・スタディーズ学部講師	石 橋 直 樹
〃	総合教育研究部准教授	内 藤 寿 子
〃	総合教育研究部准教授	三 好 俊 介
〃	総合教育研究部准教授	瀧 本 誠
〃	教 務 部 長	中 野 達 哉
		(以上 委員 11名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	桜 田 千 津
〃	教 務 部 教 務 課 長	鎌 田 麻 美
		(以上 幹事 3人)
書 記	教 務 部 係 長	鈴 木 弘 道
〃	教 務 部	板 橋 幸 子
〃	教 務 部	中 村 暁 信
〃	教 務 部	谷 国 遙
		(以上 合計 18人)

令和元年度 駒澤大学FD推進部会委員名簿

平成31年4月1日現在

学部等	部会長	委員
仏教学部	石井 公成	熊本 英人 吉村 誠 岩永 正晴 村松 哲文 大澤 邦由
文学部	橋詰 直道	松井 健児 北原 賢一 小野 映介 佐々木 真 東條 光雅 長谷川 孝治
経済学部	岩波 文孝	西村 健 中西 大輔 王 穎琳
法学部	中野 裕二	高田 実宗
経営学部	小本 恵照	小野瀬 拓 長 國強 西村 和夫 滝田 公一 山 邑 紘史
医療健康科学部	吉川 宏起	原田 和正 近藤 啓介 保科 正夫 馬込 大貴
グローバル・メディア・ スタディーズ学部	山口 浩	石橋 直樹 アシュエル,ティム 梅田 道生
総合教育研究部	竹田 幸夫	別所 裕介 坂野井 和代 遠藤 司 内藤 寿子 瀧本 誠 西村 祐子 三好 俊介

令和元年度
FD活動報告書

発行日	令和2年3月31日
発行	駒澤大学FD推進委員会
	〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1丁目23番1号
	TEL 03-3418-9444
	FAX 03-3418-9114
事務局	駒澤大学教務部

